

平成 28 年度
牧之原市 市民意識調査
～ 報告書 ～

平成 28 年 6 月
牧 之 原 市

1 調査の概要	1
1) 調査の目的.....	1
2) 調査項目.....	1
3) 調査の設計.....	1
4) 回収状況.....	1
2 調査結果	2
1) 調査結果の要約.....	2
2) 調査結果の詳細.....	8
< 牧之原市での暮らしについて >.....	8
< 原子力発電について >.....	16
< 子育て環境について >.....	17
< “公共施設の更新問題” について >.....	21
< “産業・雇用” について >.....	27
< “地域活動” について >.....	33
< 市からの情報発信について >.....	43
< 牧之原市の行政サービスについて >.....	57
< 回答者の属性 >.....	75
3 調査票	77

1 調査の概要

1) 調査の目的

この調査は、市の様々な取り組みに対する市民の意識を把握し、市政に反映させるとともに、平成27年度からスタートした第2次総合計画推進のための資料とすることを目的とする。

2) 調査項目

- ・ 牧之原市での暮らしについて
- ・ 子育て環境について
- ・ “産業・雇用” について
- ・ 市からの情報発信について
- ・ 回答者の属性
- ・ 原子力発電について
- ・ “公共施設の更新問題” について
- ・ “地域活動” について
- ・ 牧之原市の行政サービスについて
- ・ 日ごろ思うこと（自由意見）

3) 調査の設計

- ・ 調査対象：牧之原市在住（市内に住民票がある人）の16歳以上の男女
- ・ 調査方法：無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・ 調査期間：平成28年4月29日～平成28年5月13日
- ・ 発送数：1,399通（1,400人抽出のうち転居等で1通は不達）

4) 回収状況

対象者数	有効回収数	有効回収率
1,399人	831人	59.4%

抽出数は1,400人であるが、事前転居や宛先不明により市内に居住が認められない1人については対象外とした
回収数839人のうち無効票8人

◎ 報告書を見る際の注意事項

※回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。

※百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。

※1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

※選択肢の文章が長い場合、グラフ上では省略して表記していることがある。

※サンプル数が20未満のものについては、コメントを割愛している。

2 調査結果

1) 調査結果の要約

牧之原市での暮らしについて

◆ 牧之原市に「住み続けたい」人は、約6割

「住み続けたい」が59.0%と最も多く、次いで「市外へ移りたい」が20.7%、「わからない」が13.7%などとなっている。

昨年度と比較すると、「住み続けたい」（昨年度59.5%）に大きな差異はみられない。

◆ 他の地域へ移りたい理由は、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が約6割

「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が60.3%と最も多く、次いで「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が38.4%、「通勤や通学など交通面が不便だから」が31.1%などとなっている。

昨年度と比較すると、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が8.3ポイント、「人間関係やしきたり等が煩わしいから」が5.7ポイント高くなっている。

◆ 今現在、幸せだと“思う”人は、7割近く

「大いに思う」と「ある程度思う」を合わせた“思う”は66.9%と7割近くを占めており、「まったく思わない」と「あまり思わない」を合わせた“思わない”は10.0%となっている。

昨年度と比較すると、“思う”（昨年度66.7%）に大きな差異はみられない。

◆ 幸せだと思ふ理由は、「健康」と「家族・友人との良好な人間関係」が半数以上

「健康であるから」が63.3%と最も多く、次いで「家族や友人との関係が良好だから」が51.4%、「住まいがあるから」が46.8%などとなっている。

原子力発電について

◆ 浜岡原子力発電所の今後については、「停止しておいたほうがよい」が半数未満

「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が47.3%と最も多く、次いで「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が23.8%、「どちらともいえない」が18.4%などとなっている。

昨年度と比較すると、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が5.2ポイント低くなっている。一方で、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」は3.6ポイント高くなっている。

子育て環境について

◆ 牧之原市を子どもを産み育てやすい環境だと“思う”人は、3割以上

「大いに思う」と「ある程度思う」を合わせた“思う”は32.4%、「まったく思わない」と「あまり思わない」を合わせた“思わない”は28.0%となっている。

昨年度と比較すると、“思う”が1.4ポイント高く、“思わない”が1.1ポイント高くなっている。

◆ 子どもを産み育てやすい環境にするために市が取り組むべきことは、 「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が約7割

「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が69.2%と最も多く、次いで「子育てに関する経済的支援の充実」が46.3%、「地震・津波などの災害対策」が29.4%、「親子で遊べる施設や公園の整備」が29.2%、「一時的に子どもを預かる施設」が20.3%などとなっている。

昨年度と比較すると、「一時的に子どもを預かる施設」、「地域で子どもを育てる意識の向上」が低く、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が1.4ポイント高くなっている。

“公共施設の更新問題”について

◆ 公共施設の更新問題（老朽化問題）の認知度は、2割以上

「聞いたことがある」が38.8%と最も多く、次いで「知らない」が34.2%、「知っている」が25.3%などとなっており、「知っている」が「知らない」を下回っている。

◆ 公共施設の更新問題（老朽化問題）に対応するための取り組みの認知度は、1割未満

「知らない」が68.0%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が21.5%、「知っている」が6.9%などとなっており、認知度は1割を下回っている。

◆ 公共施設の更新問題（老朽化問題）に対応するための取り組み情報の入手方法は、 「広報まきのはら」が約7割

「広報まきのはら」が68.6%と最も多く、次いで「家族や知人」が33.1%、「議員の話」が12.7%、「市民グループの会合」が10.2%などとなっている。

昨年度と比較すると、「広報まきのはら」が5.7ポイント低くなっている。一方で、「家族や知人」が4.8ポイント高くなっている。

◆ 施設の統廃合により、施設が利用できなくなったり、 使用料の値上がりを“容認できる”人は、約8割

「容認できる」と「ある程度までは容認できる」を合わせた“容認できる”は81.2%となっている。一方で、「容認できない」が15.4%に留まっている。

“産業・雇用”について

◆ 市の産業に活力（元気）があると“思う”人は、1割未満

「大いに思う」と「ある程度思う」を合わせた“思う”は8.6%、「まったく思わない」と「あまり思わない」を合わせた“思わない”は53.1%となっている。

◆ 活力（元気）のある産業は、「農業」が約半数

「農業」が48.6%と最も多く、次いで「工業」が34.7%、「観光業」が18.1%、「水産業」が16.7%、「商業」が12.5%などとなっている。

昨年度と比較すると、「観光業」、「商業」が若干多くなっている一方で、「農業」、「工業」、「水産業」が低くなっている。

◆ 市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取り組みは、 「企業誘致の促進」が4割以上

「企業誘致の促進」が46.7%と最も多く、次いで「後継者の育成への支援」が36.8%、「特産品・製品の市外へのPR」が33.1%などとなっている。

昨年度と比較すると、「イベントの開催」が5.1ポイント高くなっている。

“地域活動”について

◆ 週あたりの外出頻度は、「毎日」が4割以上

「毎日」が44.7%と最も多く、次いで「週に4～5日」が22.5%、「週に2～3日」が16.3%などとなっている。

◆ 外出の目的は、「買い物」、「仕事（農作業含む）」が6割以上

「買い物」が82.4%と最も多く、次いで「仕事（農作業含む）」が60.7%、「趣味や娯楽」が36.8%、「医療機関への通院」が35.7%、「外食」が33.8%などとなっている。

◆ 参加している地域活動は、「自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）」が3割以上

「自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）」が33.3%と最も多く、次いで「参加していない」が32.9%、「防犯や防災（防犯活動、防災訓練、交通安全運動等）」が22.0%などとなっている。

◆ 地域活動の活発・活性化に必要だと思うことは、 「住民の自治意識の向上」、「行政と住民との地域情報の共有」が約4割

「住民の自治意識の向上」が41.3%と最も多く、次いで「行政と住民との地域情報の共有」が40.0%、「人材育成」が25.6%、「行政からの財政支援」が25.3%などとなっている。

昨年度と比較すると、「行政からの財政支援」などが多くなっている一方で、「住民の自治意識の向上」が6.7ポイント低くなっている。

市からの情報発信について

◆ 市から得たい情報は、「健康・医療・福祉」が6割以上

「健康・医療・福祉」が64.1%と最も多く、次いで「防災・防犯」が51.3%、「観光・イベント」が26.1%、「生活」が21.8%などとなっている。

昨年度と比較すると、「防災・防犯」が3.8ポイント高くなっている。

◆ 市からの情報の入手方法は、「広報まきのはら」が7割以上

「広報まきのはら」が74.0%と最も多く、他の項目と比べて突出して多くなっている。次いで「家族や知人」が37.7%、「新聞、テレビ、ラジオ」が30.3%などとなっている。

◆ 広報まきのはらで読まれている箇所は、「全て」が半数以上

「全て」が56.4%と最も多く、次いで「特集・お知らせ」が23.4%、「まちのわだい」、「生活情報」がそれぞれ17.7%、「市政情報」が16.4%、「表紙」が16.3%、「健康ひろば（各検診日程等）」が15.5%、「輝け！未来（裏表紙）」が13.8%などとなっている。

◆ 広報まきのはらの文字の大きさ・文字の量・ページ数は「ちょうど良い」が約8割 見やすさは“見やすい”が6割以上、内容は“良い”が約6割

広報まきのはらの文字の大きさ・文字の量・ページ数については、「ちょうど良い」が約8割となっている。

広報まきのはらの見やすさについては、「見やすい」と「どちらかといえば見やすい」を合わせた“見やすい”は64.5%、「見にくい」と「どちらかといえば見にくい」を合わせた“見にくい”は5.9%となっている。昨年度と比較すると、“見やすい”が6.9ポイント低くなっている。

広報まきのはらの内容については、「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた“良い”は58.2%、「悪い」と「どちらかといえば悪い」を合わせた“悪い”は3.5%となっている。昨年度と比較すると、“良い”が7.9ポイント低くなっている。

牧之原市の行政サービスについて

◆【健康福祉】支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり◆

『3 こども医療費制度』が満足度・重要度ともに最も高い

『3 こども医療費制度』の満足度では、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が77.3%と約8割を占め、評価点は1.16点となっている。

また、重要度においても『3 こども医療費制度』で「高い」と「やや高い」を合わせた“高い”が77.9%と約8割を占めており、評価点は1.30点と最も高くなっている。

◆【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり◆

『12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み』の重要度が約7割で最も高い

『18 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み』の満足度は、「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”が54.4%と半数を超え、評価点も-0.52点と低くなっている。一方、重要度では『12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み』、『13 小・中学校施設の整備』で、「高い」と「やや高い」を合わせた“高い”が約7割を占め、評価点は0.97~0.98点と高くなっている。

◆【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり◆

全ての項目で満足度がマイナス評価、重要度がプラス評価

『21 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み』の満足度は「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”が73.2%と7割を超え、評価点も-1.04点と低くなっている。

一方、重要度では『24 企業誘致の取り組み』で「高い」と「やや高い」を合わせた“高い”が58.6%と約6割を占め、評価点は0.68点と高くなっている。

◆【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり◆

『34 生活環境対策などへの取り組み』の重要度が約7割で最も高い

『40 公共交通の充実』の満足度は「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”が66.5%と6割を超え、評価点は-0.82点と低くなっている。

一方、重要度では『34 生活環境対策などへの取り組み』で、「高い」と「やや高い」を合わせた“高い”が72.2%と約7割を占め、評価点は0.97点と高くなっている。

◆【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり◆

『42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』の重要度が7割を超えて最も高い

『46 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み』の満足度は「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”が58.4%と約6割を占め、評価点は-0.50点と低くなっている。

一方、重要度では『42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』で、「高い」と「やや高い」を合わせた“高い”が74.9%と7割を超え、評価点が1.33点となっており、依然とし震災・防災に関する取り組みの重要度が高いことがわかる。

◆【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり◆

『54 行政改革の取り組み』の満足度が最も低く、重要度が最も高い

『54 行政改革の取り組み』の満足度は「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”が51.1%と約半数を占め、評価点は-0.34点と低くなっている。

一方、重要度では『54 行政改革の取り組み』、『55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』で、「高い」と「やや高い」を合わせた“高い”が58.0%前後と約6割で、評価点が0.55~0.56点となっている。

昨年度と比較しても、大きな差異はみられない。







～ 全ての取り組みの満足度・重要度の評価点順位 ～

■■■ 満足度 ■■■

■■■ 重要度 ■■■

順位	取り組み	分野	28年度 (A)	27年度 (B)	差 (A)-(B)	順位	取り組み	分野	28年度 (A)	27年度 (B)	差 (A)-(B)
1	こども医療費制度		1.16	0.51	0.65	1	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み		1.33	1.20	0.13
2	生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供		0.44	0.47	-0.03	2	こども医療費制度		1.30	1.13	0.17
3	幼稚園・保育園・認定こども園等の充実		0.40	0.27	0.13	3	自主防災組織の強化のための取り組み		1.20	1.11	0.09
4	消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み		0.31	0.29	0.02	4	救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制		1.13	1.13	0.00
5	健康相談などの日常的な保健活動		0.30	0.29	0.01	5	幼稚園・保育園・認定こども園等の充実		1.10	1.07	0.03
6	学校や地域で子どもを守る取り組み		0.27	0.32	-0.05	6	消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み		1.07	0.98	0.09
7	健康づくりサービスの推進		0.25	0.24	0.01	7	学校や地域で子どもを守る取り組み		1.05	1.06	-0.01
8	生活環境対策などへの取り組み		0.20	0.20	0.00	8	子育て支援の取り組み		1.01	1.01	0.00
9	姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み		0.19	0.11	0.08	9	子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み		0.98	0.99	-0.01
10	障がい者への福祉サービスの取り組み		0.13	0.05	0.08	10	小・中学校施設の整備		0.97	0.94	0.03
11	子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み		0.09	0.09	0.00	11	生活環境対策などへの取り組み		0.97	0.93	0.04
12	公害防止対策への取り組み		0.08	0.07	0.01	12	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み		0.97	0.80	0.17
13	市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる充分な情報発信		0.08	0.14	-0.06	13	高齢者への福祉サービスの取り組み		0.95	0.97	-0.02
14	高齢者への福祉サービスの取り組み		0.07	0.00	0.07	14	道路や河川の補修・整備		0.94	0.86	0.08
15	小・中学校施設の整備		0.07	0.15	-0.08	15	道路交通の安全対策		0.91	0.86	0.05
16	上水道施設整備の取り組み		0.07	0.12	-0.05	16	上水道施設整備の取り組み		0.90	0.79	0.11
17	子育て支援の取り組み		0.06	0.05	0.01	17	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み		0.88	0.81	0.07
18	学校・家庭・地域で子どもたちへの教育力向上の取り組み		0.04	0.01	0.03	18	福祉施設などの整備		0.84	0.84	0.00
19	伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み		0.03	0.02	0.01	19	学校・家庭・地域で子どもたちへの教育力向上の取り組み		0.81	0.82	-0.01
20	風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み		0.03	-0.07	0.10	20	障がい者への福祉サービスの取り組み		0.80	0.84	-0.04
21	地区公民館などの活動拠点の施設整備		0.02	0.03	-0.01	21	公共交通の充実		0.75	0.74	0.01
22	地域福祉活動を行うボランティア等への支援		0.01	-0.02	0.03	22	風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み		0.71	0.76	-0.05
23	悩みごと相談など各種相談窓口の充実		0.00	0.05	-0.05	23	公害防止対策への取り組み		0.70	0.67	0.03
24	自主防災組織の強化のための取り組み		-0.03	-0.02	-0.01	24	企業誘致の取り組み		0.68	0.80	-0.12
25	行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取り組み		-0.04	-0.01	-0.03	25	計画的な土地利用の推進		0.68	0.57	0.11
26	福祉施設などの整備		-0.06	-0.21	0.15	26	健康づくりサービスの推進		0.65	0.72	-0.07
27	自然環境の保全への取り組み		-0.07	-0.21	0.14	27	商工業の振興の取り組み		0.61	0.58	0.03
28	公共スポーツ施設の整備		-0.13	-0.12	-0.01	28	特産品の消費推進の取り組み		0.60	0.64	-0.04
29	文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取り組み		-0.15	-0.13	-0.02	29	起業支援、産業雇用支援の取り組み		0.60	0.65	-0.05
30	NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組み整備		-0.15	-0.14	-0.01	30	農漁業の担い手への支援の取り組み		0.56	0.56	0.00
31	情報通信技術（ICT）の環境整備の取り組み		-0.18	-0.18	0.00	31	観光誘客促進のための取り組み		0.56	0.62	-0.06
32	自治会の住民自治活動への支援		-0.22	-0.18	-0.04	32	行政改革の取り組み		0.56	0.48	0.08
33	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み		-0.26	-0.26	0.00	33	茶業安定のための取り組み		0.55	0.58	-0.03
34	各種イベントの開催		-0.29	-0.35	0.06	34	空港を活用するための取り組み		0.55	0.55	0.00
35	空港を活用するための取り組み		-0.29	-0.48	0.19	35	市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる充分な情報発信		0.55	0.62	-0.07
36	街並みや周辺の景観・美観への取り組み		-0.30	-0.34	0.04	36	耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み		0.54	0.58	-0.04
37	行政改革の取り組み		-0.34	-0.33	-0.01	37	商店街の魅力向上の取り組み		0.54	0.47	0.07
38	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み		-0.35	-0.34	-0.01	38	公園・緑地の管理や整備の取り組み		0.54	0.51	0.03
39	住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信		-0.40	-0.48	0.08	39	悩みごと相談など各種相談窓口の充実		0.51	0.52	-0.01
40	特産品の消費推進の取り組み		-0.42	-0.47	0.05	40	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み		0.50	0.52	-0.02
41	道路交通の安全対策		-0.44	-0.39	-0.05	41	街並みや周辺の景観・美観への取り組み		0.50	0.49	0.01
42	公園・緑地の管理や整備の取り組み		-0.46	-0.53	0.07	42	健康相談などの日常的な保健活動		0.49	0.52	-0.03
43	サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み		-0.49	-0.30	-0.19	43	地区公民館などの活動拠点の施設整備		0.49	0.35	0.14
44	道路や河川の補修・整備		-0.49	-0.37	-0.12	44	自治会の住民自治活動への支援		0.47	0.43	0.04
45	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み		-0.50	-0.45	-0.05	45	情報通信技術（ICT）の環境整備の取り組み		0.43	0.43	0.00
46	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み		-0.52	-0.49	-0.03	46	各種イベントの開催		0.42	0.40	0.02
47	農漁業の担い手への支援の取り組み		-0.53	-0.61	0.08	47	生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供		0.40	0.36	0.04
48	商工業の振興の取り組み		-0.54	-0.63	0.09	48	自然環境の保全への取り組み		0.39	0.38	0.01
49	計画的な土地利用の推進		-0.54	-0.56	0.02	49	住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信		0.32	0.28	0.04
50	茶業安定のための取り組み		-0.55	-0.51	-0.04	50	文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取り組み		0.30	0.30	0.00
51	救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制		-0.64	-0.68	0.04	51	伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み		0.28	0.33	-0.05
52	起業支援、産業雇用支援の取り組み		-0.66	-0.71	0.05	52	公共スポーツ施設の整備		0.27	0.23	0.04
53	観光誘客促進のための取り組み		-0.70	-0.81	0.11	53	地域福祉活動を行うボランティア等への支援		0.25	0.36	-0.11
54	企業誘致の取り組み		-0.79	-0.89	0.10	54	行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取り組み		0.24	0.27	-0.03
55	公共交通の充実		-0.82	-0.83	0.01	55	NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組み整備		0.15	0.15	0.00
56	商店街の魅力向上の取り組み		-0.86	-0.83	-0.03	56	サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み		0.14	0.12	0.02
57	耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み		-1.04	-1.02	-0.02	57	姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み		0.09	0.04	0.05

*分野の凡例

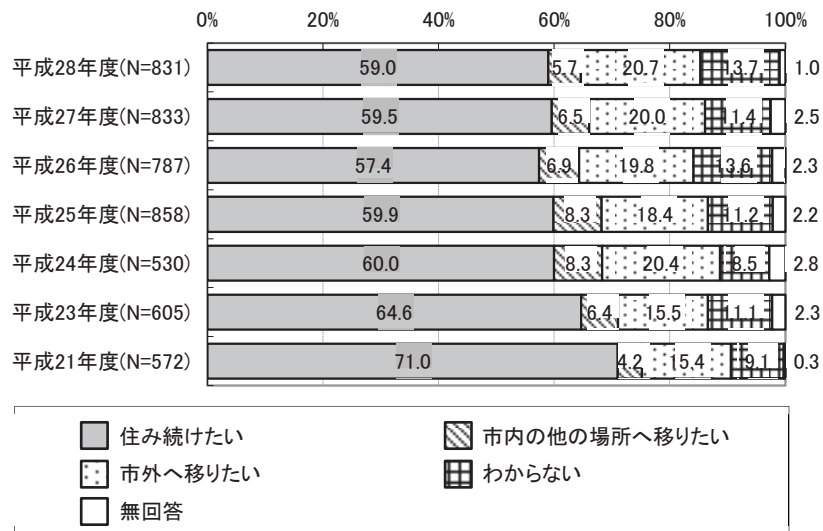
-  【健康福祉】 支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり
-  【教育文化】 地域全体で学び、育てる教育の場づくり
-  【産業経済】 活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり
-  【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり
-  【防災】 安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり
-  【市政経営】 実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり

2) 調査結果の詳細

<牧之原市での暮らしについて>

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後とも住み続けたいと思いますか？

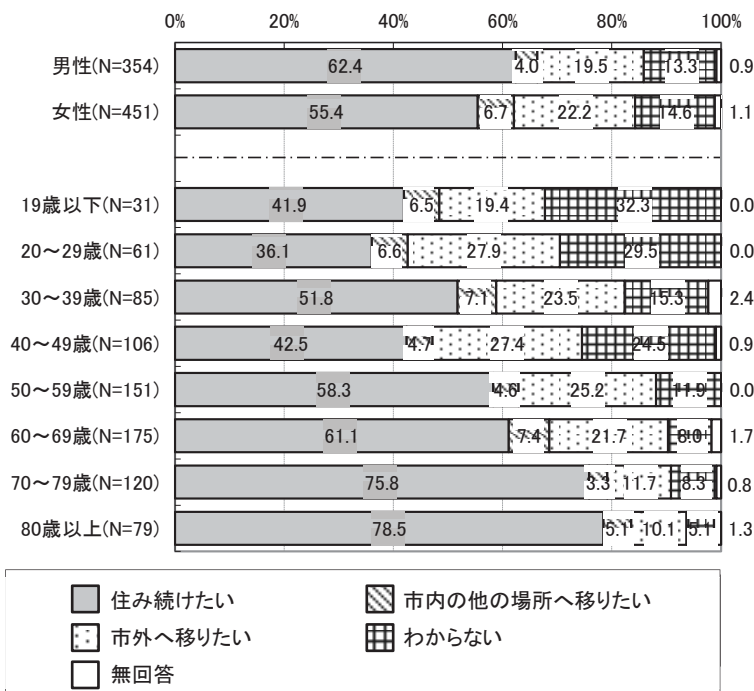
あてはまるものに1つ○印をつけてください。



継続居住の意向については、「住み続けたい」が59.0%と最も多く、次いで「市外へ移りたい」が20.7%、「わからない」が13.7%などとなっている。

昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】

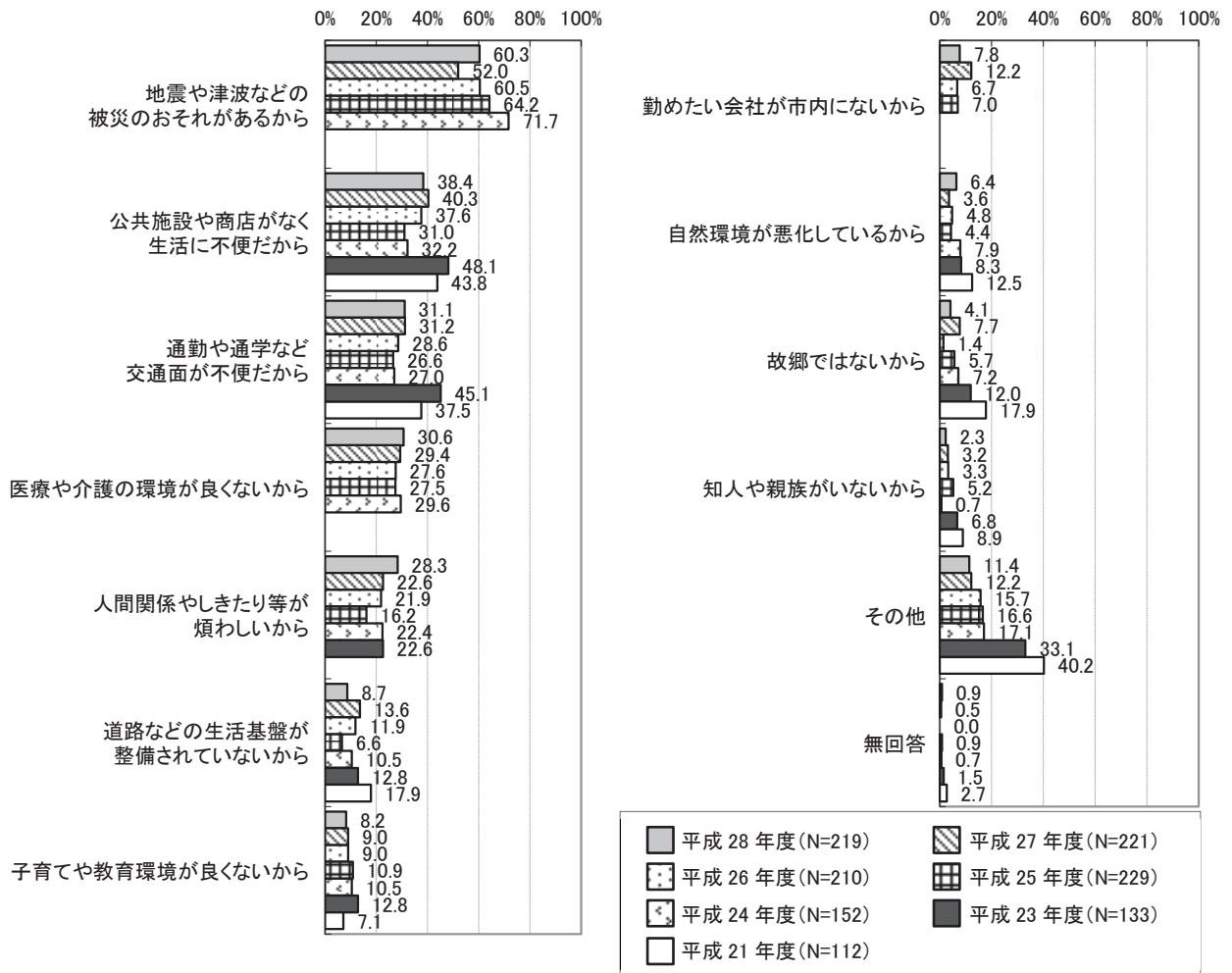
男性において「住み続けたい」が62.4%と女性を7.0ポイント上回っている。

【年齢別】

19歳以下・70歳以上において「市外へ移りたい」が2割を下回って少なくなっている。また、29歳以下・40~49歳において「住み続けたい」が半数を下回って少なく、「わからない」が2割を超えて多くなっている。

(問1で「2. 市内の他の場所へ移りたい」または「3. 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。)

問2 他の地域へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

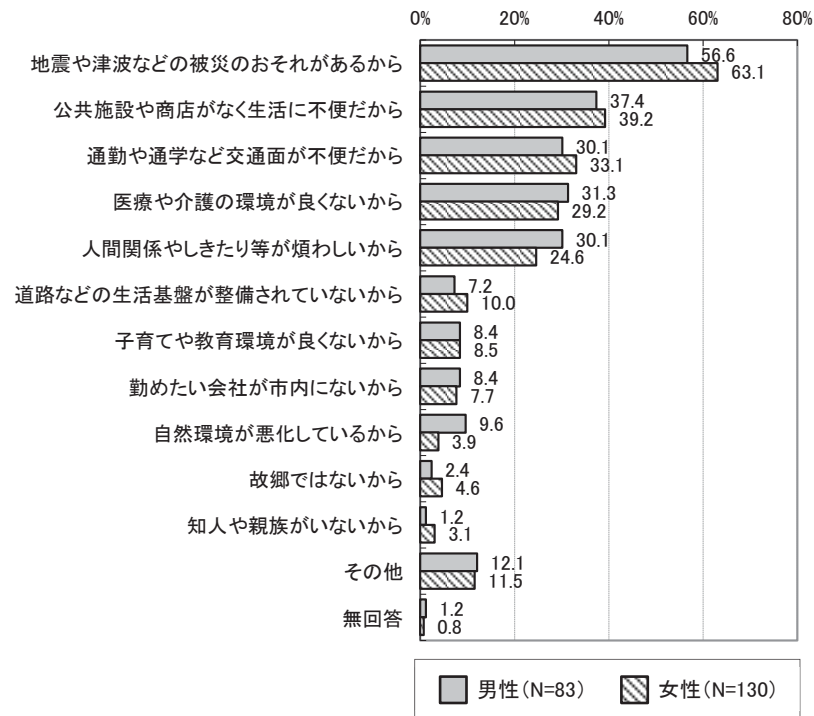


※「人間関係やしきたり等が煩わしいから」は、平成23年度より追加された項目
 ※「地震や津波などの被災のおそれがあるから」、「医療や介護の環境が良くないから」は、平成24年度より追加された項目
 ※「勤めたい会社が市内にないから」は、平成25年度より追加された項目

問1で「市内の他の場所へ移りたい」または「市外へ移りたい」と回答した219人に、他の地域へ移りたい理由についてうかがったところ、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が60.3%と最も多く、次いで「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が38.4%、「通勤や通学など交通面が不便だから」が31.1%などとなっている。

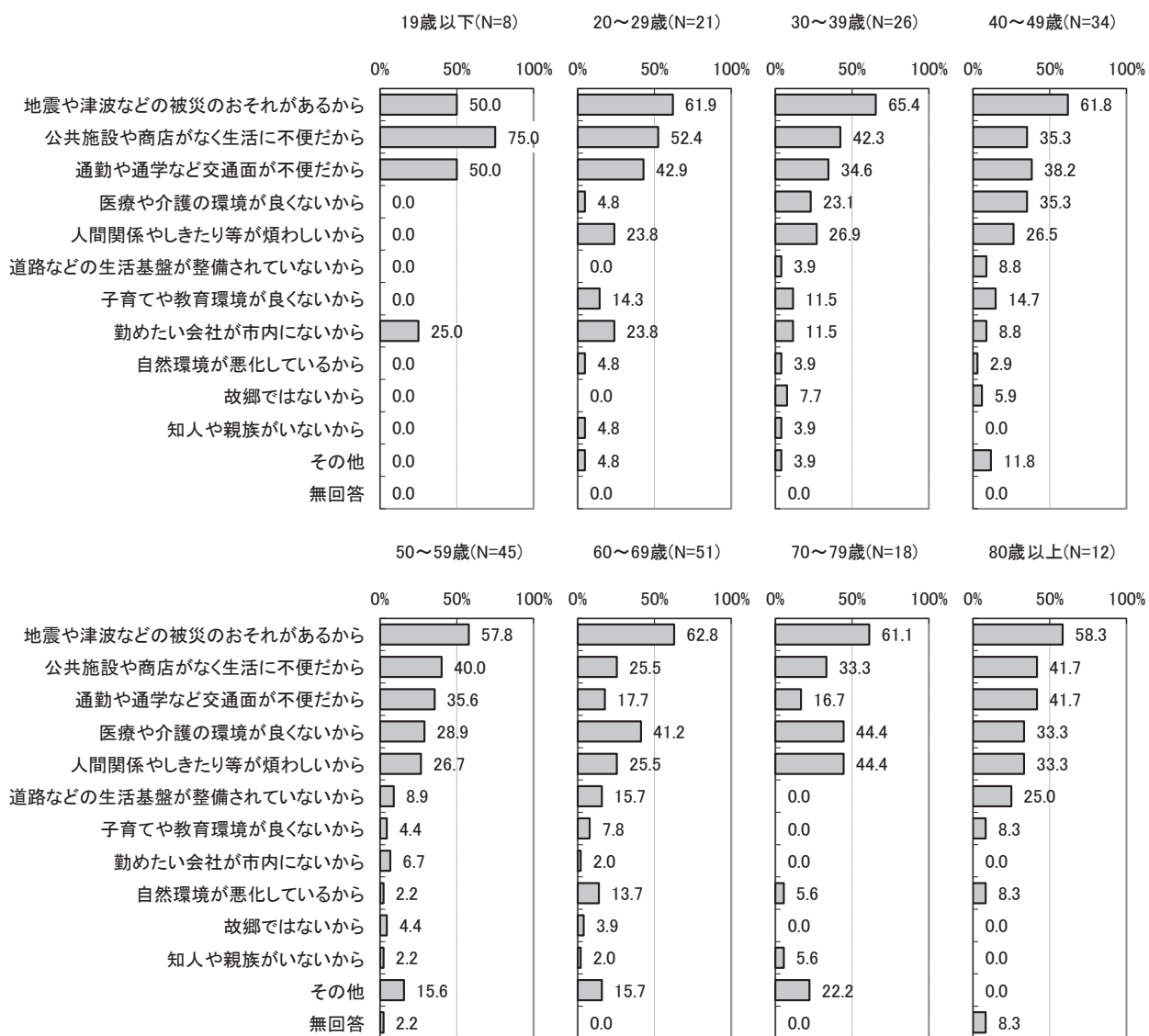
昨年度と比較すると、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」、「人間関係やしきたり等が煩わしいから」が多くなっている。

クロス集計



【性別】

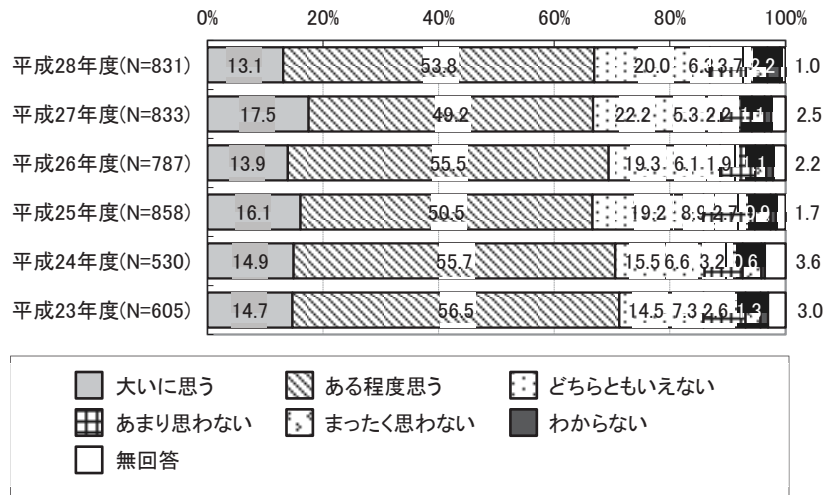
男性において「人間関係やしきたり等が煩わしいから」、「自然環境が悪化しているから」が女性より多く、女性において「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が63.1%と男性を6.5ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢が高くなるほど、「勤めたい会社が市内にないから」が少なくなる傾向がみられる。また、20～29歳において「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が52.4%と多く、「医療や介護の環境が良くないから」が4.8%と少なくなっている。50～59歳においては「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が57.8%と少なく、50～69歳においては「子育てや教育環境が良くないから」が1割を下回って少なくなっている。60～69歳においては「通勤や通学など交通面が不便だから」が17.7%と少なく、「道路などの生活基盤が整備されていないから」、「自然環境が悪化しているから」が多くなっている。

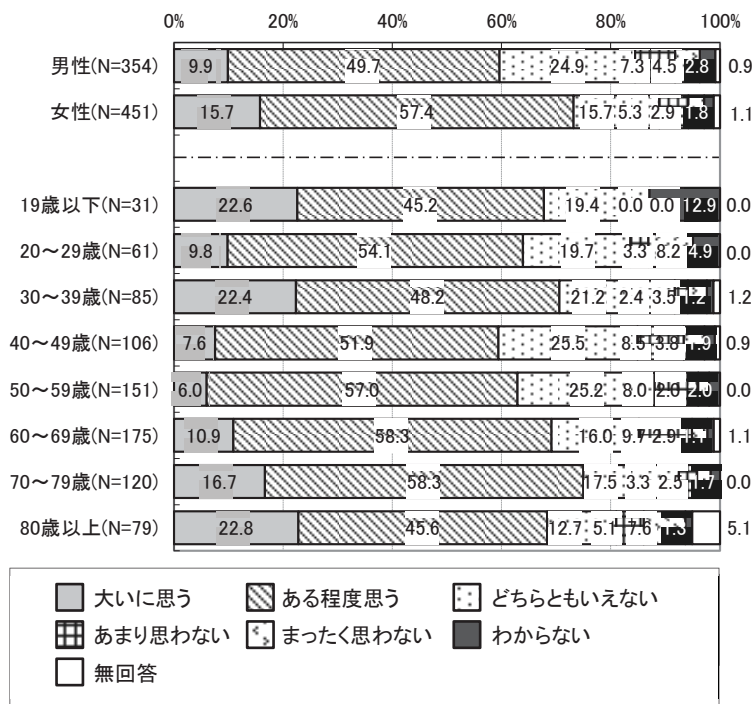
問3 あなたは、今現在、幸せだと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



幸せだと思うかについては、「ある程度思う」が53.8%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が20.0%、「大いに思う」が13.1%などとなっている。また、「大いに思う」と「ある程度思う」を合わせた“思う”は66.9%、「まったく思わない」と「あまり思わない」を合わせた“思わない”は10.0%となっている。

昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】

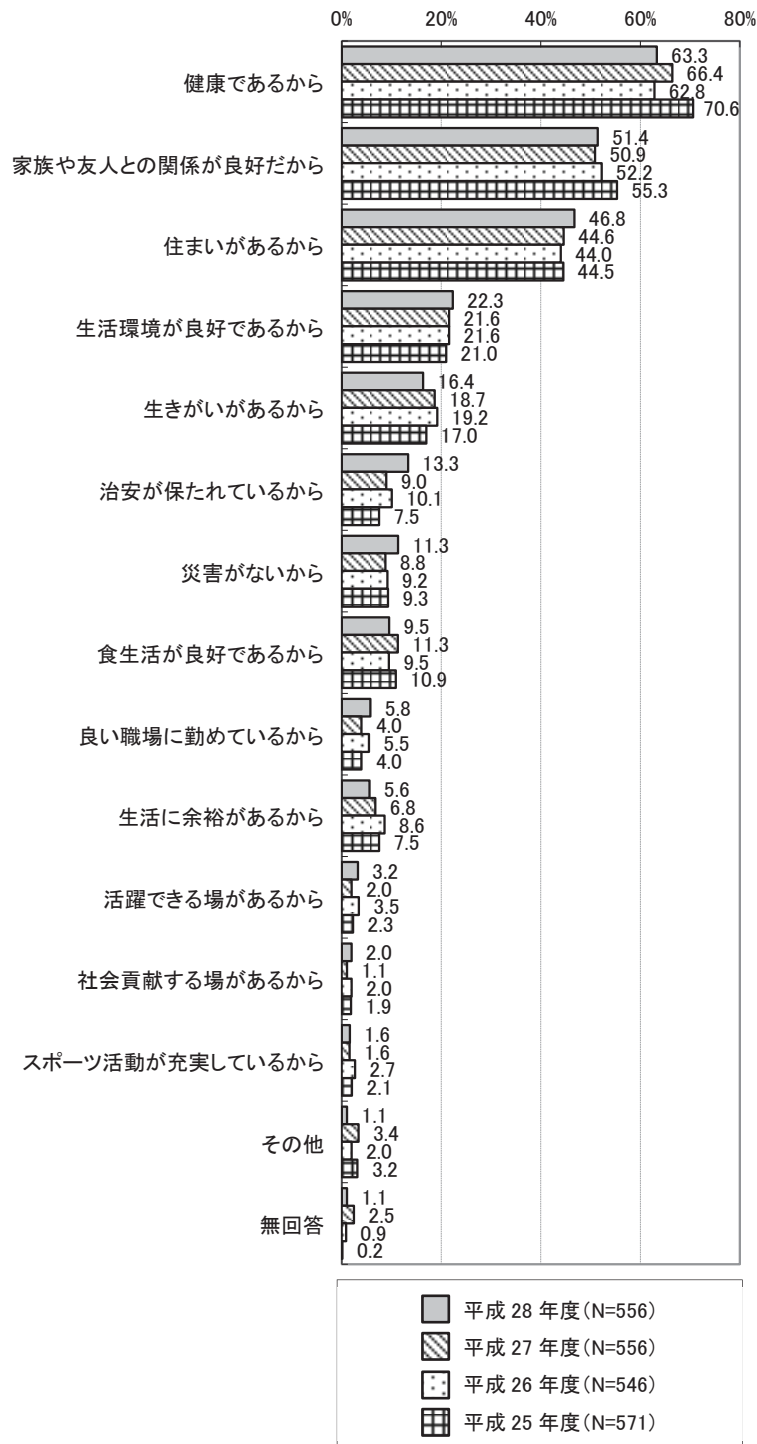
男性において「どちらともいえない」が24.9%と女性を9.2ポイント上回り、女性において「大いに思う」が57.4%と男性より7.7ポイント高くなっている。また、“思う”は男性において59.6%、女性において73.1%と、女性の方が多くなっている。

【年齢別】

19歳以下において「わからない」が12.9%と多く、20～29歳・40～59歳において「大いに思う」が1割を下回って少なくなっている。また、30～59歳において「どちらともいえない」が2割を超えて多くなっている。“思う”は、40～49歳において59.5%と6割を下回って少なくなっている。

(問3で「1. 大いに思う」または「2. ある程度思う」と答えた方にお聞きします。)

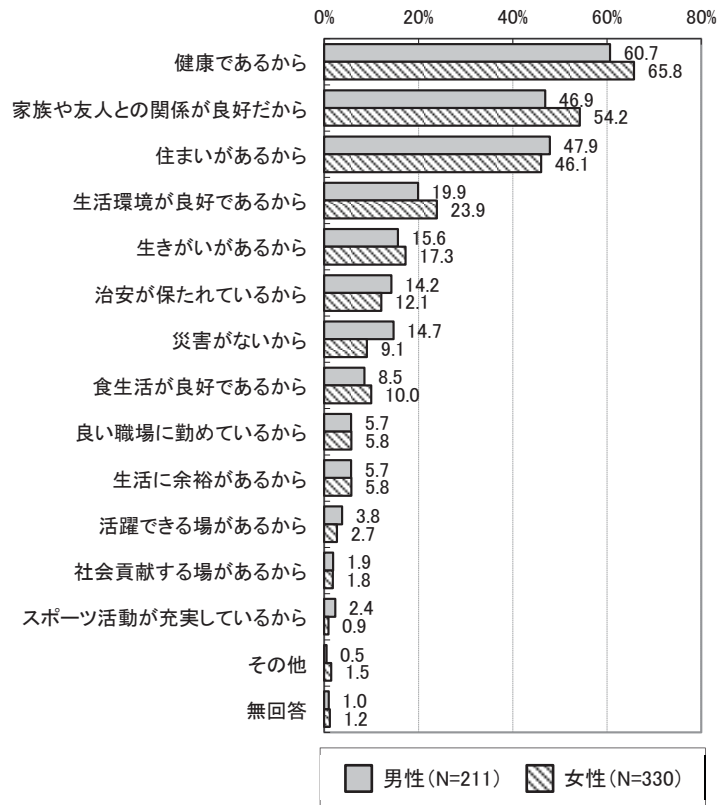
問4 幸せだと思ふ理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



問3で「大いに思う」または「ある程度思う」と回答した556人に、幸せだと思ふ理由についてうかがったところ、「健康であるから」が63.3%と最も多く、次いで「家族や友人との関係が良好だから」が51.4%、「住まいがあるから」が46.8%などとなっている。

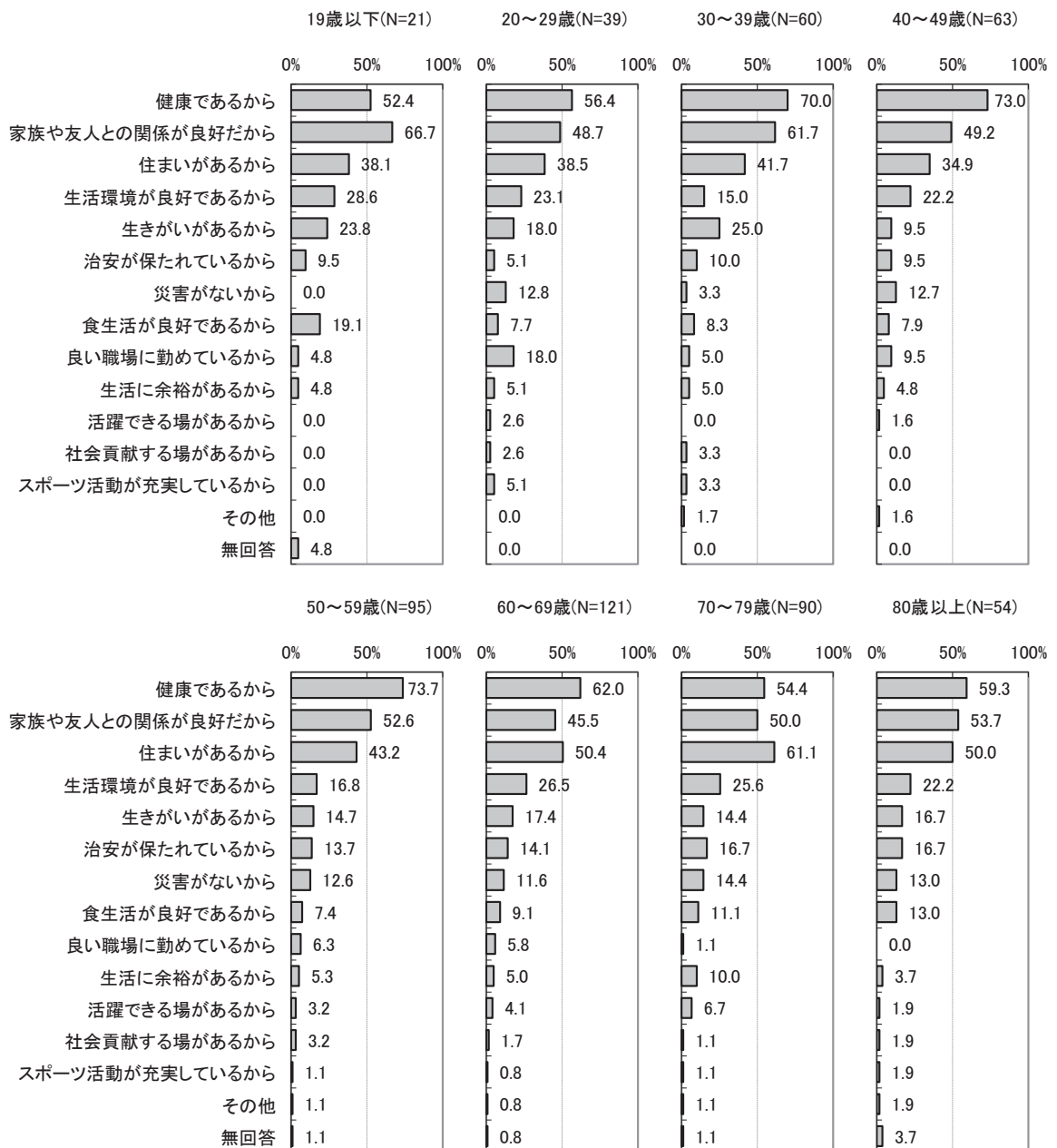
昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】

男性において「災害がないから」が14.7%と女性を5.6ポイント上回り、女性において「健康であるから」、「家族や友人との関係が良好だから」が男性より多くなっている。



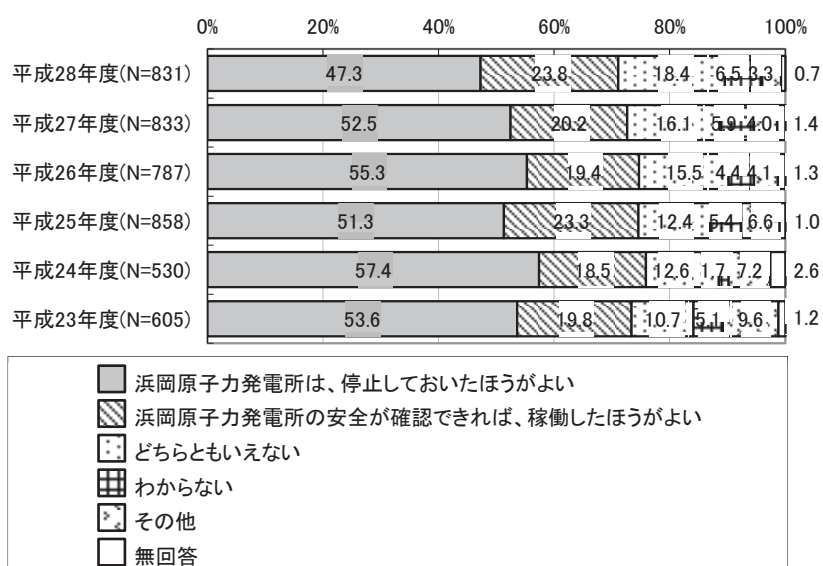
【年齢別】

19歳以下・30~39歳において「家族や友人との関係が良好だから」、「生きがいがあるから」が多く、「災害がないから」が1割を下回って少なくなっている。また、29歳以下・40~49歳において「治安が保たれているから」が1割を下回って少なく、19歳以下・70歳以上において「食生活が良好であるから」が1割を超えて多くなっている。20~29歳においては「良い職場に勤めているから」が18.0%と多く、30~59歳においては「健康であるから」が7割を超えて多くなっている。30~39歳・50~59歳においては「生活環境が良好であるから」が2割を下回って少なく、60歳以上においては「住まいがあるから」が半数を超えて多くなっている。

<原子力発電について>

問5 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？

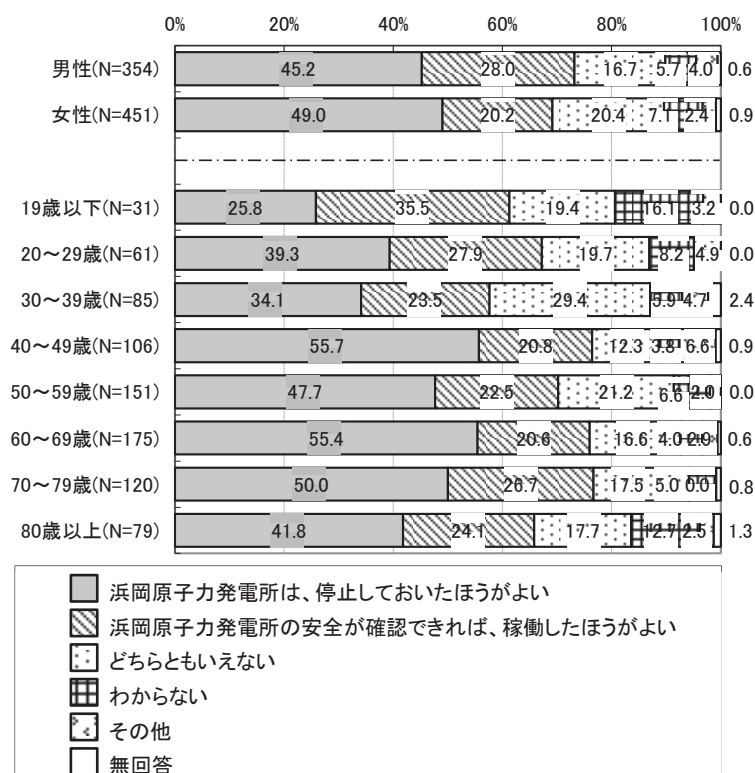
あてはまるものに1つ○印をつけてください。



浜岡原子力発電所の今後については、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が47.3%と最も多く、次いで「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が23.8%、「どちらともいえない」が18.4%などとなっている。

昨年度と比較すると、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が5.2ポイント低くなっている。

クロス集計



【性別】

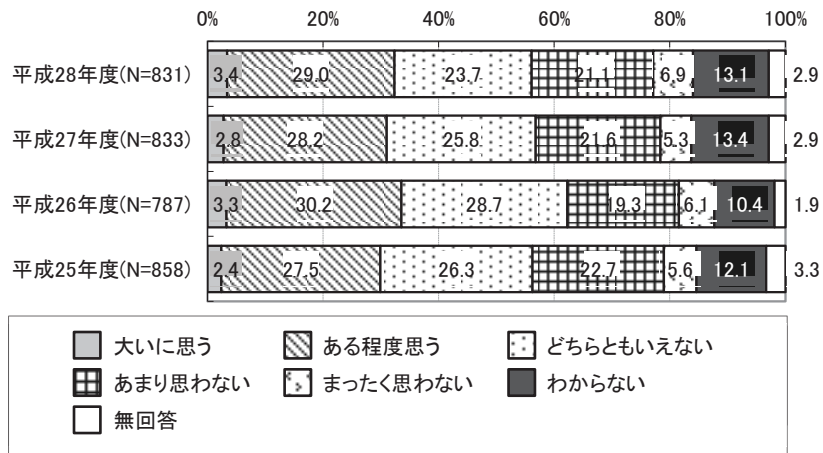
男性において「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が28.0%と女性を7.8ポイント上回っている。

【年齢別】

19歳以下において「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が35.5%と多く、19歳以下・80歳以上において「わからない」が1割を超えて多くなっている。また、30～39歳・50～59歳において「どちらともいえない」が2割を超えて多く、40～49歳・60～79歳において「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が半数を超えて多くなっている。

<子育て環境について>

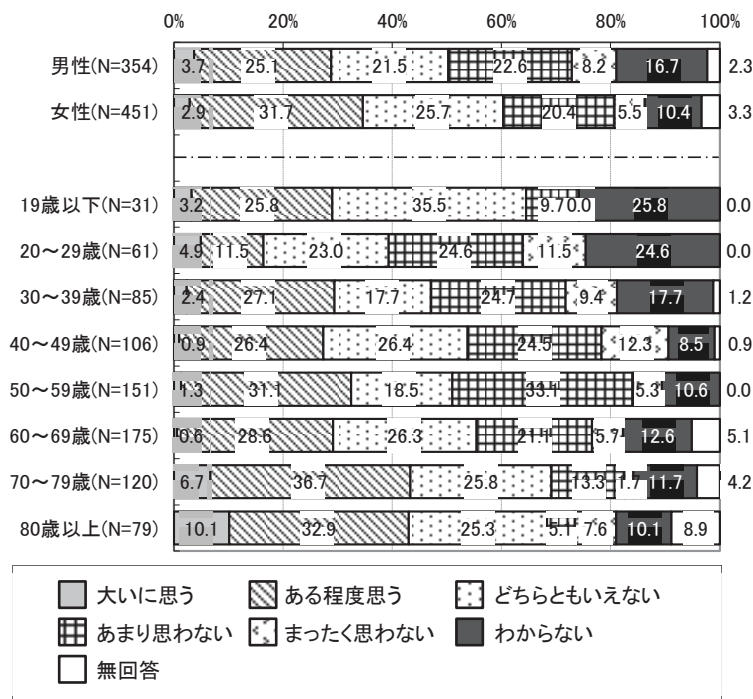
問6 あなたは、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思いますか？
あてはまるものに1つ○印をつけてください。



牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思うかについては、「ある程度思う」が29.0%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が23.7%、「あまり思わない」が21.1%などとなっている。また、「大いに思う」と「ある程度思う」を合わせた“思う”は32.4%、「まったく思わない」と「あまり思わない」を合わせた“思わない”は28.0%となっている。

昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



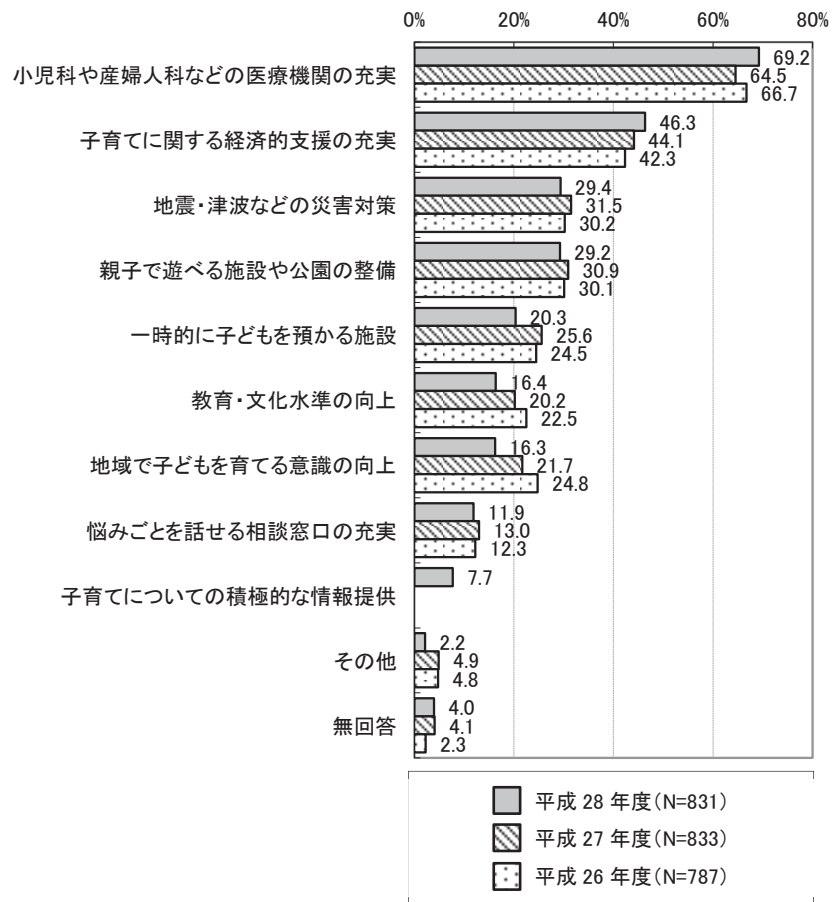
【性別】

男性において「わからない」が16.7%と女性を6.3ポイント上回っている。

【年齢別】

19歳以下において「どちらともいえない」が35.5%と多く、29歳以下において「わからない」が2割を超えて多くなっている。また、20～29歳・40～49歳において「まったく思わない」が1割を超えて多く、80歳以上において「大いに思う」が10.1%と多くなっている。“思う”は、70歳以上において4割を超えて多くなっている。

問7 あなたは、子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことはどれだと思いますか？
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



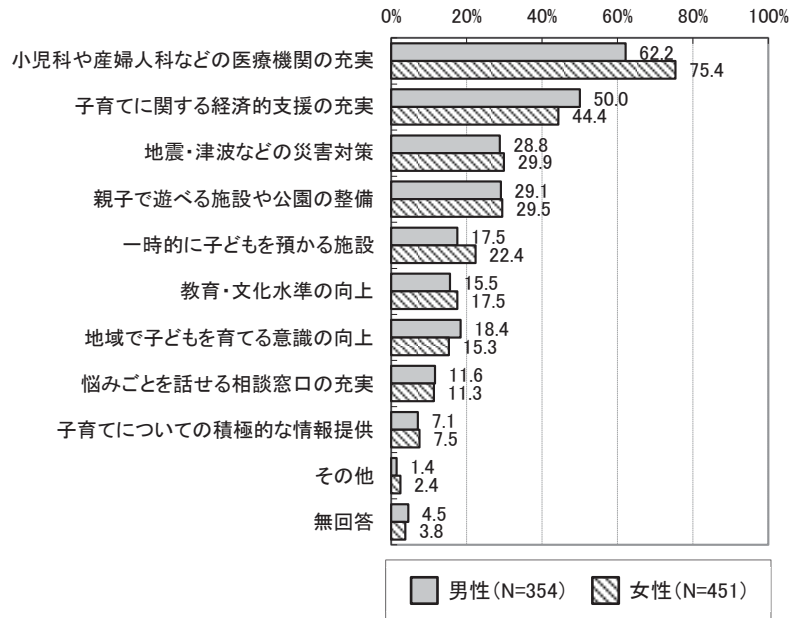
※「子育てに関する経済的支援の充実」は、平成 27 年度以前は「医療費の無料化」として実施

※「子育てについての積極的な情報提供」は、平成 28 年度より追加された項目

子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことについては、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が 69.2%と最も多く、次いで「子育てに関する経済的支援の充実」が 46.3%、「地震・津波などの災害対策」が 29.4%、「親子で遊べる施設や公園の整備」が 29.2%、「一時的に子どもを預かる施設」が 20.3%などとなっている。

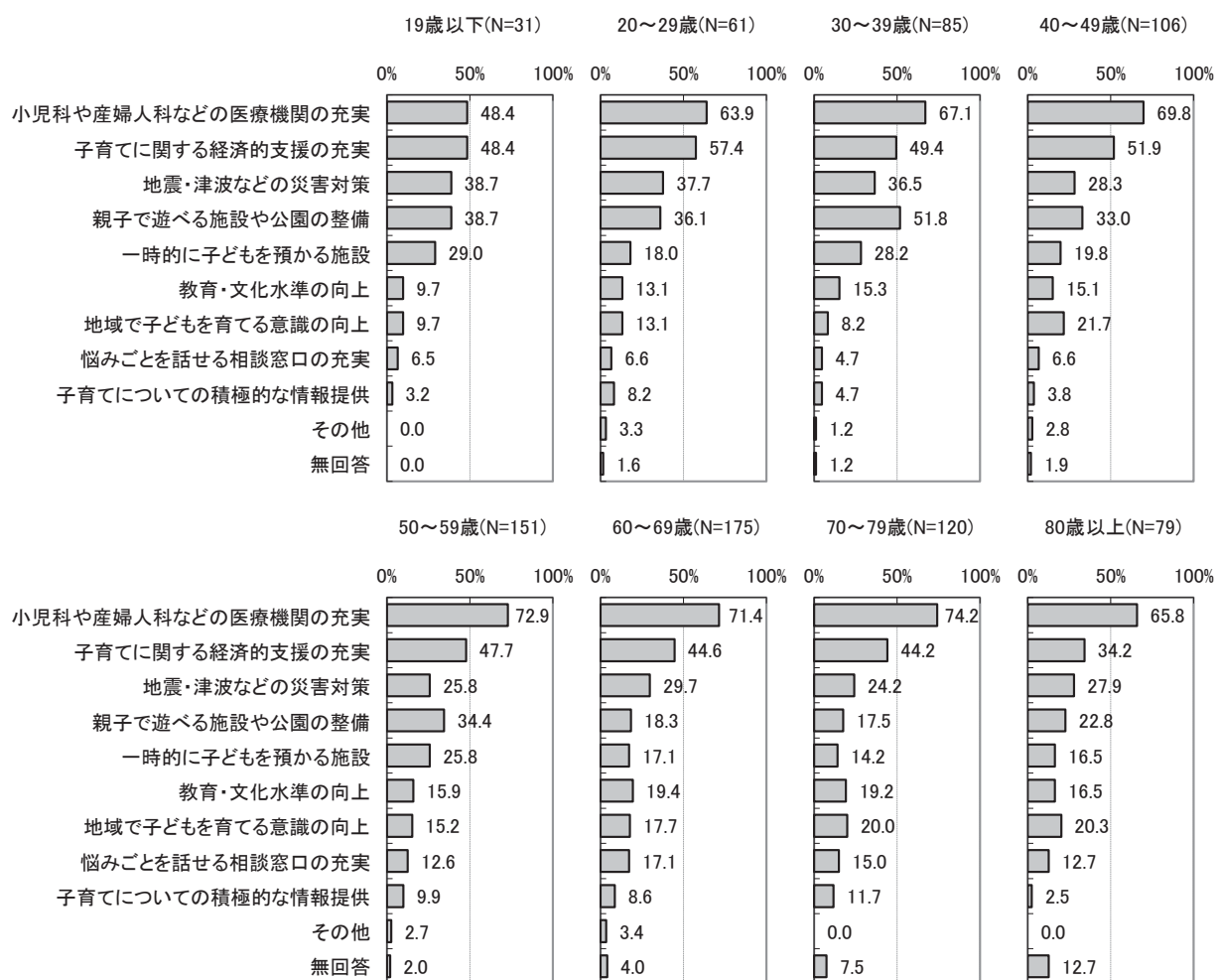
昨年度と比較すると、「一時的に子どもを預かる施設」、「地域で子どもを育てる意識の向上」が少なくなっている。

クロス集計



【性別】

男性において「子育てに関する経済的支援の充実」が50.0%と女性を5.6ポイント上回り、女性において「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が75.4%と男性を13.2ポイント上回っている。



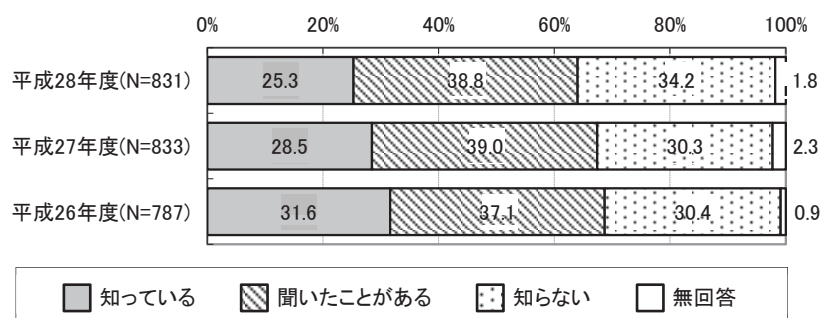
【年齢別】

19歳以下において「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」、「教育・文化水準の向上」が少なく、39歳以下において「地震・津波などの災害対策」が3割を超えて多くなっている。また、19歳以下・30~39歳において「地域で子どもを育てる意識の向上」が1割を下回って少なく、19歳以下・30~39歳・50~59歳において「一時的に子どもを預かる施設」が2割を超えて多くなっている。20~29歳・40~49歳においては「子育てに関する経済的支援の充実」が半数を超えて多く、30~39歳においては「親子で遊べる施設や公園の整備」が51.8%と多くなっている。40~49歳・70歳以上においては「地域で子どもを育てる意識の向上」が2割を超えて多く、50歳以上においては「悩みごとを話せる相談窓口の充実」が1割を超えて多くなっている。70~79歳においては「子育てについての積極的な情報提供」が11.7%と多くなっている。

< “公共施設の更新問題” について >

問8 あなたは、「公共施設の更新問題（老朽化問題）」を知っていましたか？

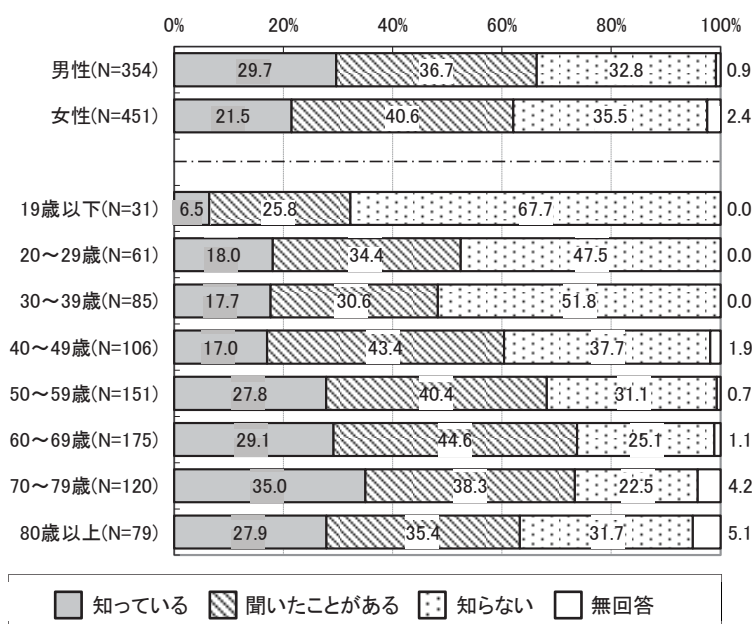
あてはまるものに1つ○印をつけてください。



公共施設の更新問題（老朽化問題）の認知状況については、「聞いたことがある」が38.8%と最も多く、次いで「知らない」が34.2%、「知っている」が25.3%となっている。

昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



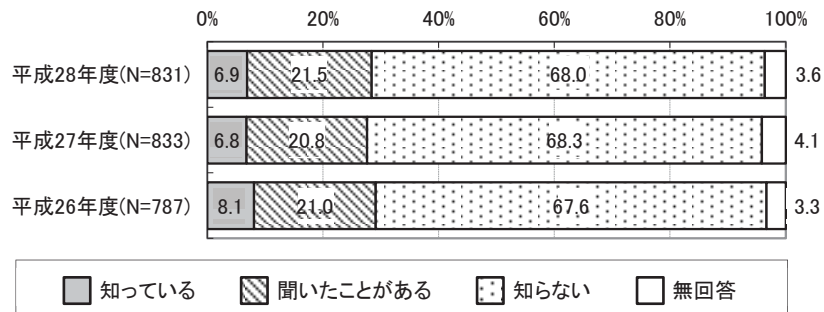
【性別】

男性において「知っている」が29.7%と女性を8.2ポイント上回っている。

【年齢別】

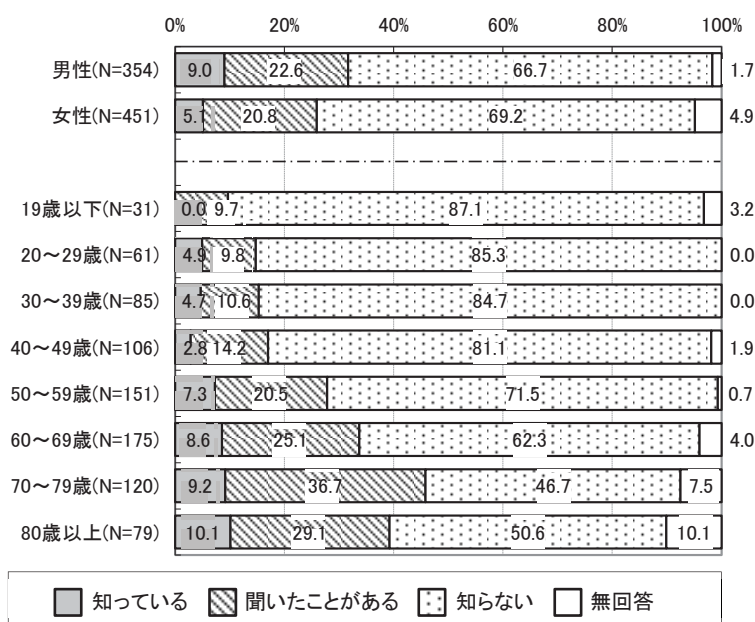
19歳以下において「聞いたことがある」が25.8%と少なく、19歳以下・30～39歳において「知らない」が半数を超えて多くなっている。また、70～79歳において「知っている」が35.0%と多くなっている。

問9 牧之原市では、「公共施設の更新問題（老朽化問題）」に対応するための取り組みを行っています。
あなたは、この取り組みを知っていましたか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



公共施設の更新問題（老朽化問題）に対応するための取り組みの認知状況については、「知らない」が68.0%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が21.5%、「知っている」が6.9%となっている。昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】

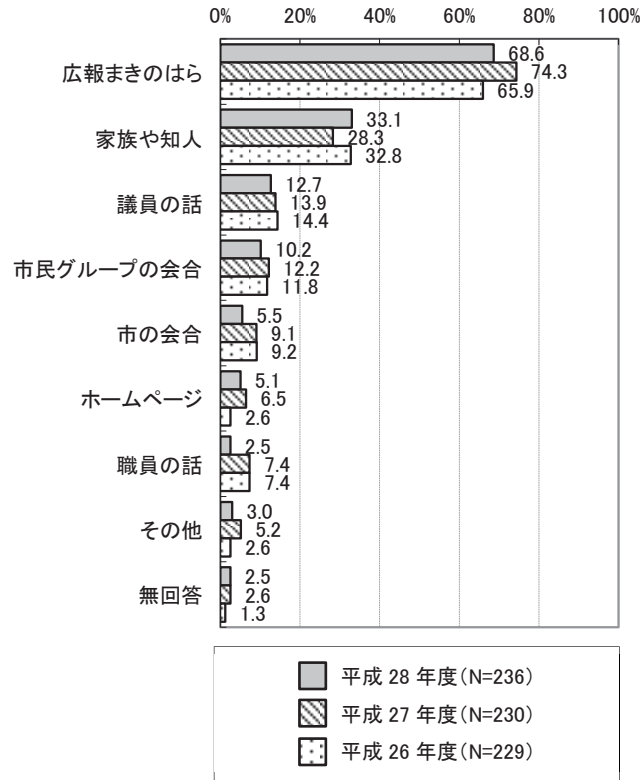
性別では、大きな差異はみられない。

【年齢別】

79歳までは年齢が高くなるほど、「聞いたことがある」が多くなる傾向がみられる。また、70～79歳において「知らない」が46.7%と少なく、80歳以上において「知っている」が10.1%と多くなっている。

(問9で「1. 知っている」または「2. 聞いたことがある」と答えた方にお聞きします。)

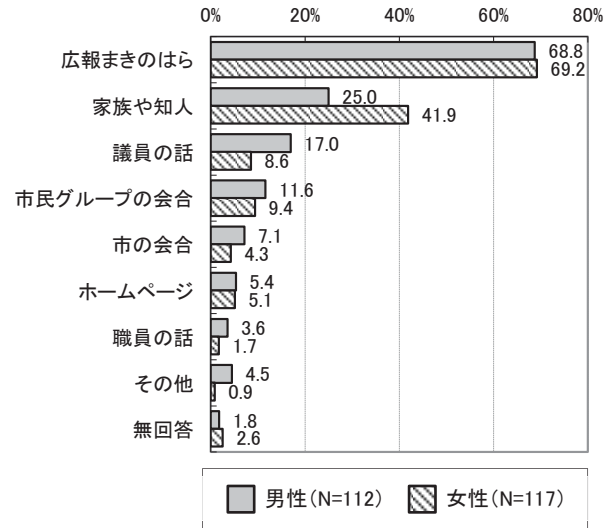
問10 その情報を何で見聞きしましたか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



問9で「知っている」または「聞いたことがある」と回答した236人に、公共施設の更新問題（老朽化問題）に対応するための取り組みに関する情報の入手方法についてうかがったところ、「広報まきのはら」が68.6%と最も多く、次いで「家族や知人」が33.1%、「議員の話」が12.7%、「市民グループの会合」が10.2%などとなっている。

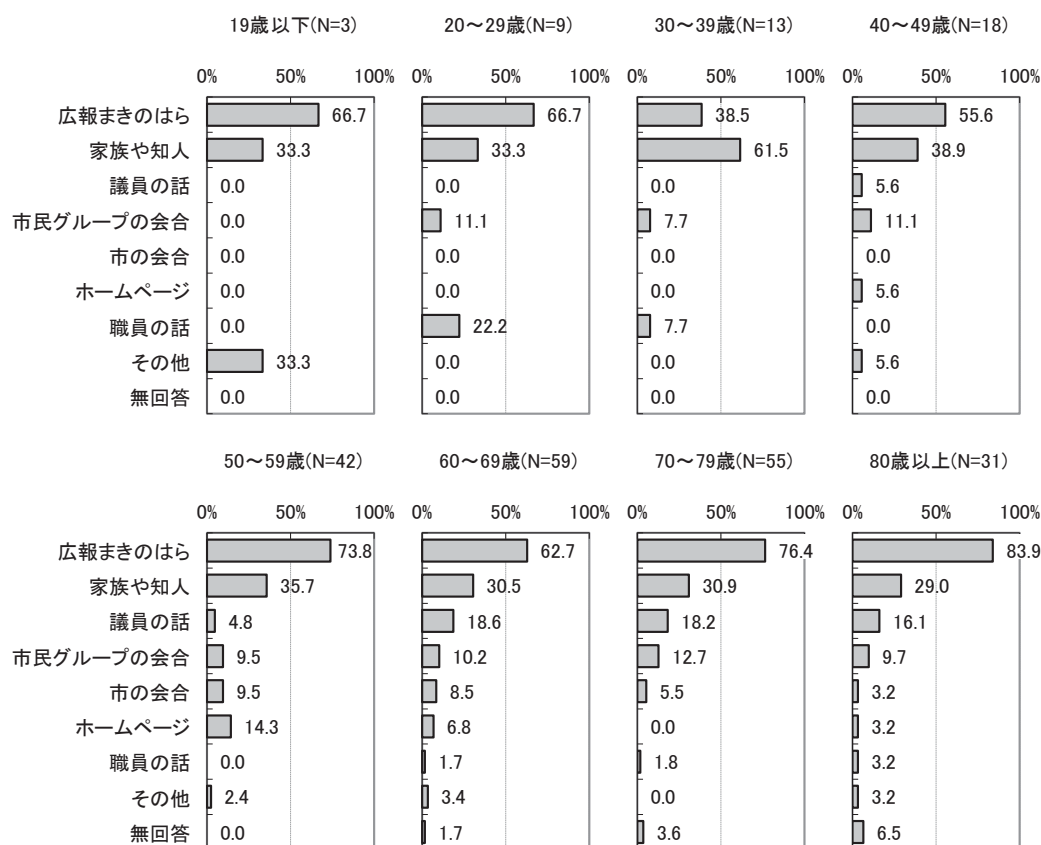
昨年度と比較すると、「広報まきのはら」が5.7ポイント低くなっている。

クロス集計



【性別】

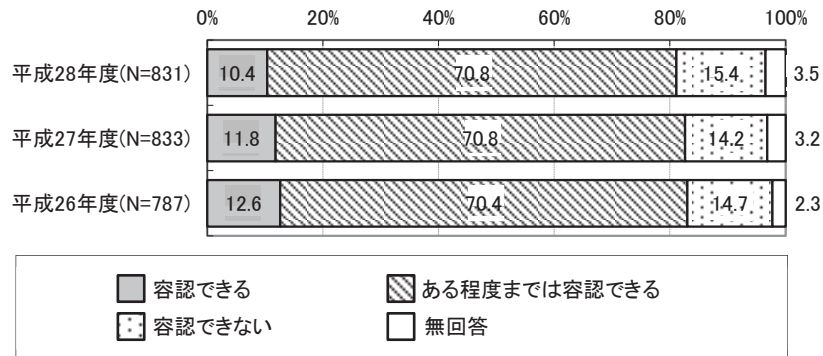
男性において「議員の話」が17.0%と女性を8.4ポイント上回り、女性において「家族や知人」が41.9%と男性を16.9ポイント上回っている。



【年齢別】

50～59歳において「議員の話」が4.8%と少なく、「ホームページ」が14.3%と多くなっている。また、60～69歳において「広報まきのはら」が62.7%と少なく、80歳以上において「家族や知人」が29.0%と少なくなっている。

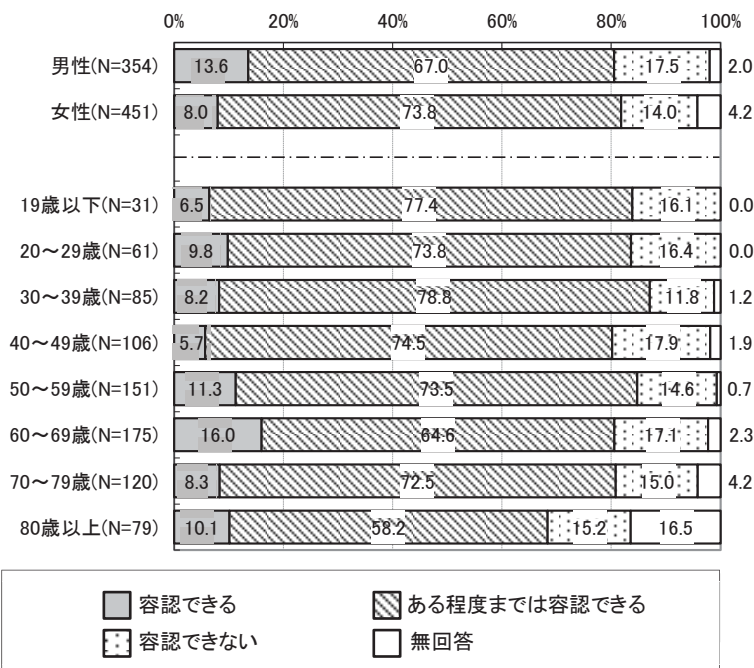
問 11 「公共施設の更新問題（老朽化問題）」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。
このことに対して、あなたはどのように思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



公共施設の更新問題（老朽化問題）に対応するための取り組みによる不便さについては、「ある程度までは容認できる」が70.8%と最も多く、次いで「容認できない」が15.4%、「容認できる」が10.4%となっている。また、「容認できる」と「ある程度までは容認できる」を合わせた“容認できる”は81.2%となっている。

昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】

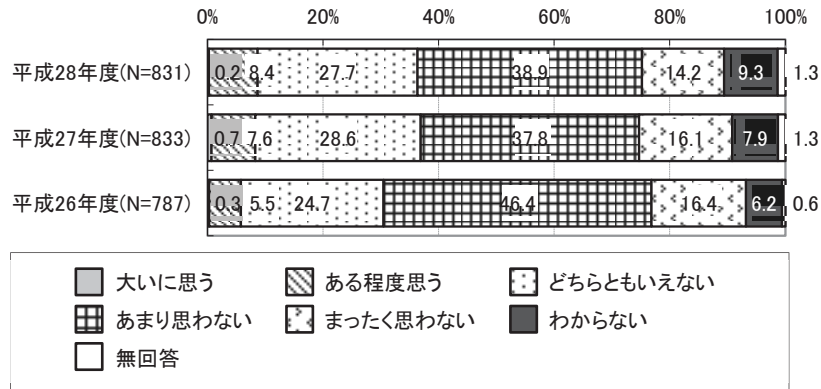
男性において「容認できる」が13.6%と女性を5.6ポイント上回り、女性において「ある程度までは容認できる」が73.8%と男性を6.8ポイント上回っている。

【年齢別】

50～69歳・80歳以上において「容認できる」が1割を超えて多く、60～69歳・80歳以上において「ある程度までは容認できる」が7割を下回って少なくなっている。また、“容認できる”は、80歳以上において68.3%と7割を下回って少なくなっている。

< “産業・雇用” について >

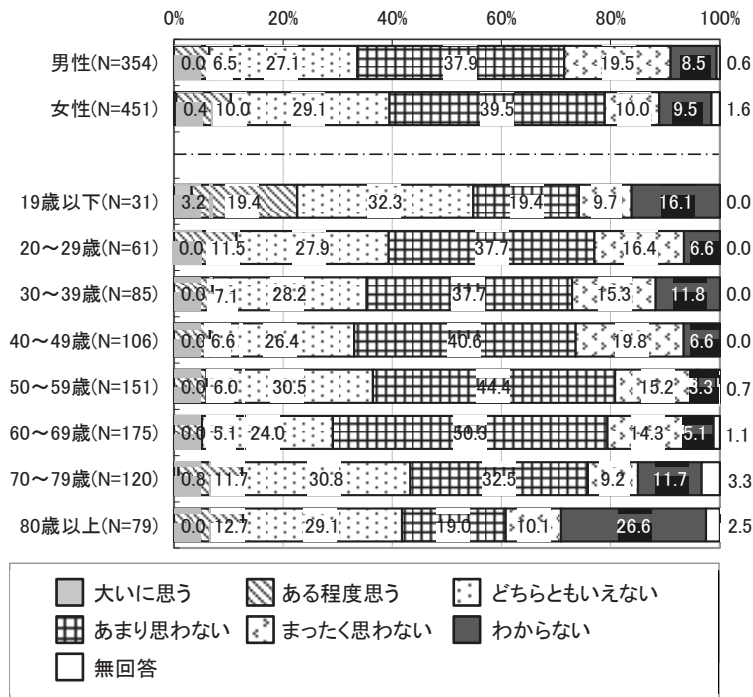
問 12 あなたは、市の産業に、活力（元気）があると思いますか。
 あてはまるものに1つ○印をつけてください。



市の産業に活力（元気）があると思うかについては、「あまり思わない」が38.9%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が27.7%、「まったく思わない」が14.2%などとなっている。また、「大いに思う」と「ある程度思う」を合わせた“思う”は8.6%、「まったく思わない」と「あまり思わない」を合わせた“思わない”は53.1%となっている。

昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】

男性において「まったく思わない」が19.5%と女性を9.5ポイント上回っている。また、「思わない」は男性において57.4%、女性において49.5%と、男性の方が多くなっている。

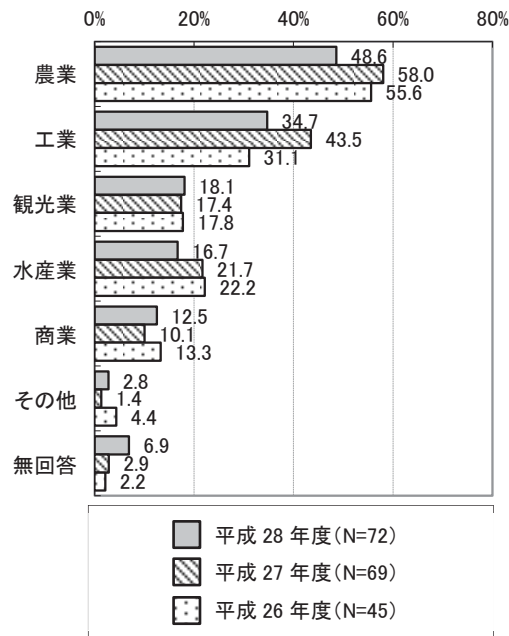
【年齢別】

19歳以下・50～59歳・70～79歳において「どちらともいえない」が3割を超えて多く、19歳以下・70～79歳において「まったく思わない」が1割を下回って少なくなっている。また、80歳以上において「わからない」が26.6%と多くなっている。「思わない」は、20～69歳において半数を超えて多くなっている。

(問12で「1. 大いに思う」または「2. ある程度思う」と答えた方にお聞きします。)

問13 あなたは、どの産業に活力(元気)があると思いますか。

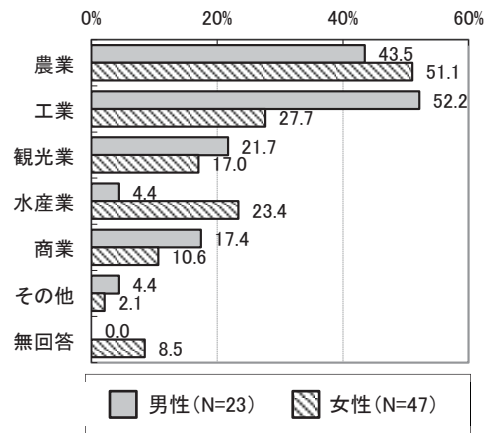
あてはまるものに全てに○印をつけてください。



問12で「大いに思う」または「ある程度思う」と回答した72人に、活力(元気)があると思う産業についてうかがったところ、「農業」が48.6%と最も多く、次いで「工業」が34.7%、「観光業」が18.1%、「水産業」が16.7%、「商業」が12.5%などとなっている。

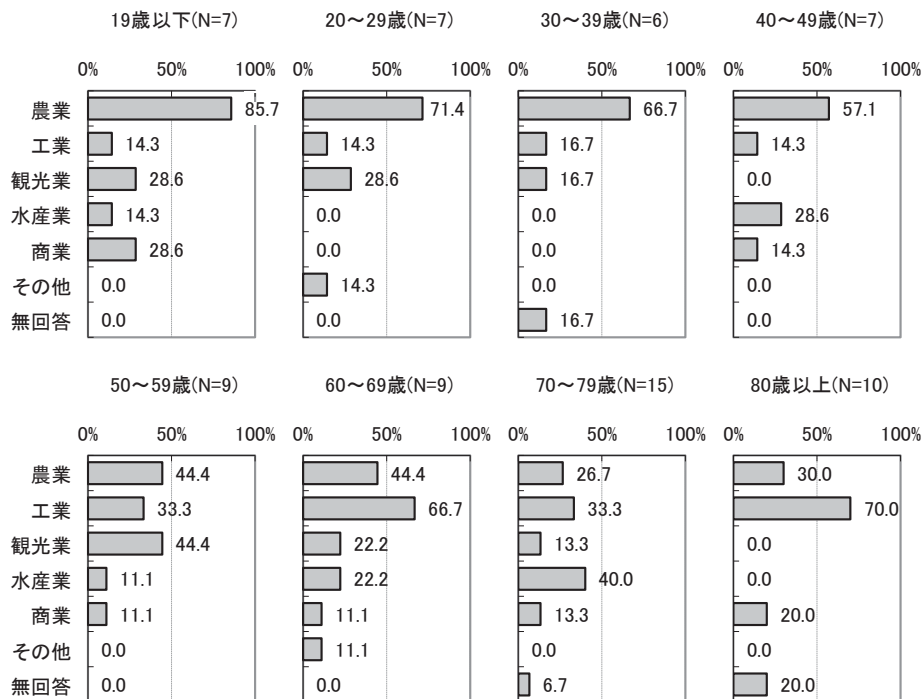
昨年度と比較すると、「農業」、「工業」、「水産業」が少なくなっている。

クロス集計



【性別】

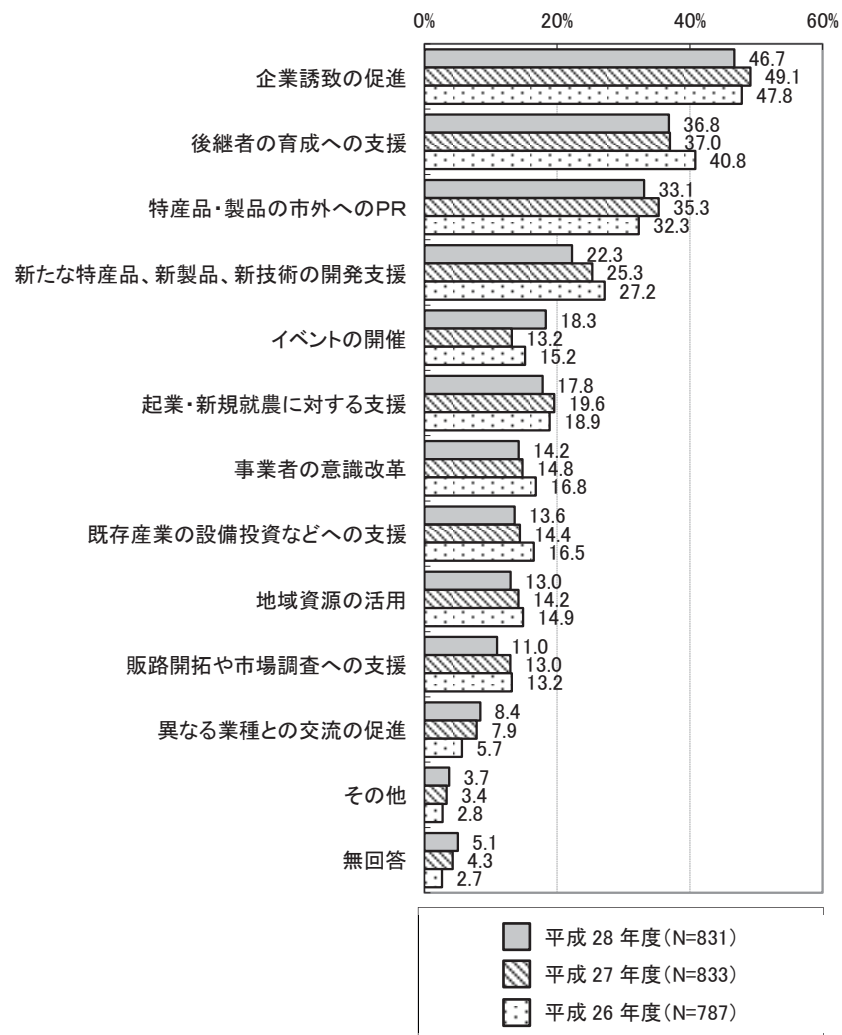
男性において「工業」、「商業」が女性より多く、女性において「農業」、「水産業」が男性より多くなっている。



【年齢別】

(サンプル数が少ないため、コメントは割愛する)

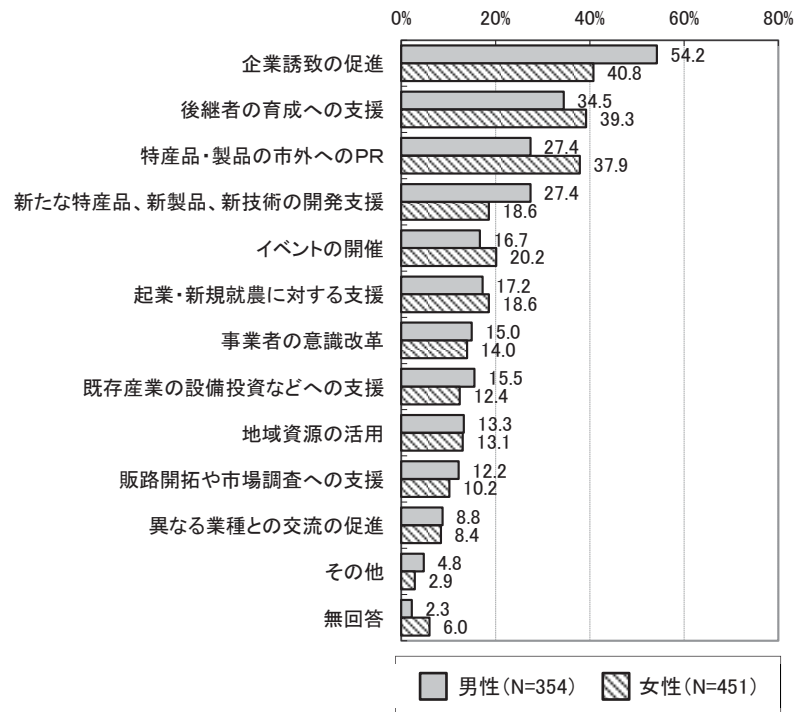
問 14 あなたは、市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取り組みは何だと思いますか？
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取り組みについては、「企業誘致の促進」が46.7%と最も多く、次いで「後継者の育成への支援」が36.8%、「特産品・製品の市外へのPR」が33.1%などとなっている。

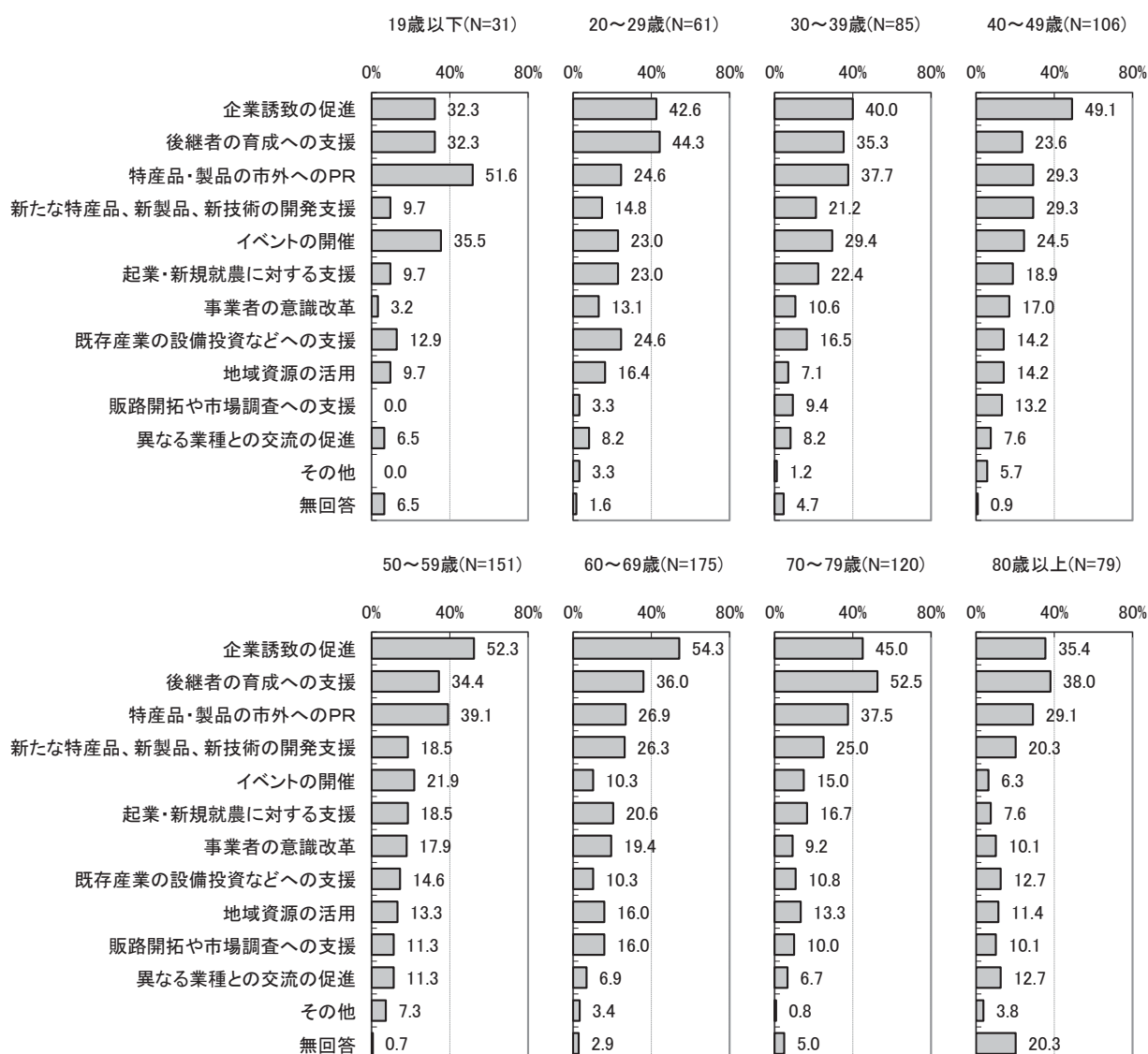
昨年度と比較すると、「イベントの開催」が5.1ポイント高くなっている。

クロス集計



【性別】

男性において「企業誘致の促進」、「新たな特産品、新製品、新技術の開発支援」が女性より多く、女性において「特産品・製品の市外へのPR」が37.9%と男性を10.5ポイント上回っている。

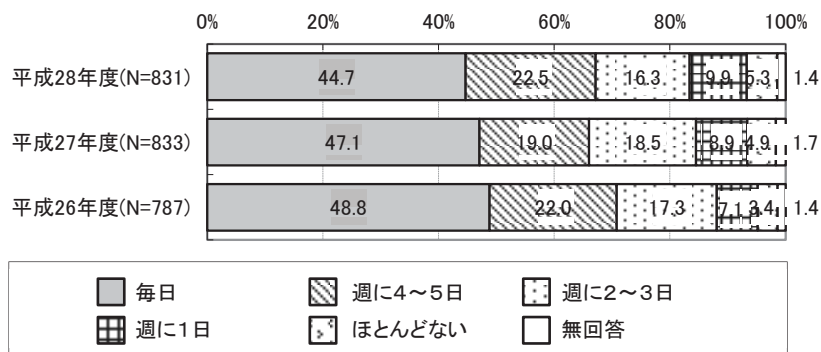


【年齢別】

19歳以下において「特産品・製品の市外へのPR」、「イベントの開催」が多く、「新たな特産品、新製品、新技術の開発支援」が9.7%と少なくなっている。また、39歳以下において「販路開拓や市場調査への支援」が1割を下回って少なく、19歳以下・30~39歳において「地域資源の活用」が1割を下回って少なくなっている。19歳以下・70~79歳においては「事業者の意識改革」が1割を下回って少なく、19歳以下・80歳以上においては「企業誘致の促進」、「起業・新規就農に対する支援」が少なくなっている。20~29歳においては「既存産業の設備投資などへの支援」が24.6%と多く、20~29歳・70~79歳においては「後継者の育成への支援」が4割を超えて多くなっている。50~59歳・80歳以上においては「異なる業種との交流の促進」が1割を超えて多くなっている。

< “地域活動” について >

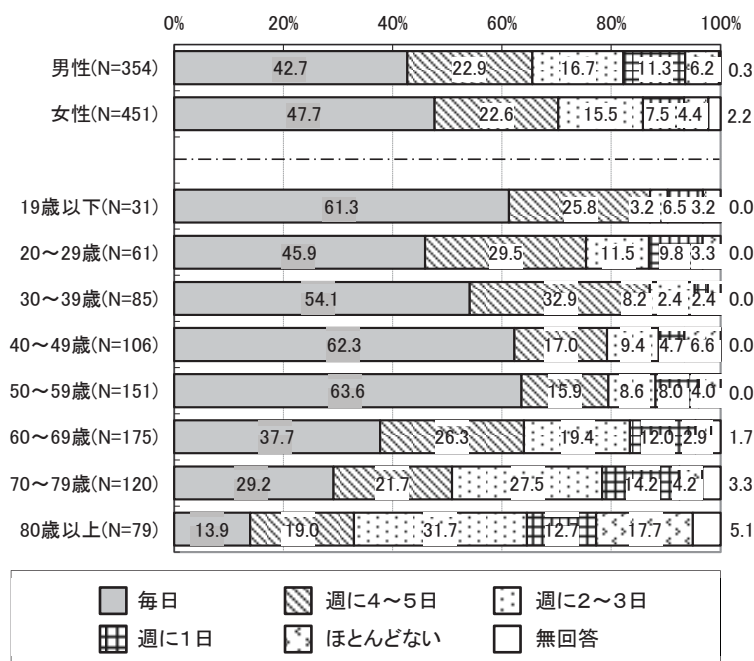
問 15 あなたは、週に何日くらい外出しますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



週あたりの外出頻度については、「毎日」が44.7%と最も多く、次いで「週に4～5日」が22.5%、「週に2～3日」が16.3%などとなっている。

昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



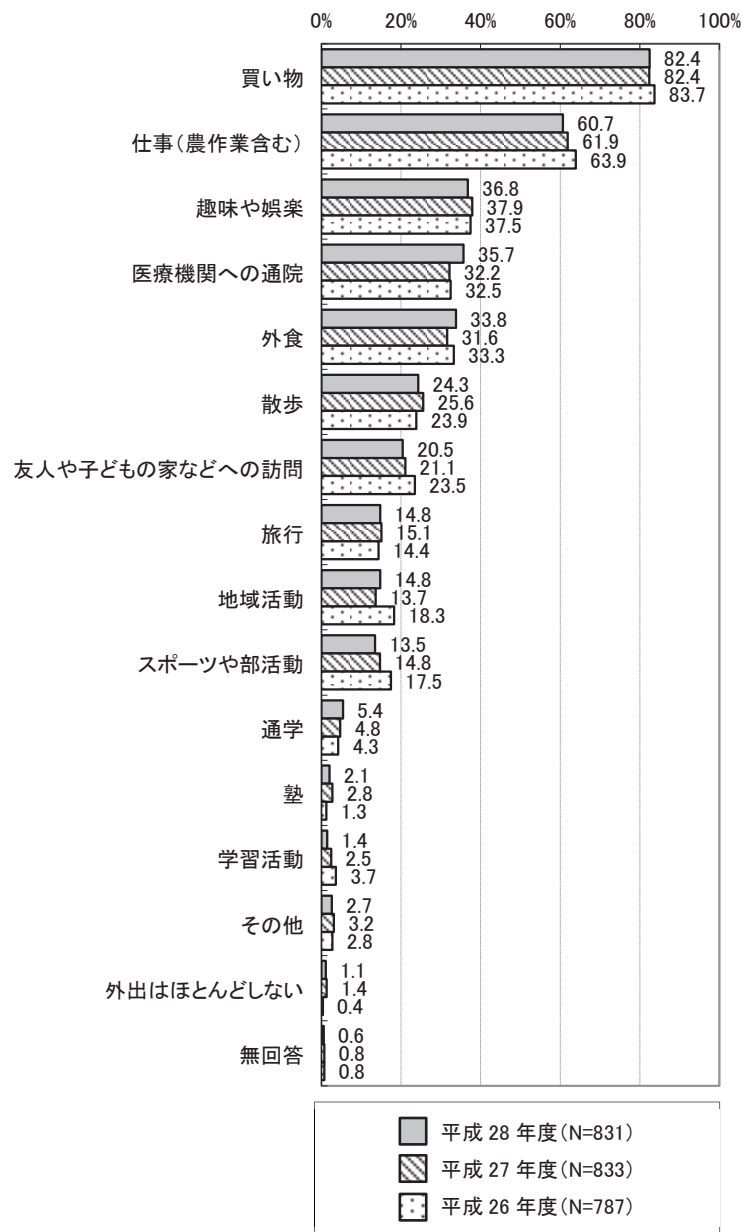
【性別】

女性において「毎日」が47.7%と男性を5.0ポイント上回っている。

【年齢別】

30～39歳において「週に4～5日」が32.9%と多く、70歳以上において「週に2～3日」が2割を超えて多くなっている。また、60歳以上において「毎日」が4割を下回って少なく、「週に1日」が1割を超えて多くなっている。80歳以上においては「ほとんどない」が17.7%と多くなっている。

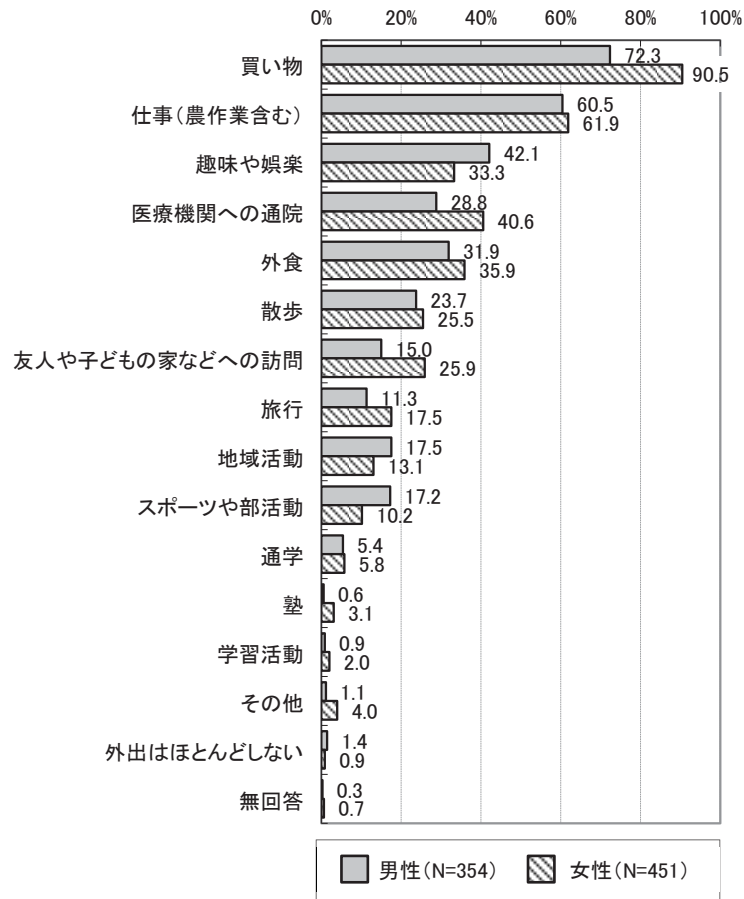
問 16 あなたは何のために外出しますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



外出の目的については、「買い物」が82.4%と最も多く、次いで「仕事（農作業含む）」が60.7%、「趣味や娯楽」が36.8%、「医療機関への通院」が35.7%、「外食」が33.8%などとなっている。

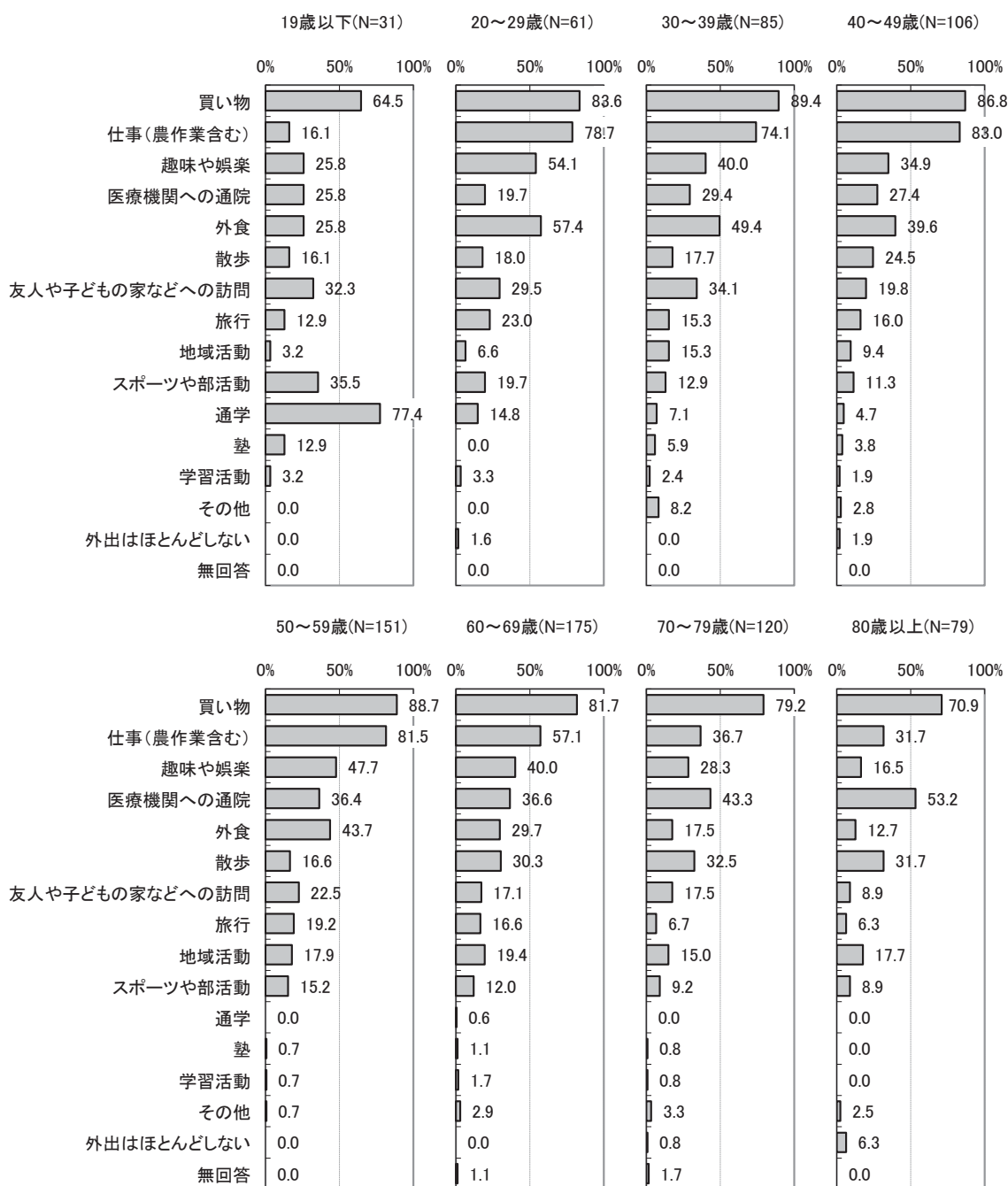
昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】

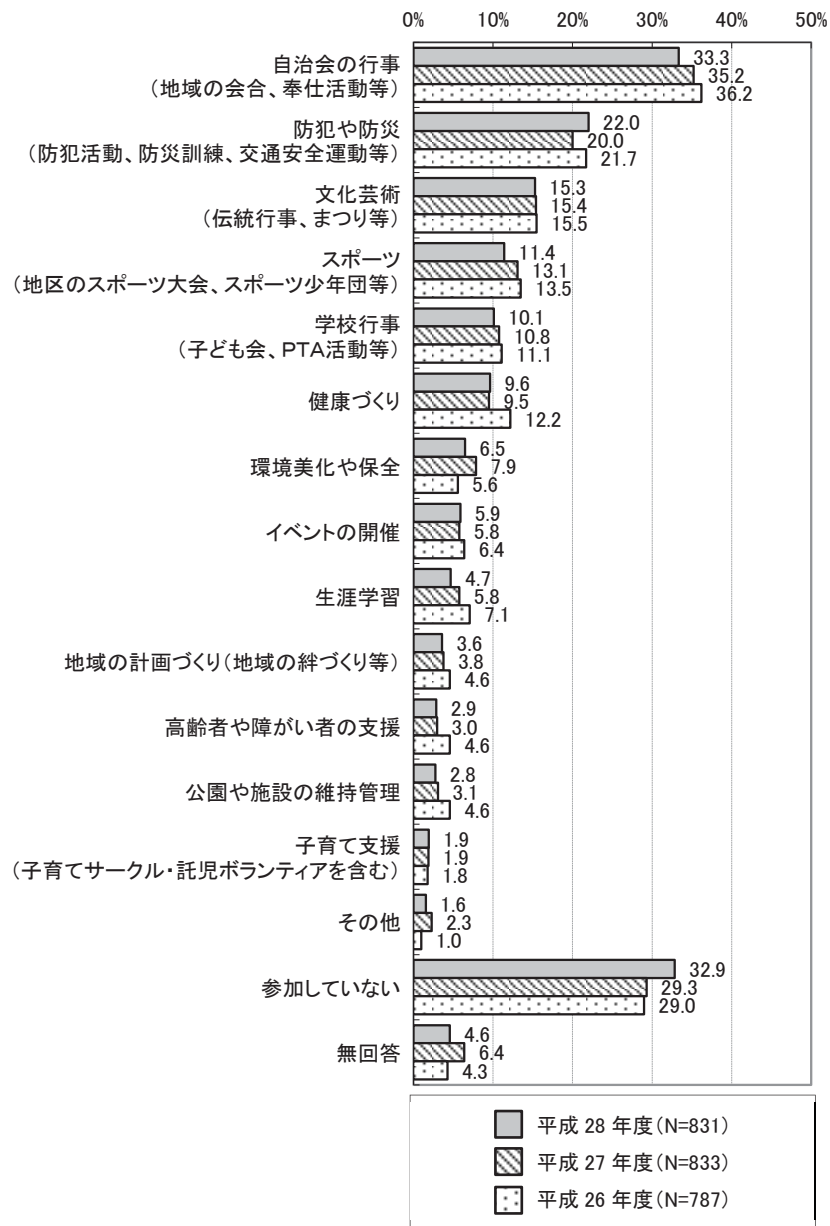
男性において「趣味や娯楽」、「スポーツや部活動」が女性より多く、女性において「買い物」、「医療機関への通院」、「友人や子どもの家などへの訪問」、「旅行」が男性より多くなっている。



【年齢別】

19歳以下において「買い物」が64.5%と少なく、「スポーツや部活動」、「通学」、「塾」が多くなっている。また、29歳以下・40~49歳において「地域活動」が1割を下回って少なく、19歳以下・30~39歳において「友人や子どもの家などへの訪問」が3割を超えて多くなっている。19歳以下・70歳以上においては「仕事（農作業含む）」が4割を下回って少なく、20~29歳においては「趣味や娯楽」、「外食」、「旅行」が多くなっている。60歳以上においては「散歩」が3割を超えて多く、80歳以上においては「医療機関への通院」が53.2%と多くなっている。

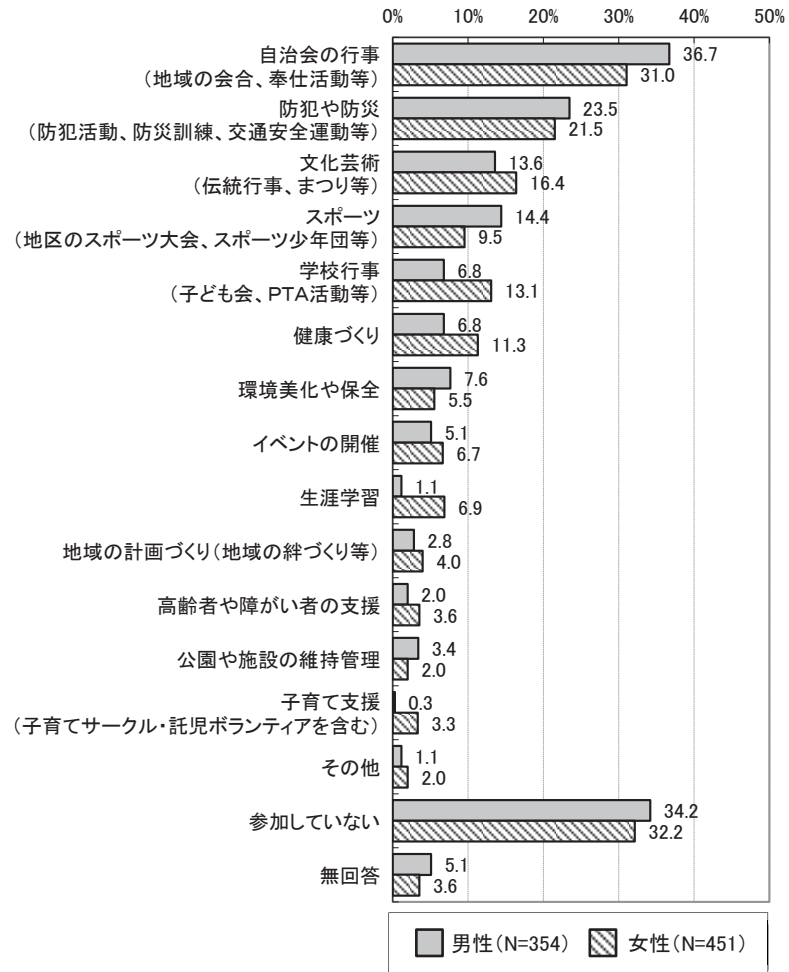
問 17 あなたが現在参加している地域活動は何ですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



参加している地域活動については、「自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）」が 33.3%と最も多く、次いで「参加していない」が 32.9%、「防犯や防災（防犯活動、防災訓練、交通安全運動等）」が 22.0%などとなっている。

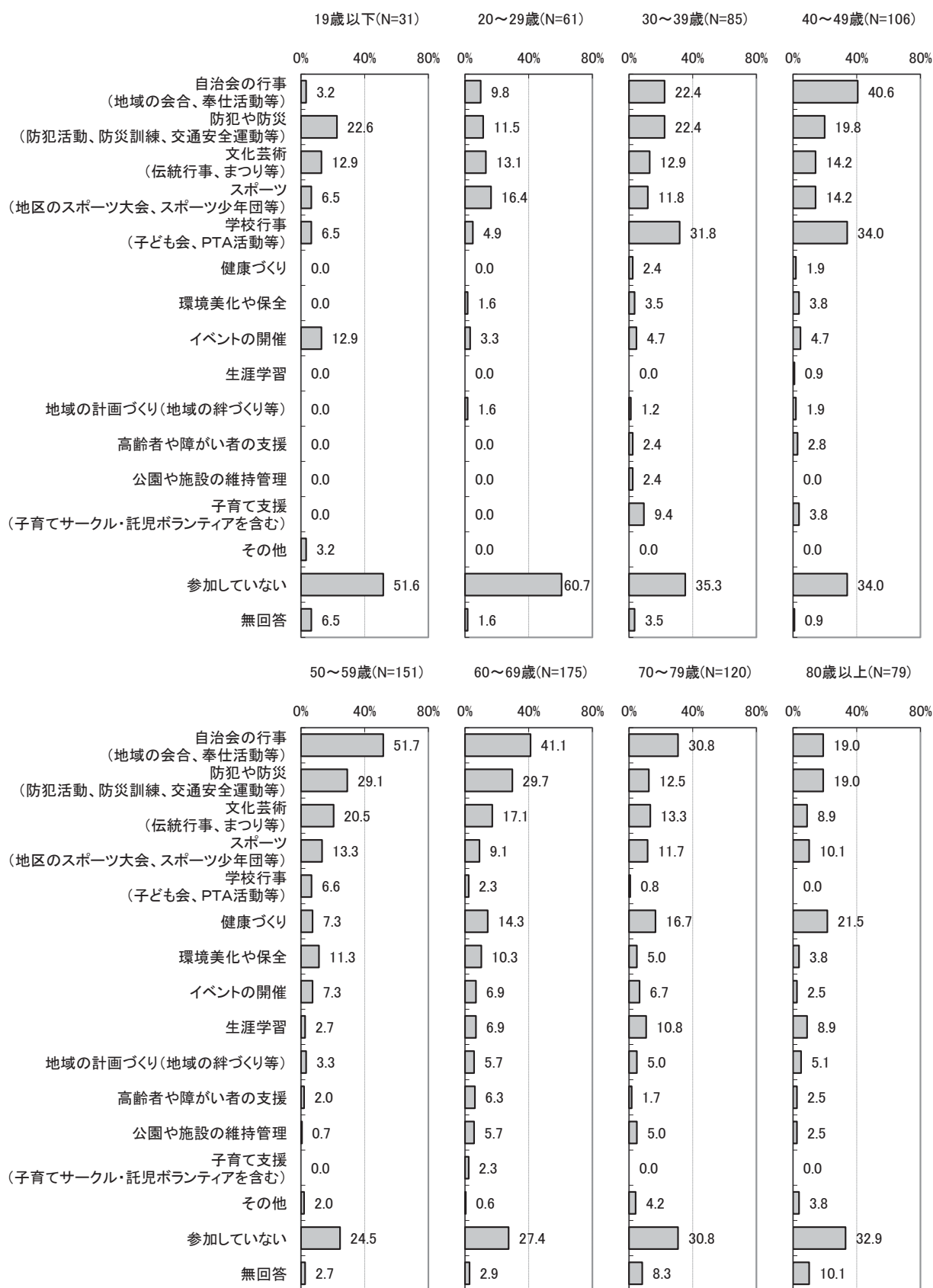
昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】

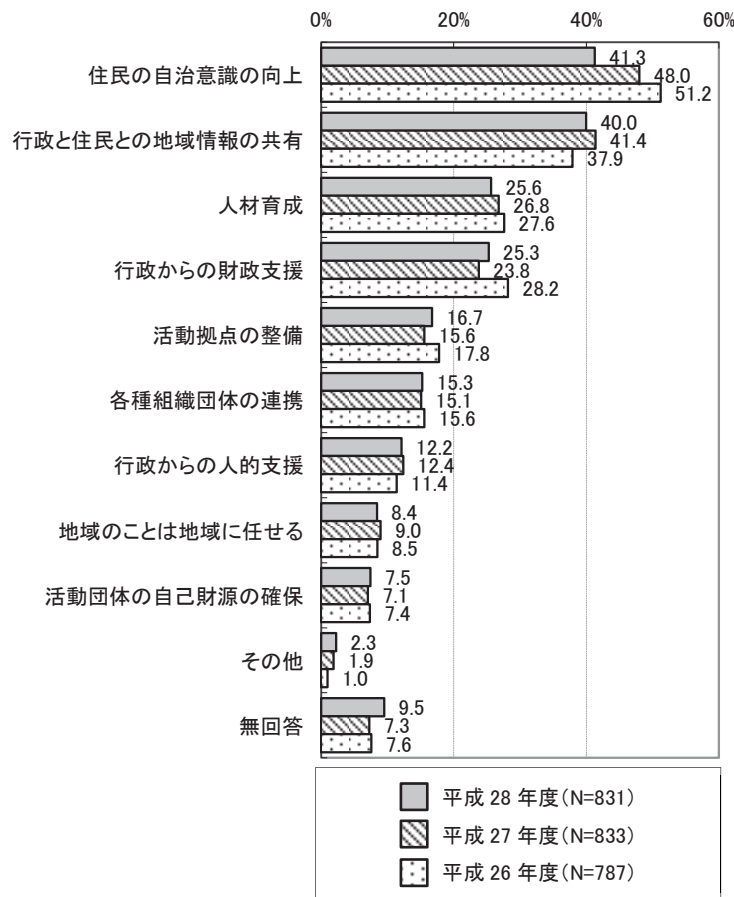
男性において「自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）」が36.7%と女性を5.7ポイント上回り、女性において「学校行事（子ども会、PTA活動等）」、「生涯学習」が男性より多くなっている。



【年齢別】

29歳以下において「参加していない」が半数を超えて多く、30～49歳において「学校行事（子ども会、PTA活動等）」が3割を超えて多くなっている。また、40～69歳において「自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）」が4割を超えて多くなっている。

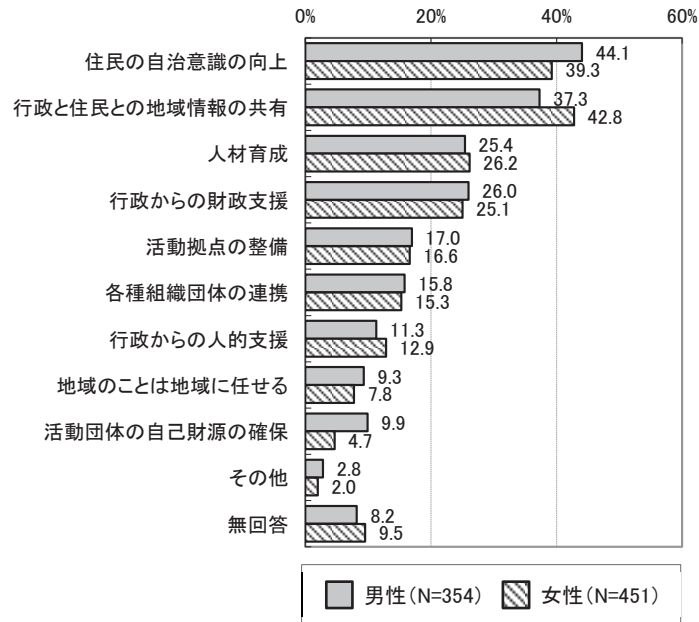
問 18 あなたは、地域活動の活発・活性化に必要なだと思うことは何ですか？
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



地域活動の活発・活性化に必要なと思うことについては、「住民の自治意識の向上」が41.3%と最も多く、次いで「行政と住民との地域情報の共有」が40.0%、「人材育成」が25.6%、「行政からの財政支援」が25.3%などとなっている。

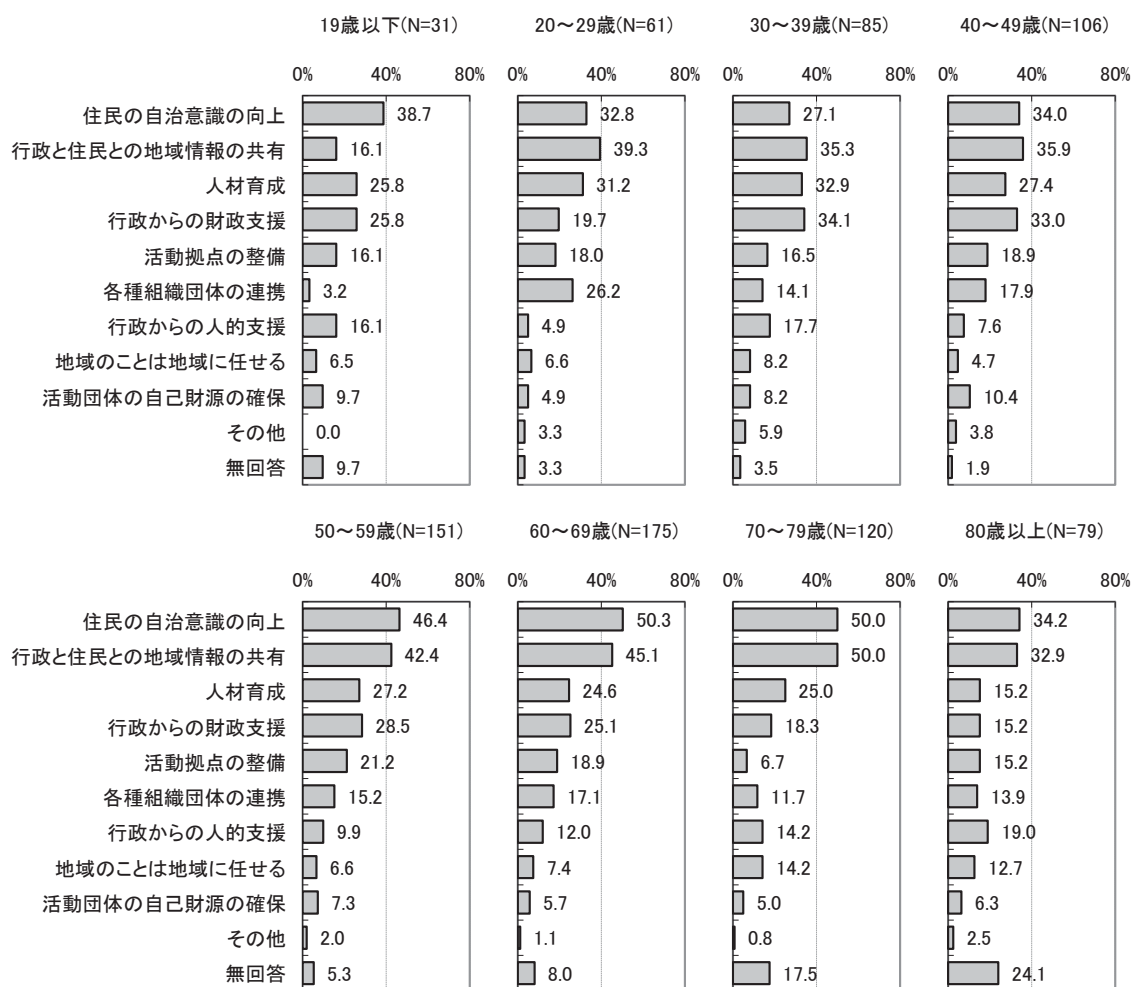
昨年度と比較すると、「住民の自治意識の向上」が6.7ポイント低くなっている。

クロス集計



【性別】

男性において「活動団体の自己財源の確保」が9.9%と女性を5.2ポイント上回り、女性において「行政と住民との地域情報の共有」が42.8%と男性を5.5ポイント上回っている。



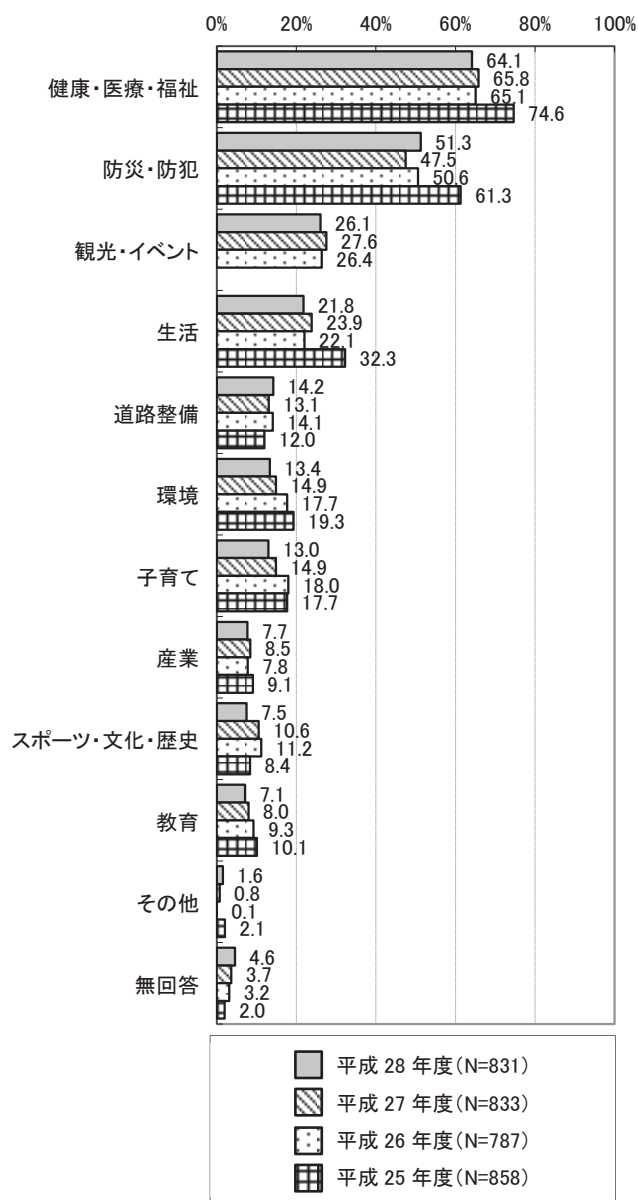
【年齢別】

20~29歳において「各種組織団体の連携」が26.2%と多く、20~39歳において「人材育成」が3割を超えて多くなっている。また、20~29歳・40~59歳において「行政からの人的支援」が1割を下回って少なく、30~49歳において「行政からの財政支援」が3割を超えて多くなっている。40~49歳においては「活動団体の自己財源の確保」が10.4%と多く、50~59歳においては「活動拠点の整備」が21.2%と多くなっている。60~79歳においては「住民の自治意識の向上」が半数を超えて多く、70~79歳においては「行政と住民との地域情報の共有」が50.0%と多くなっている。70歳以上においては「地域のことは地域に任せる」が1割を超えて多くなっている。

<市からの情報発信について>

問 19 あなたは、市からの情報の中で、どんな情報を得たいと思いますか？

次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

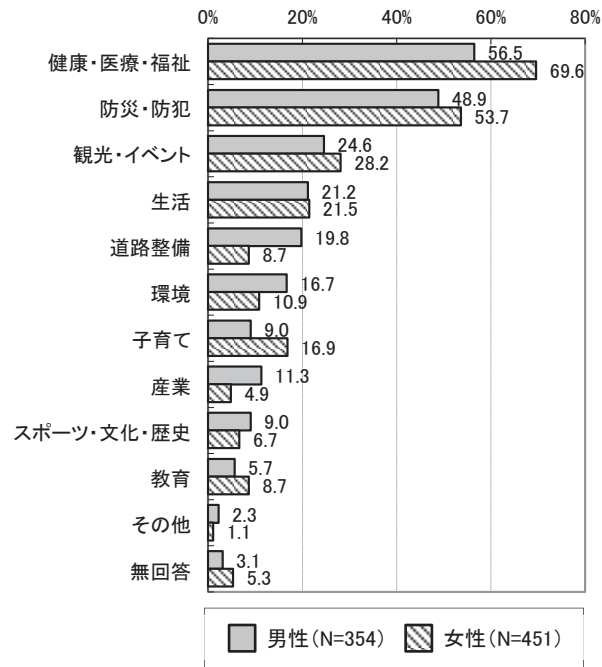


※「観光・イベント」は、平成 26 年度より追加された項目
 ※「スポーツ・文化・歴史」は、平成 25 年度では「文化・歴史」という項目

得たいと思う市からの情報については、「健康・医療・福祉」が 64.1%と最も多く、次いで「防災・防犯」が 51.3%、「観光・イベント」が 26.1%、「生活」が 21.8%などとなっている。

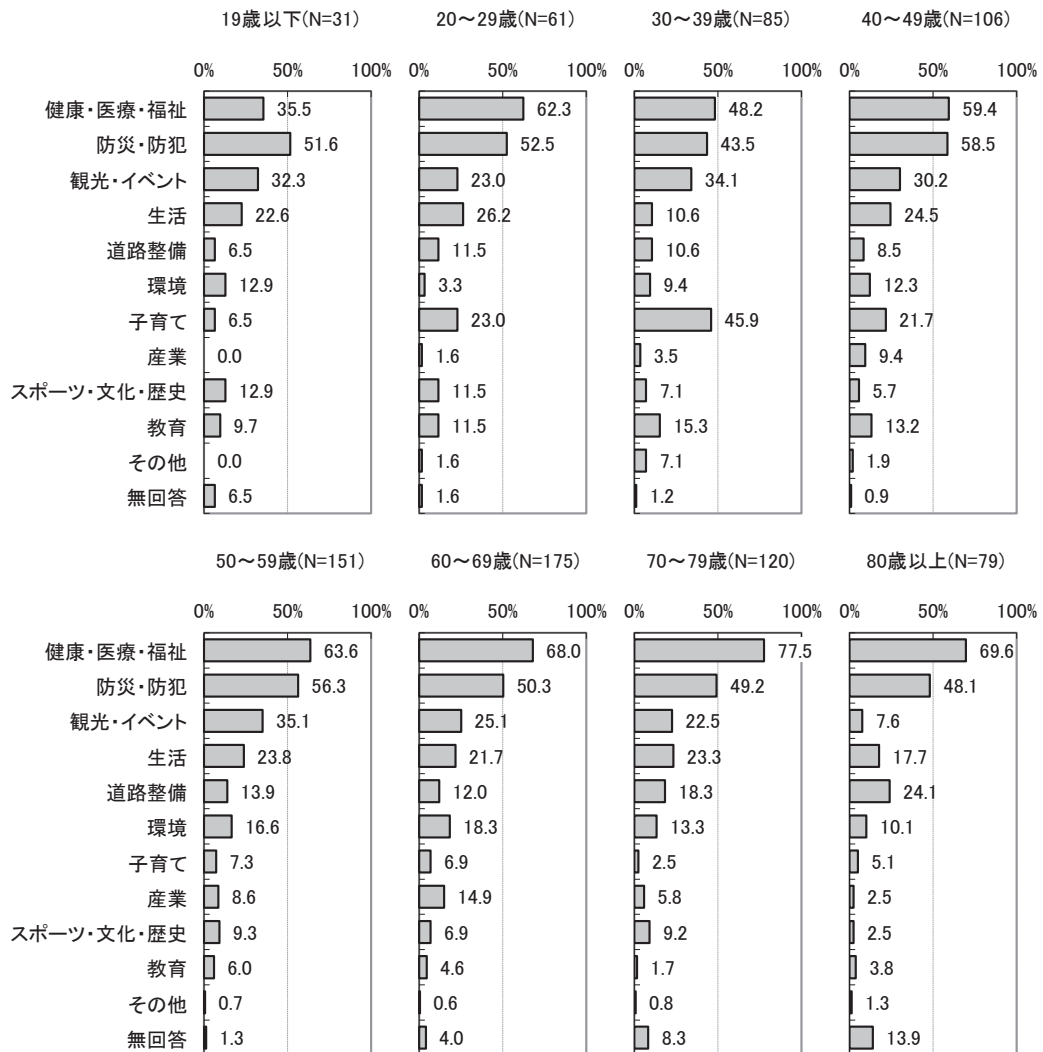
昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】

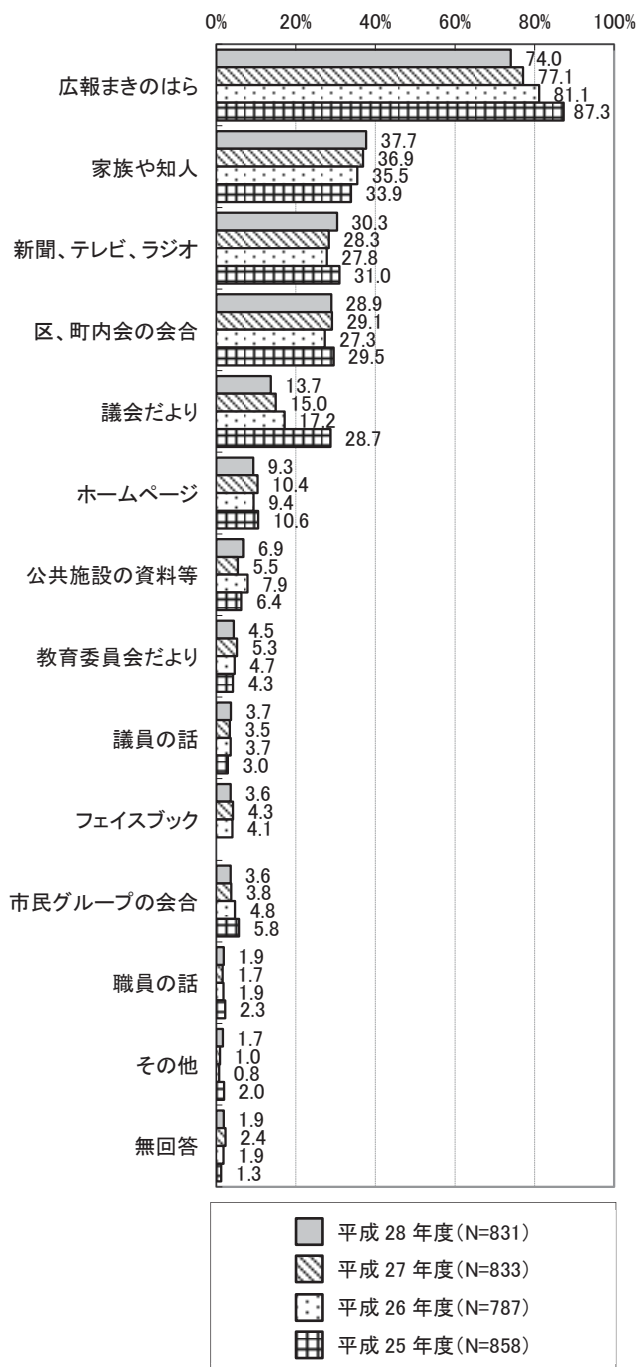
男性において「道路整備」、「環境」、「産業」が女性より多く、女性において「健康・医療・福祉」、「子育て」が男性より多くなっている。



【年齢別】

29歳以下において「スポーツ・文化・歴史」が1割を超えて多く、19歳以下・30～39歳において「健康・医療・福祉」が半数を下回って少なくなっている。また、20～29歳において「環境」が1割を下回って少なく、20～49歳において「教育」が1割を超えて多くなっている。30～39歳においては「子育て」が45.9%と多く、30～39歳・70歳以上においては「防災・防犯」が半数を下回って少なくなっている。30～39歳・80歳以上においては「生活」が2割を下回って少なく、60～69歳においては「産業」が14.9%と多くなっている。80歳以上においては「観光・イベント」が7.6%と少なく、「道路整備」が24.1%と多くなっている。

問 20 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？
 あてはまるものを全てに○印をつけてください。

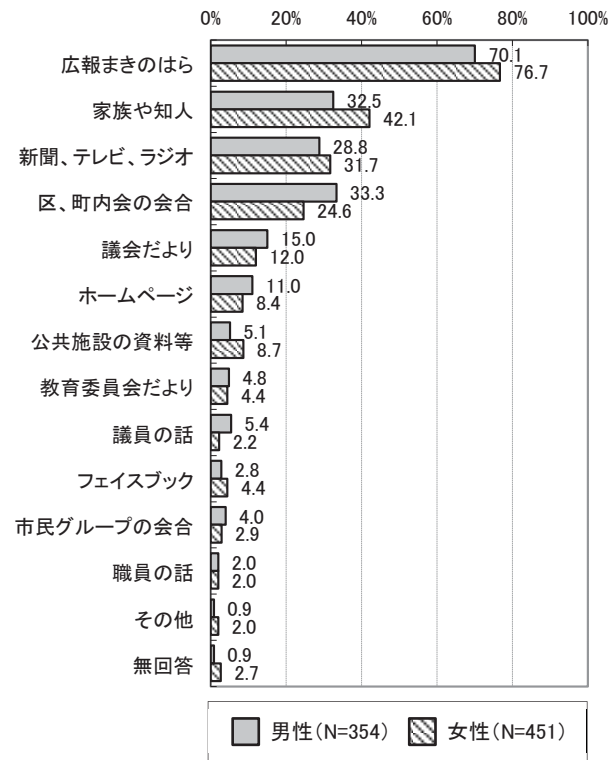


※「フェイスブック」は、平成 26 年度より追加された項目

市からの情報の入手方法については、「広報まきのほら」が 74.0%と最も多く、次いで「家族や知人」が 37.7%、「新聞、テレビ、ラジオ」が 30.3%などとなっている。

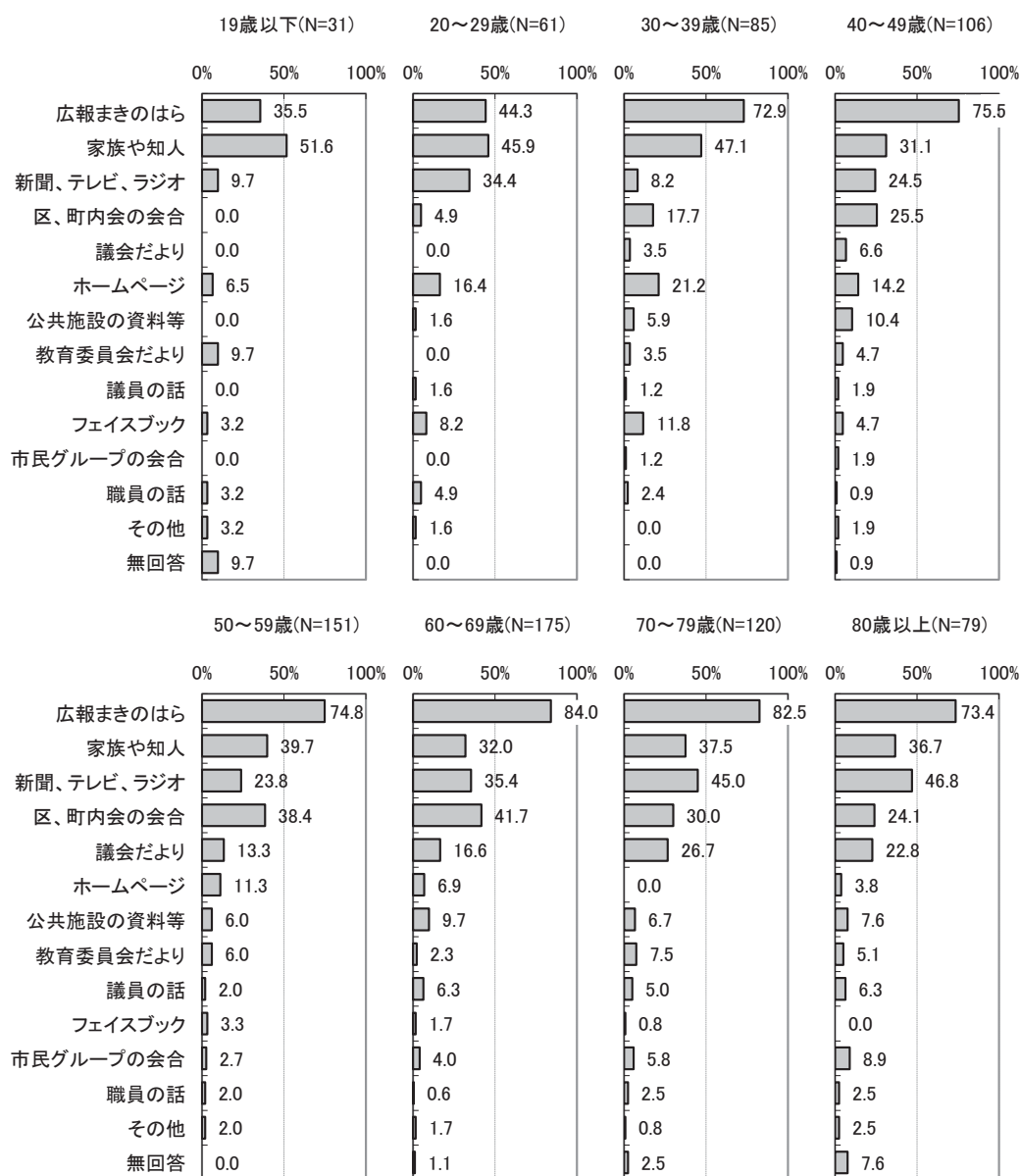
昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】

男性において「区、町内会の会合」が33.3%と女性を8.7ポイント上回り、女性において「広報まきのはら」、「家族や知人」が男性より多くなっている。

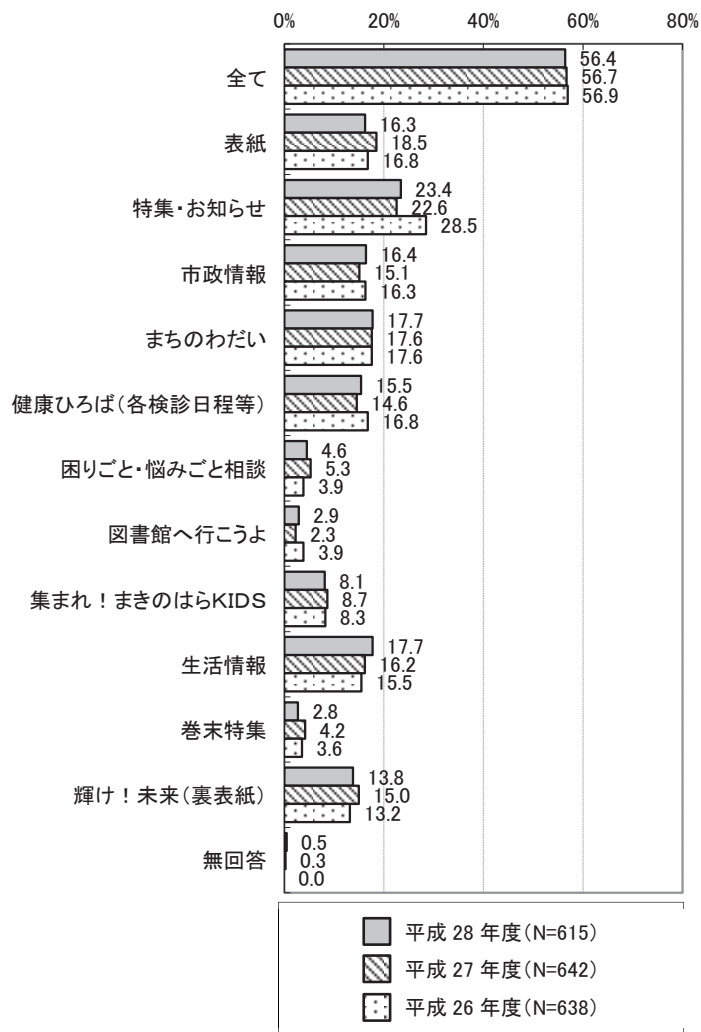


【年齢別】

79歳までは年齢が高くなるほど、「議会だより」が多くなる傾向がみられる。また、19歳以下において「家族や知人」が51.6%と多く、29歳以下において「広報まきのほら」、「区、町内会の会合」が少なくなっている。19歳以下・30~39歳においては「新聞、テレビ、ラジオ」が1割を下回って少なく、30~39歳においては「ホームページ」、「フェイスブック」が多くなっている。40~49歳においては「公共施設の資料等」が10.4%と多くなっている。

(問 20 で「1. 広報まきのはら」と答えた方にお聞きします。)

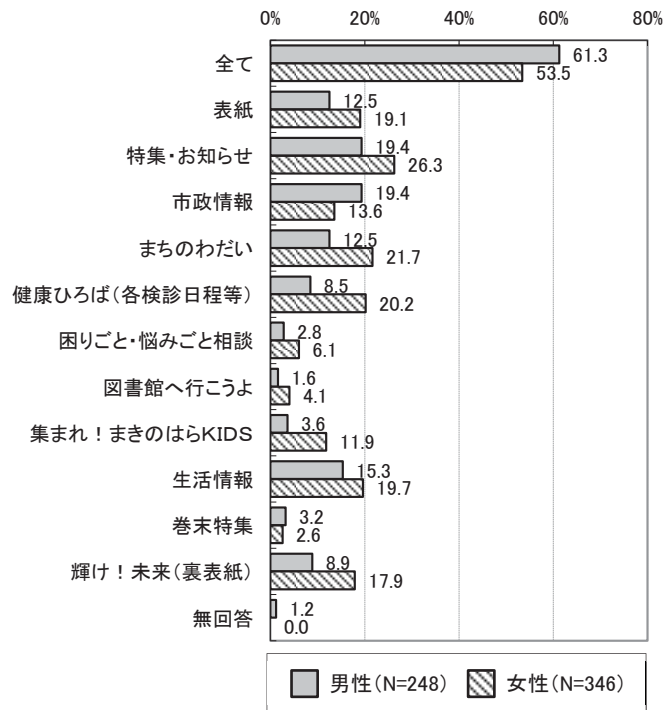
問 21 広報まきのはらのどこを読みますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



問 20 で「広報まきのはら」と回答した 615 人に、読んでいる広報まきのはらの内容についてうかがったところ、「全て」が 56.4%と最も多く、次いで「特集・お知らせ」が 23.4%、「まちのわだい」、「生活情報」がそれぞれ 17.7%、「市政情報」が 16.4%、「表紙」が 16.3%、「健康ひろば(各検診日程等)」が 15.5%、「輝け！未来(裏表紙)」が 13.8%などとなっている。

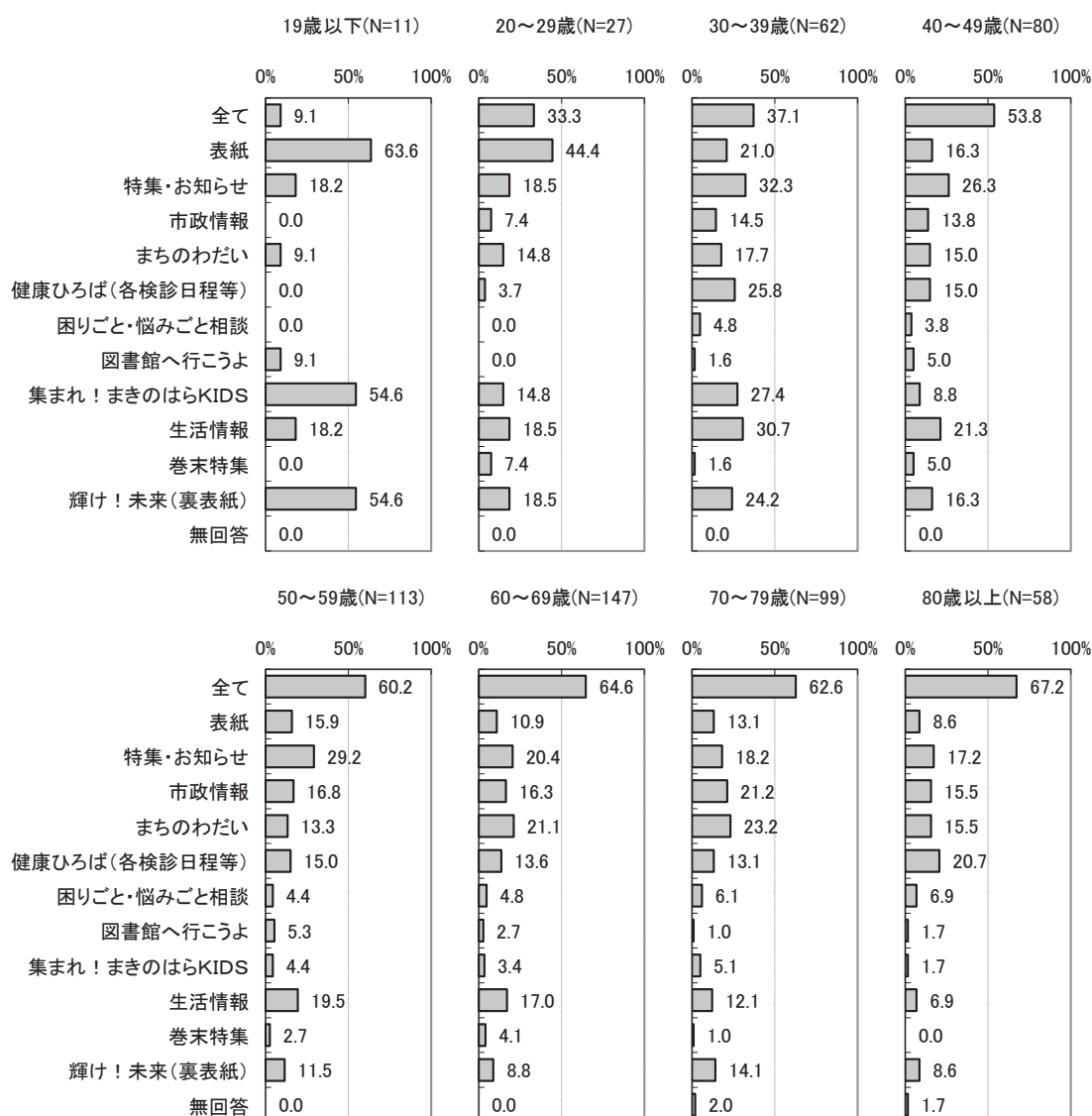
昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



【性別】

男性において「全て」、「市政情報」が女性より多く、女性において「表紙」、「特集・お知らせ」、「まちのわだい」、「健康ひろば(各検診日程等)」、「集まれ!まきのはらKIDS」、「輝け!未来(裏表紙)」が男性より多くなっている。

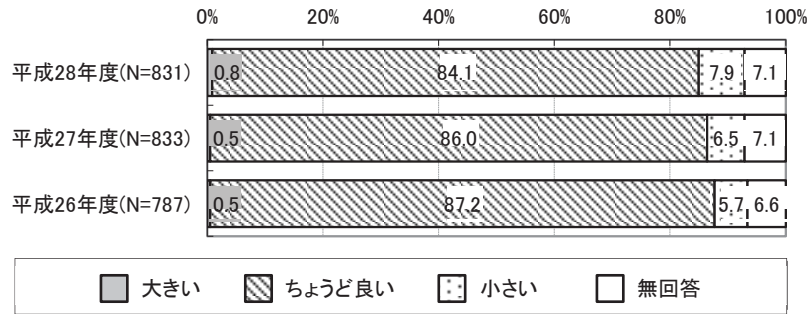


【年齢別】

年齢が高くなるほど、「全て」が多くなる傾向、「表紙」が少なくなる傾向がみられる。また、30歳以上は年齢が高くなるほど、「生活情報」が少なくなる傾向がみられる。20~29歳においては「健康ひろば(各検診日程等)」が3.7%と少なく、30~39歳においては「特集・お知らせ」、「集まれ!まきのはらKIDS」、「生活情報」、「輝け!未来(裏表紙)」が多くなっている。60~79歳においては「まちのわだい」が2割を超えて多く、70~79歳においては「市政情報」が21.2%と多くなっている。

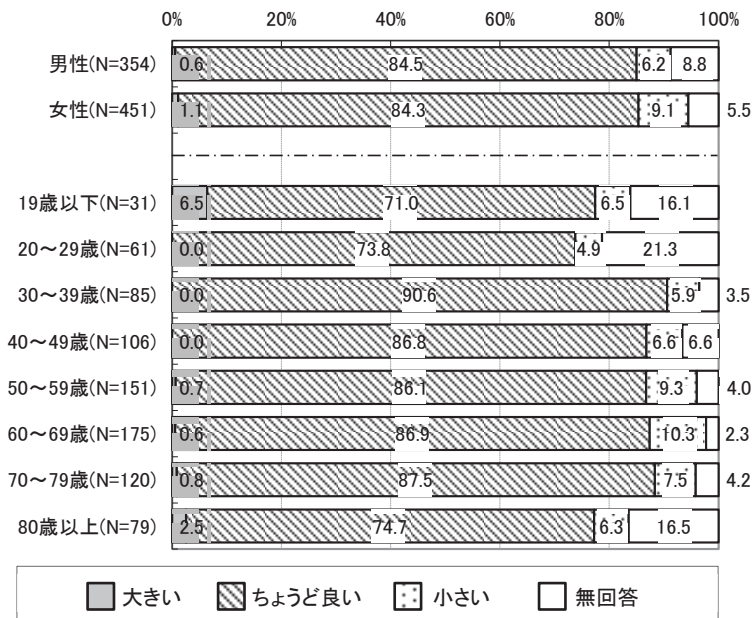
問 22 あなたは、広報まきのはらの構成や内容などについてどう思いますか？
それぞれの項目ごとにあてはまるものに1つ○印をつけてください。

《① 文字の大きさ》



広報まきのはらの文字の大きさについては、「ちょうど良い」が84.1%と突出して最も多くなっている。昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



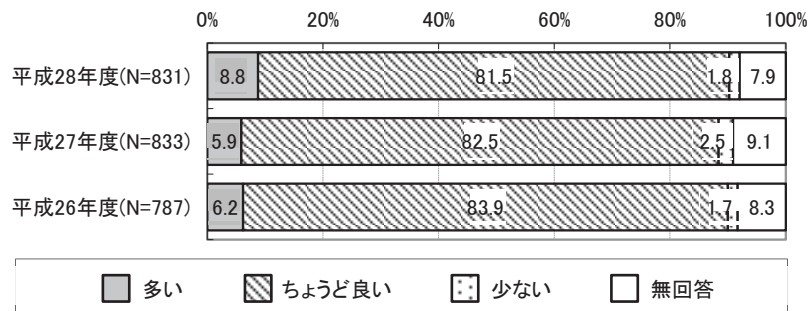
【性別】

性別では、大きな差異はみられない。

【年齢別】

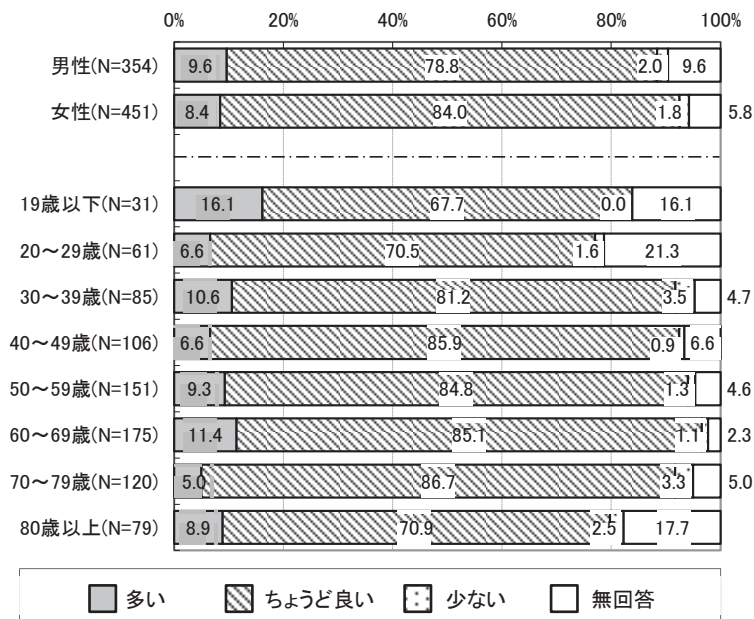
29歳以下・80歳以上において「ちょうど良い」が8割を下回って少なく、60～69歳において「小さい」が10.3%と多くなっている。

《② 文字の量》



広報まきのはらの文字の量については、「ちょうど良い」が81.5%と突出して最も多くなっている。昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



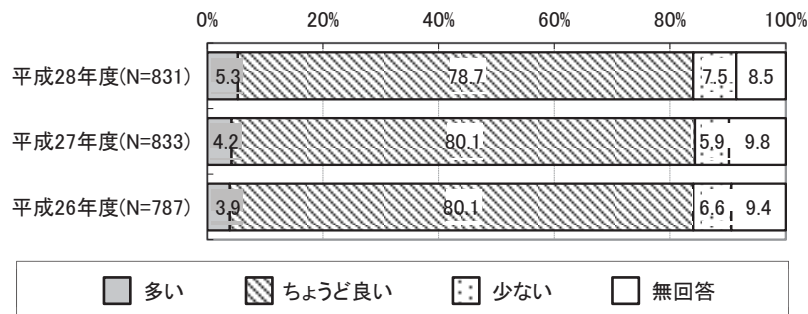
【性別】

女性において「ちょうど良い」が84.0%と男性を5.2ポイント上回っている。

【年齢別】

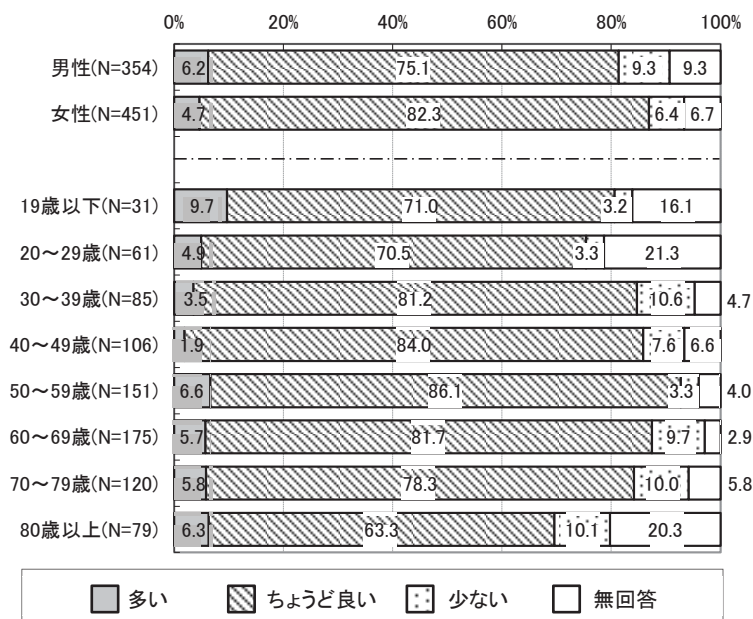
19歳以下において「ちょうど良い」が67.7%と少なく、19歳以下・30～39歳・60～69歳において「多い」が1割を超えて多くなっている。

③ ページ数



広報まきのはらのページ数については、「ちょうど良い」が78.7%と突出して最も多くなっている。昨年度とは、大きな差異はみられない。

クロス集計



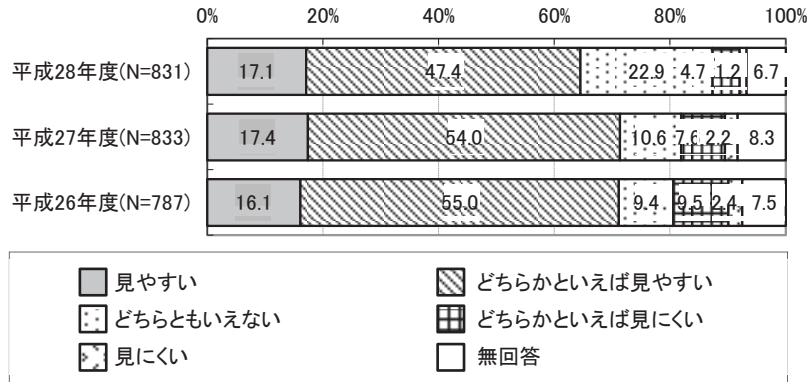
【性別】

女性において「ちょうど良い」が82.3%と男性を7.2ポイント上回っている。

【年齢別】

30～39歳・70歳以上において「少ない」が1割を超えて多く、80歳以上において「ちょうど良い」が63.3%と少なくなっている。

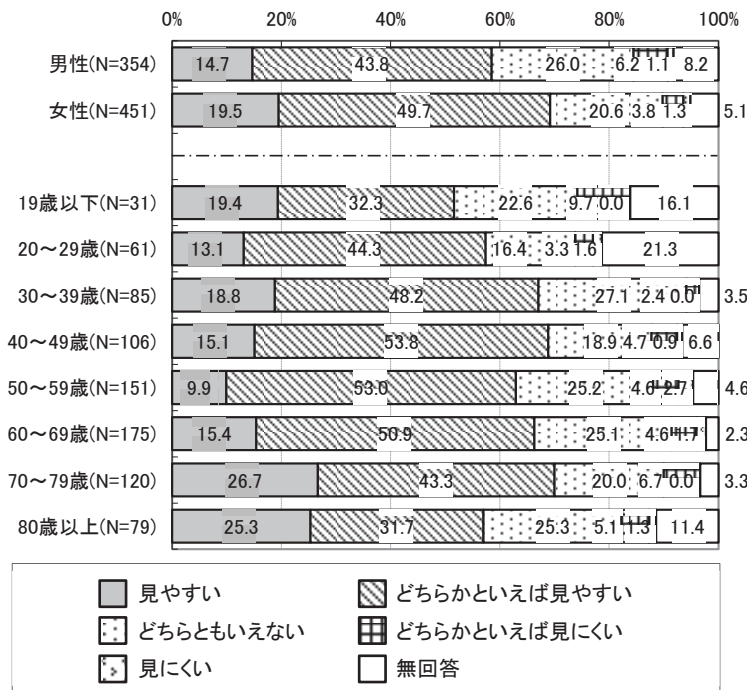
《④ 見やすさ》



広報まきのはらの見やすさについては、「どちらかといえば見やすい」が47.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が22.9%、「見やすい」が17.1%などとなっている。また、「見やすい」と「どちらかといえば見やすい」を合わせた“見やすい”は64.5%、「見にくい」と「どちらかといえば見にくい」を合わせた“見にくい”は5.9%となっている。

昨年度と比較すると、「どちらかといえば見やすい」が6.6ポイント低く、「どちらともいえない」が12.3ポイント高くなっている。また、“見やすい”が6.9ポイント低くなっている。

クロス集計



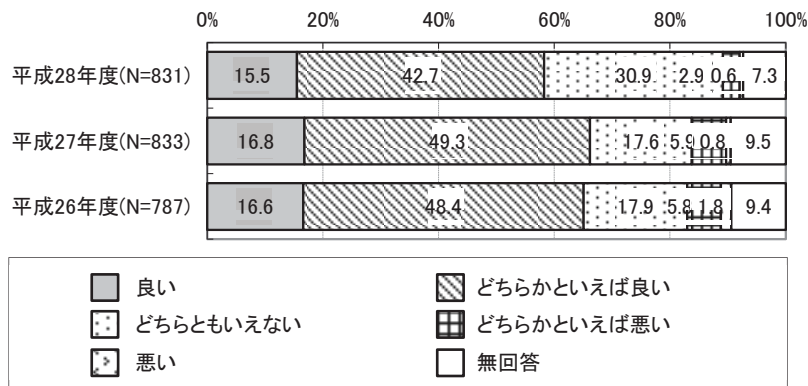
【性別】

男性において「どちらともいえない」が26.0%と女性を5.4ポイント上回っている。また、“見やすい”は男性において58.5%、女性において69.2%と、女性の方が多くなっている。

【年齢別】

20～29歳・40～49歳において「どちらともいえない」が2割を下回って少なく、50～59歳において「見やすい」が9.9%と少なくなっている。また、“見やすい”は、70～79歳において70.0%と7割で多くなっている。

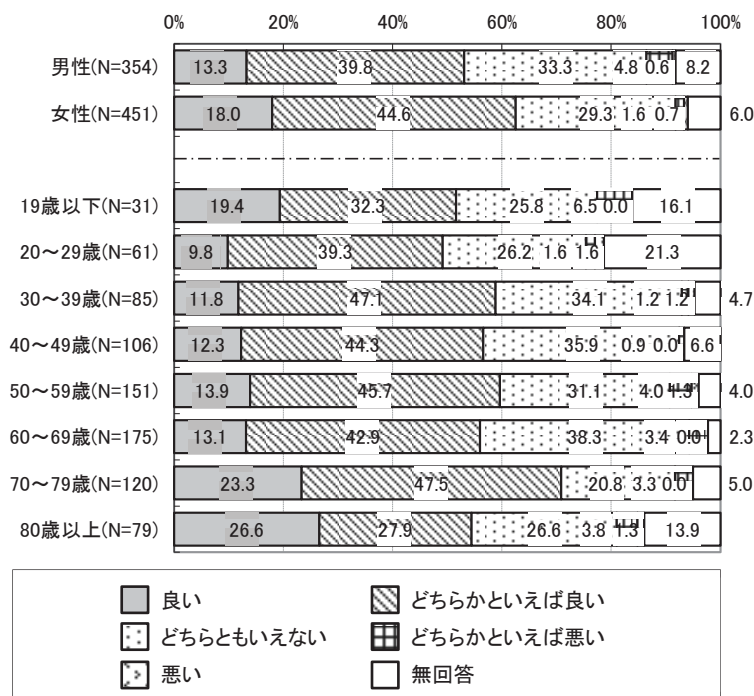
《⑤ 内容》



広報まきのはらの内容については、「どちらかといえば良い」が42.7%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が30.9%、「良い」が15.5%などとなっている。また、「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた“良い”は58.2%、「悪い」と「どちらかといえば悪い」を合わせた“悪い”は3.5%となっている。

昨年度と比較すると、「どちらかといえば良い」が6.6ポイント低く、「どちらともいえない」が13.3ポイント高くなっている。また、“良い”が7.9ポイント低くなっている。

クロス集計



【性別】

“良い”は男性において53.1%、女性において62.6%と、女性の方が多くなっている。

【年齢別】

20～29歳において「良い」が9.8%と少なく、30～69歳において「どちらともいえない」が3割を超えて多くなっている。また、“良い”は、70～79歳において70.8%と約7割で多くなっている。

<牧之原市の行政サービスについて>

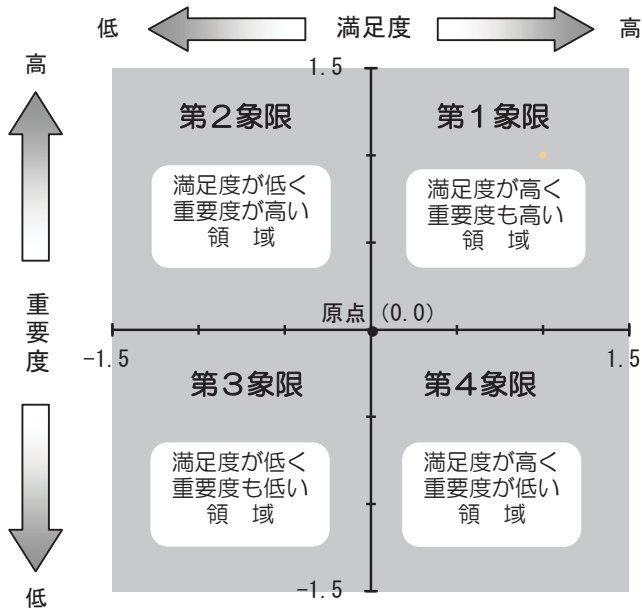
問 23 あなたは、市の取り組みについて満足していますか？

また、その取り組みが重要であると考えますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに○印をつけてください。

※取り組みによっては、あなたに直接関係のない取り組みも含まれるかもしれませんが、ご家族や知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○印をつけてください。

評価点の算出方法

「満足」「重要度高い」と回答した人を+2点、「やや満足」「重要度やや高い」は+1点、「やや不満」「重要度やや低い」は-1点、「不満」「重要度低い」を-2点とし、それぞれの点数にそれぞれの回答者数を掛け、それらを合計した数字を回答者数（「無回答」は回答者数に含めない）で割り、算出している。評価点は、プラスの大きいものは評価が高く、マイナスは評価が低いことを表している。



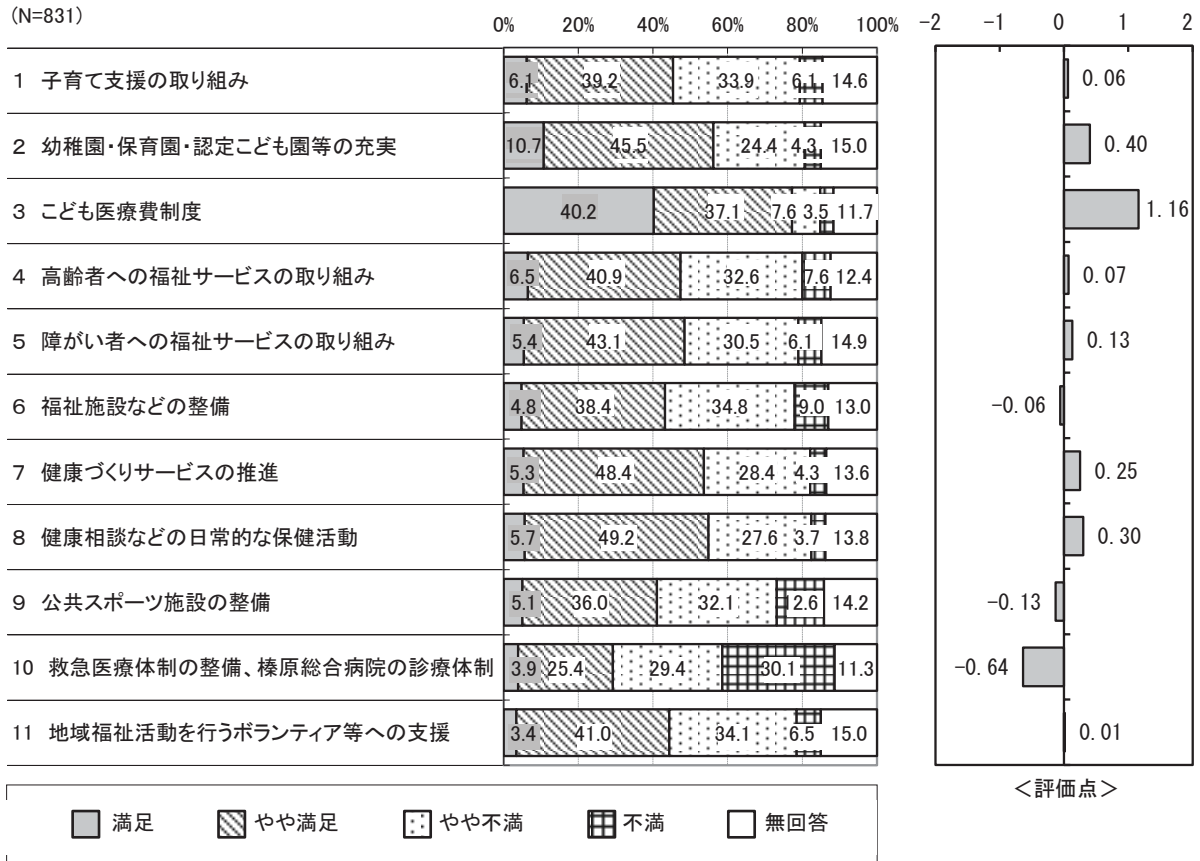
参考

各取り組みについて満足度、重要度の評価点を散布図にした場合、左のグラフのように、4つの象限に評価をみることができる

* 散布図中の番号は、各取り組みの通し番号であるため、各散布図上記表を参照

《 【健康福祉】 支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり 》

満足度



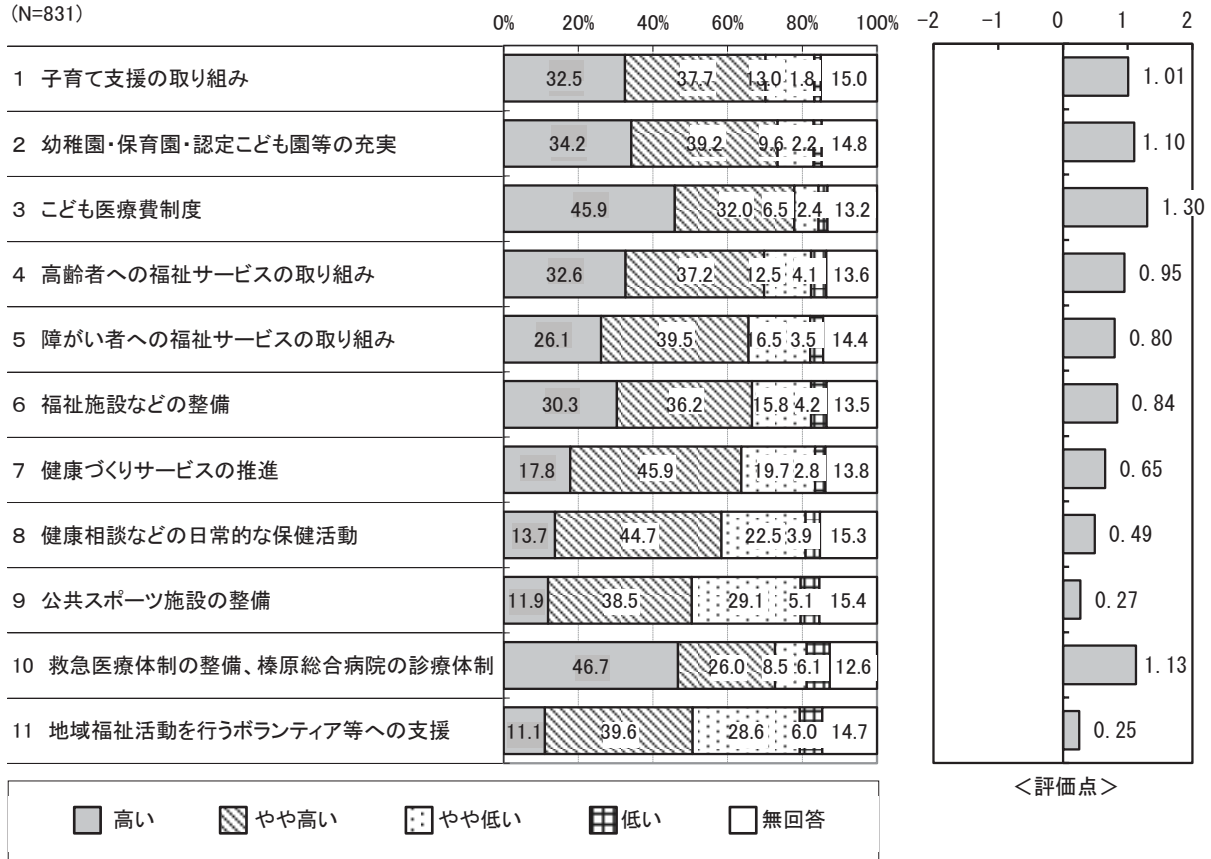
《 【健康福祉】 支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり 》で満足度が高いのは、『3 こども医療費制度』で、「満足」が40.2%と唯一4割を超えている。また、評価点は1.16点となっており、唯一1.00点を超えている。次いで満足度が高いのは、『2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実』(0.40点)、『8 健康相談などの日常的な保健活動』(0.30点)などとなっている。

一方、満足度が低いのは、『10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』で、「不満」が30.1%と唯一3割を超えている。また、評価点は-0.64点と、著しく低くなっている。次いで満足度が低いのは、『9 公共スポーツ施設の整備』(-0.13点)、『6 福祉施設などの整備』(-0.06点)などとなっている。

《 【健康福祉】 支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり 》

重要度

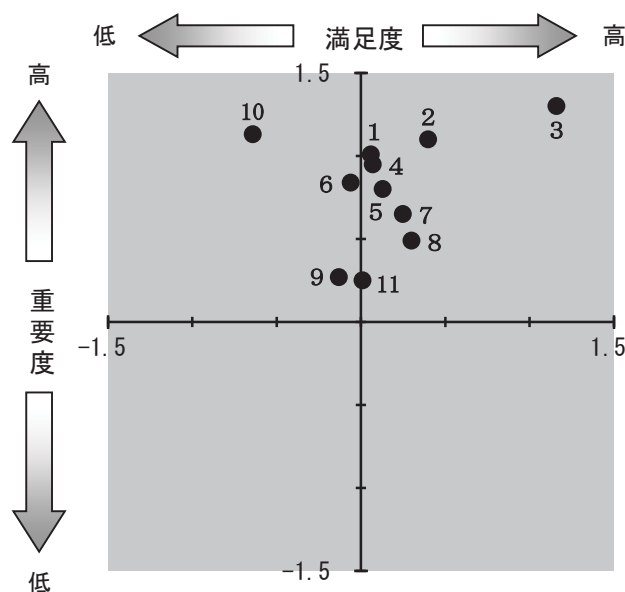
(N=831)



《 【健康福祉】 支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり 》で重要度が高いのは、『3 こども医療費制度』で、評価点が1.30点となっている。次いで重要度が高いのは、『10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』(1.13点)、『2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実』(1.10点)などとなっている。

一方、重要度が低いのは、『11 地域福祉活動を行うボランティア等への支援』で、評価点が0.25点となっており、全ての項目においてプラスの評価点となっている。次いで重要度が低いのは、『9 公共スポーツ施設の整備』(0.27点)、『8 健康相談などの日常的な保健活動』(0.49点)などとなっている。

【健康福祉】 支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり	満足度	重要度
1 子育て支援の取り組み	0.06	1.01
2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	0.40	1.10
3 こども医療費制度	1.16	1.30
4 高齢者への福祉サービスの取り組み	0.07	0.95
5 障がい者への福祉サービスの取り組み	0.13	0.80
6 福祉施設などの整備	-0.06	0.84
7 健康づくりサービスの推進	0.25	0.65
8 健康相談などの日常的な保健活動	0.30	0.49
9 公共スポーツ施設の整備	-0.13	0.27
10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	-0.64	1.13
11 地域福祉活動を行うボランティア等への支援	0.01	0.25
平均	0.14	0.80

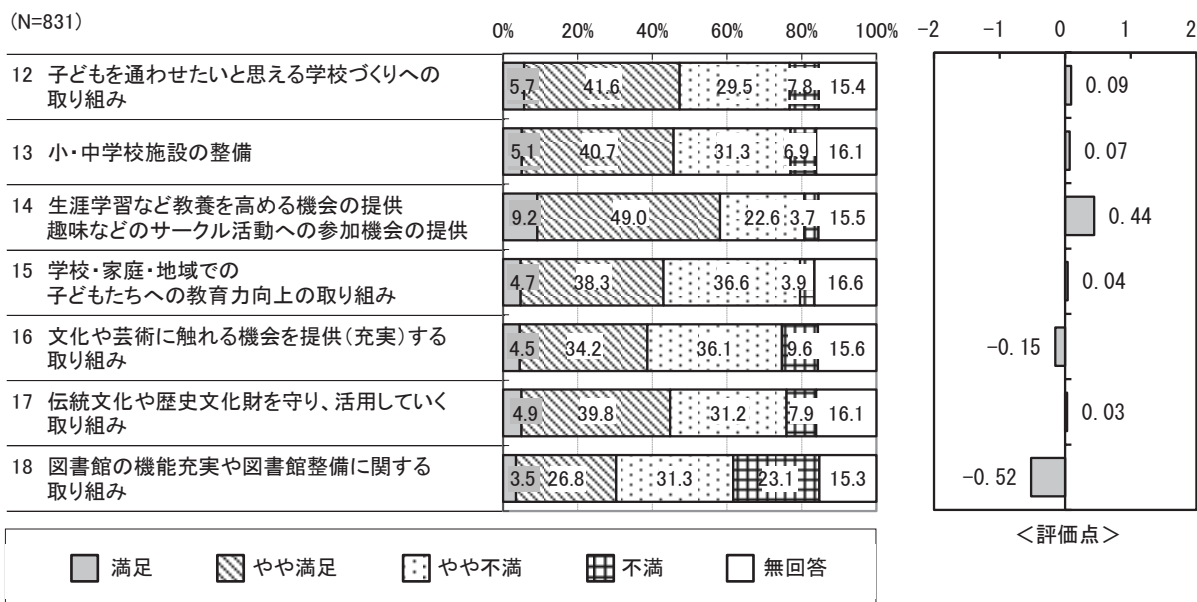


散布図でみると、『1 子育て支援の取り組み』、『2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実』、『3 こども医療費制度』、『4 高齢者への福祉サービスの取り組み』、『5 障がい者への福祉サービスの取り組み』、『7 健康づくりサービスの推進』、『8 健康相談などの日常的な保健活動』、『11 地域福祉活動を行うボランティア等への支援』が、満足度も重要度も高い第1象限に位置している。

一方、『6 福祉施設などの整備』、『9 公共スポーツ施設の整備』、『10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』は第3象限に位置しており、満足度は低いものの、重要度は高くなっている。

《 【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり 》

満足度

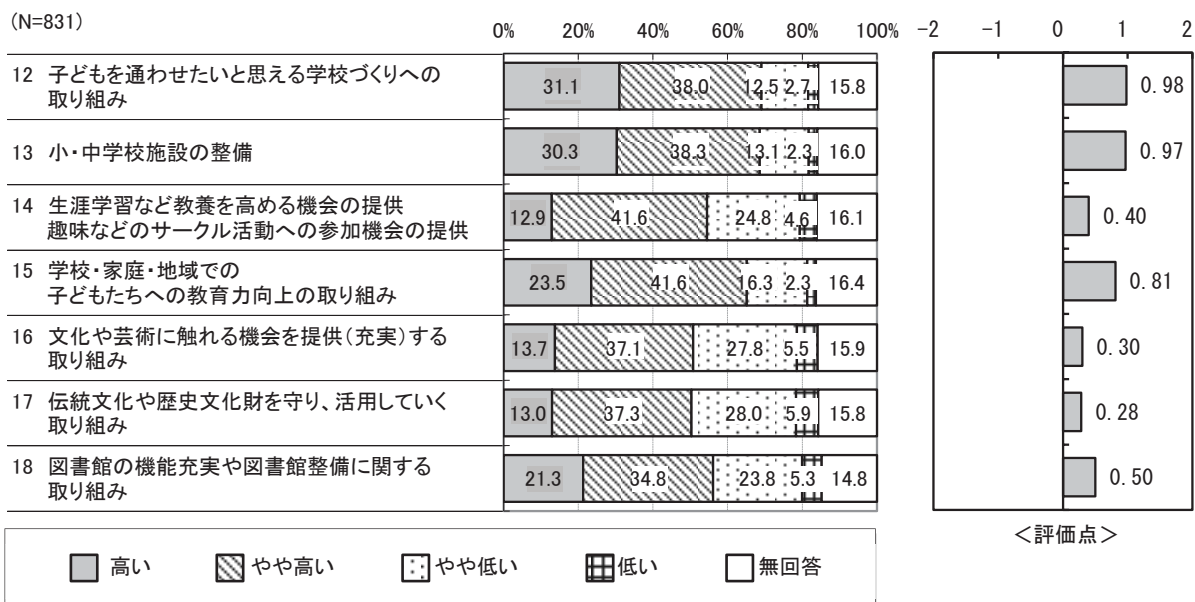


《 【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり 》で満足度が高いのは、『14 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供』で、評価点が 0.44 点となっている。次いで満足度が高いのは、『12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み』(0.09 点)、『13 小・中学校施設の整備』(0.07 点) などとなっている。

一方、満足度が低いのは、『18 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み』で、「不満」が 23.1%と唯一 2 割を超えている。また、評価点は-0.52 点と、著しく低くなっている。次いで満足度が低いのは、『16 文化や芸術に触れる機会を提供(充実)する取り組み』(-0.15 点)、『17 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み』(0.03 点) などとなっている。

《 【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり 》

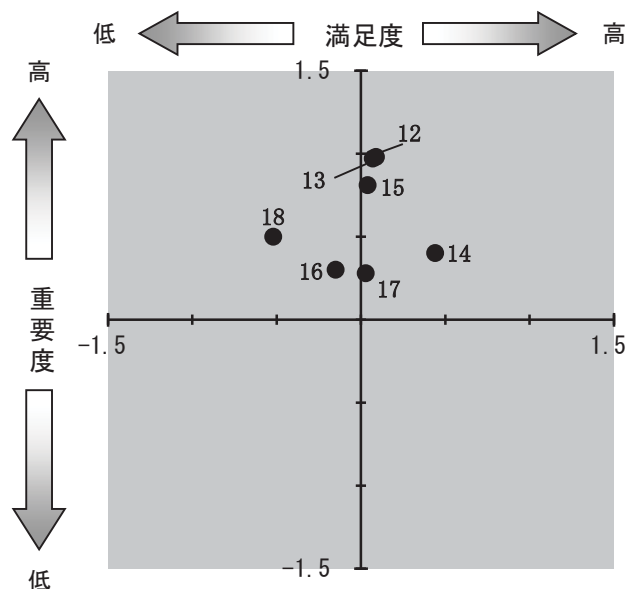
重要度



《 【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり 》で重要度が高いのは、『12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み』で、評価点が0.98点となっている。次いで重要度が高いのは、『13 小・中学校施設の整備』(0.97点)、『15 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取り組み』(0.81点)などとなっている。

一方、重要度が低いのは、『17 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み』で、評価点が0.28点となっており、全ての項目においてプラスの評価点となっている。次いで重要度が低いのは、『16 文化や芸術に触れる機会を提供(充実)する取り組み』(0.30点)、『14 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供』(0.40点)などとなっている。

【教育文化】 地域全体で学び、育てる教育の場づくり	満足度	重要度
12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み	0.09	0.98
13 小・中学校施設の整備	0.07	0.97
14 生涯学習など教養を高める機会の提供 趣味などのサークル活動への参加機会の提供	0.44	0.40
15 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取り組み	0.04	0.81
16 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取り組み	-0.15	0.30
17 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み	0.03	0.28
18 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	-0.52	0.50
平均	0.00	0.61



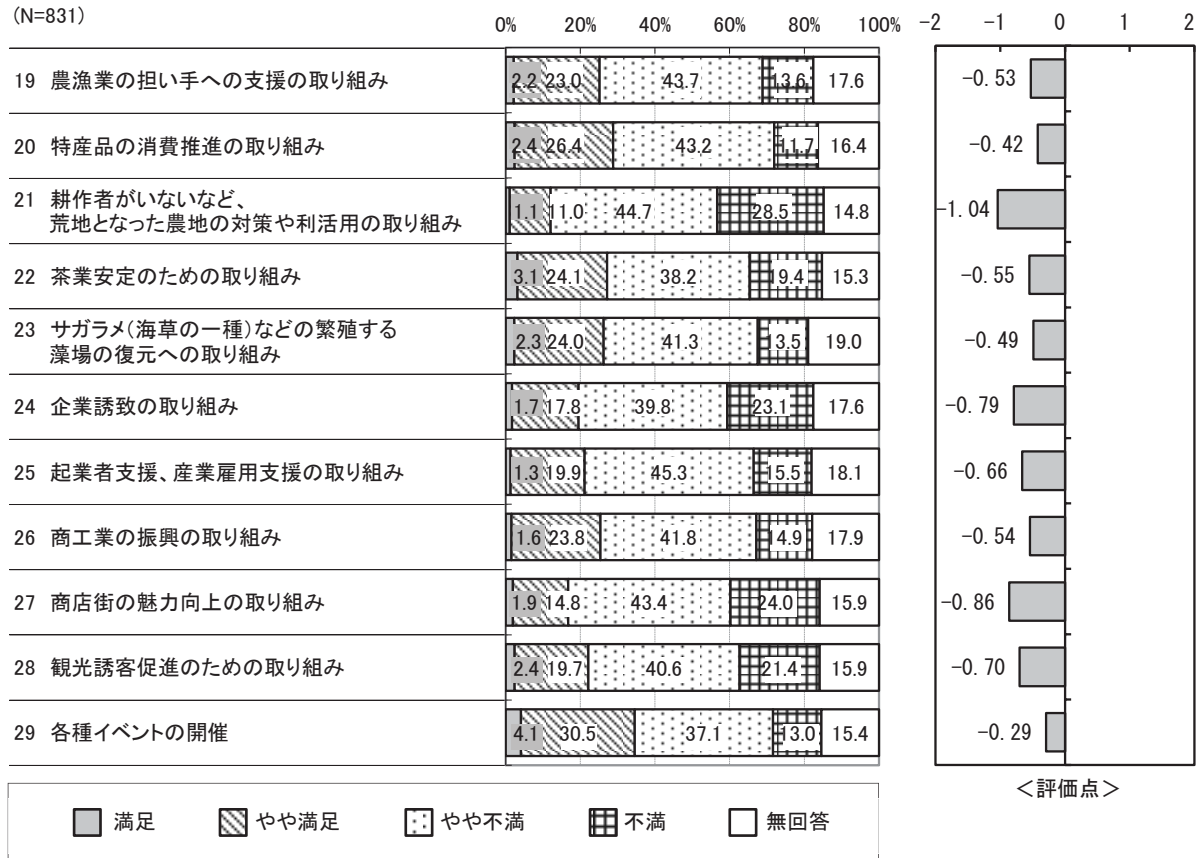
散布図でみると、『12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み』、『13 小・中学校施設の整備』、『14 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供』、『15 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取り組み』、『17 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み』が、満足度も重要度も高い第1象限に位置している。

一方、『16 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取り組み』、『18 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み』は第3象限に位置しており、満足度は低いものの、重要度は高くなっている。

《 【産業経済】 活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり 》

満足度

(N=831)



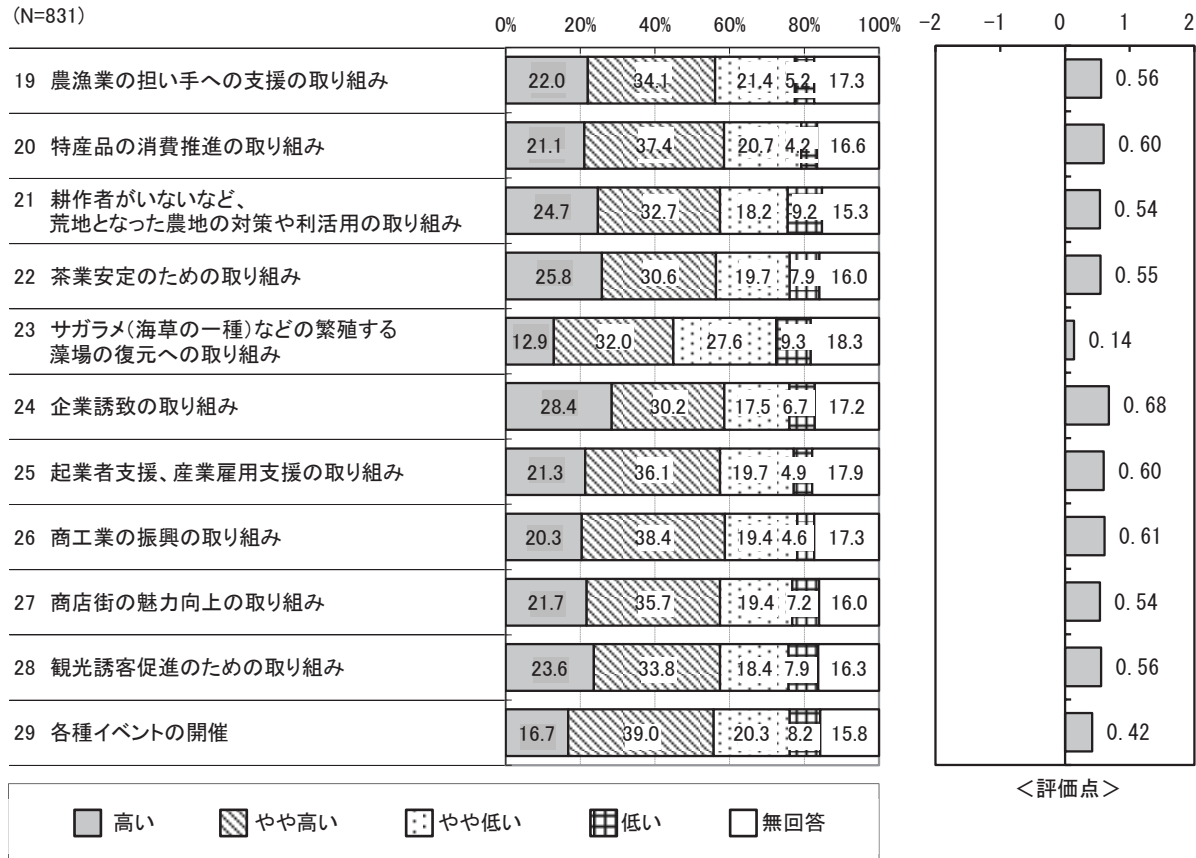
《 【産業経済】 活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり 》で満足度が高いのは、『29 各種イベントの開催』で、評価点が-0.29点となっており、全ての項目においてマイナスの評価点となっている。次いで満足度が高いのは、『20 特産品の消費推進の取り組み』(-0.42点)、『23 サガラメ(海草の一種)などの繁殖する藻場の復元への取り組み』(-0.49点)などとなっている。

一方、満足度が低いのは、『21 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み』で、評価点が-1.04点となっており、唯一-1.00点を下回っている。次いで満足度が低いのは、『27 商店街の魅力向上の取り組み』(-0.86点)、『24 企業誘致の取り組み』(-0.79点)などとなっている。

《 【産業経済】 活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり 》

重要度

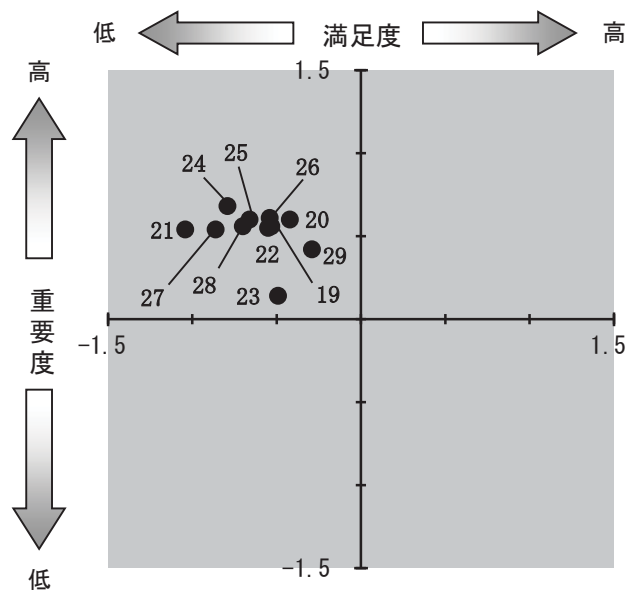
(N=831)



《 【産業経済】 活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり 》で重要度が高いのは、『24 企業誘致の取り組み』で、評価点が0.68点となっている。次いで重要度が高いのは、『26 商工業の振興の取り組み』(0.61点)、『20 特産品の消費推進の取り組み』、『25 起業者支援、産業雇用支援の取り組み』(それぞれ0.60点)などとなっている。

一方、重要度が低いのは、『23 サガラメ(海草の一種)などの繁殖する藻場の復元への取り組み』で、評価点が0.14点となっており、全ての項目においてプラスの評価点となっている。次いで重要度が低いのは、『29 各種イベントの開催』(0.42点)、『21 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み』、『27 商店街の魅力向上の取り組み』(それぞれ0.54点)などとなっている。

【産業経済】 活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり	満足度	重要度
19 農漁業の担い手への支援の取り組み	-0.53	0.56
20 特産品の消費推進の取り組み	-0.42	0.60
21 耕作者がいないなど、 荒地となった農地の対策や利活用の取り組み	-1.04	0.54
22 茶業安定のための取り組み	-0.55	0.55
23 サガラメ（海草の一種）などの繁殖する 藻場の復元への取り組み	-0.49	0.14
24 企業誘致の取り組み	-0.79	0.68
25 起業者支援、産業雇用支援の取り組み	-0.66	0.60
26 商工業の振興の取り組み	-0.54	0.61
27 商店街の魅力向上の取り組み	-0.86	0.54
28 観光誘客促進のための取り組み	-0.70	0.56
29 各種イベントの開催	-0.29	0.42
平均	-0.63	0.53

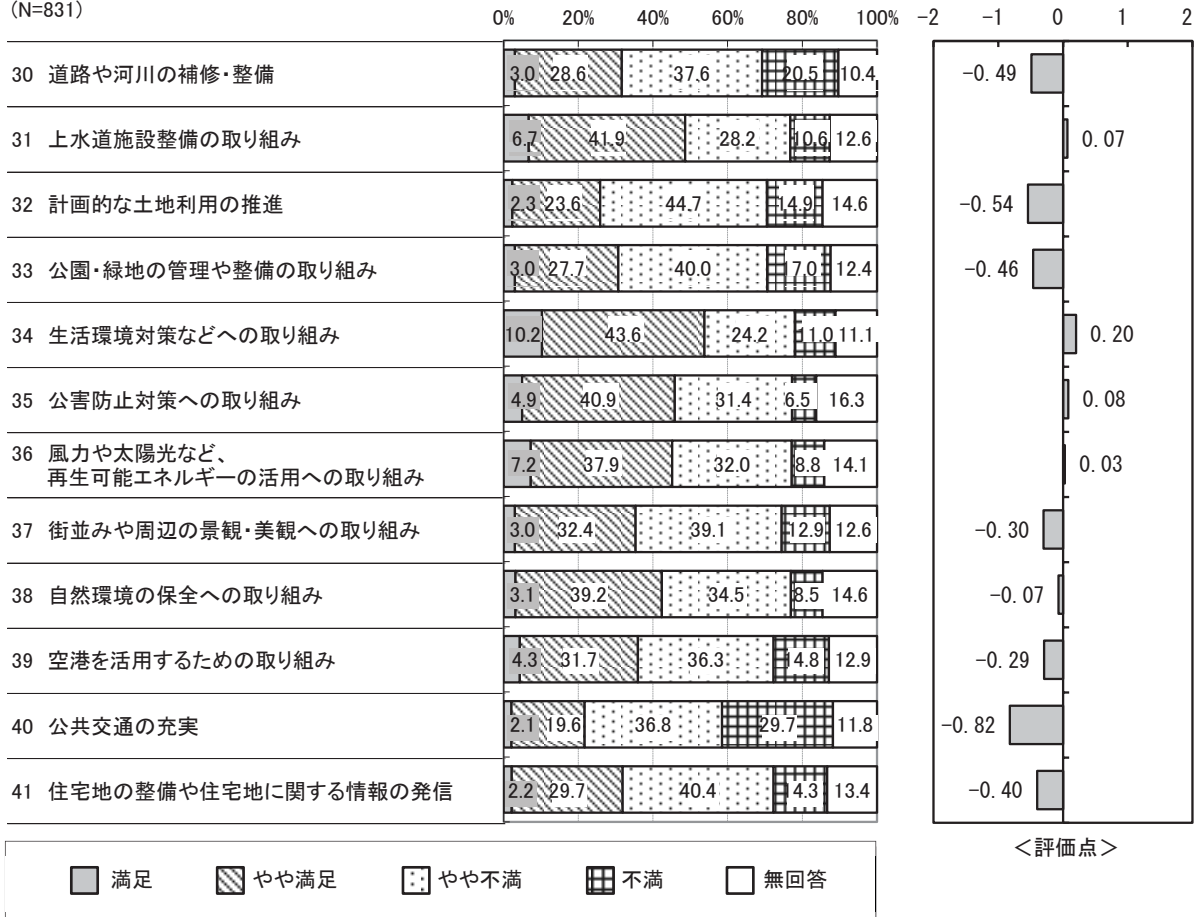


散布図でみると、すべての項目が第3象限に位置しており、満足度は低いものの、重要度は高くなっている。

《 【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり 》

満足度

(N=831)



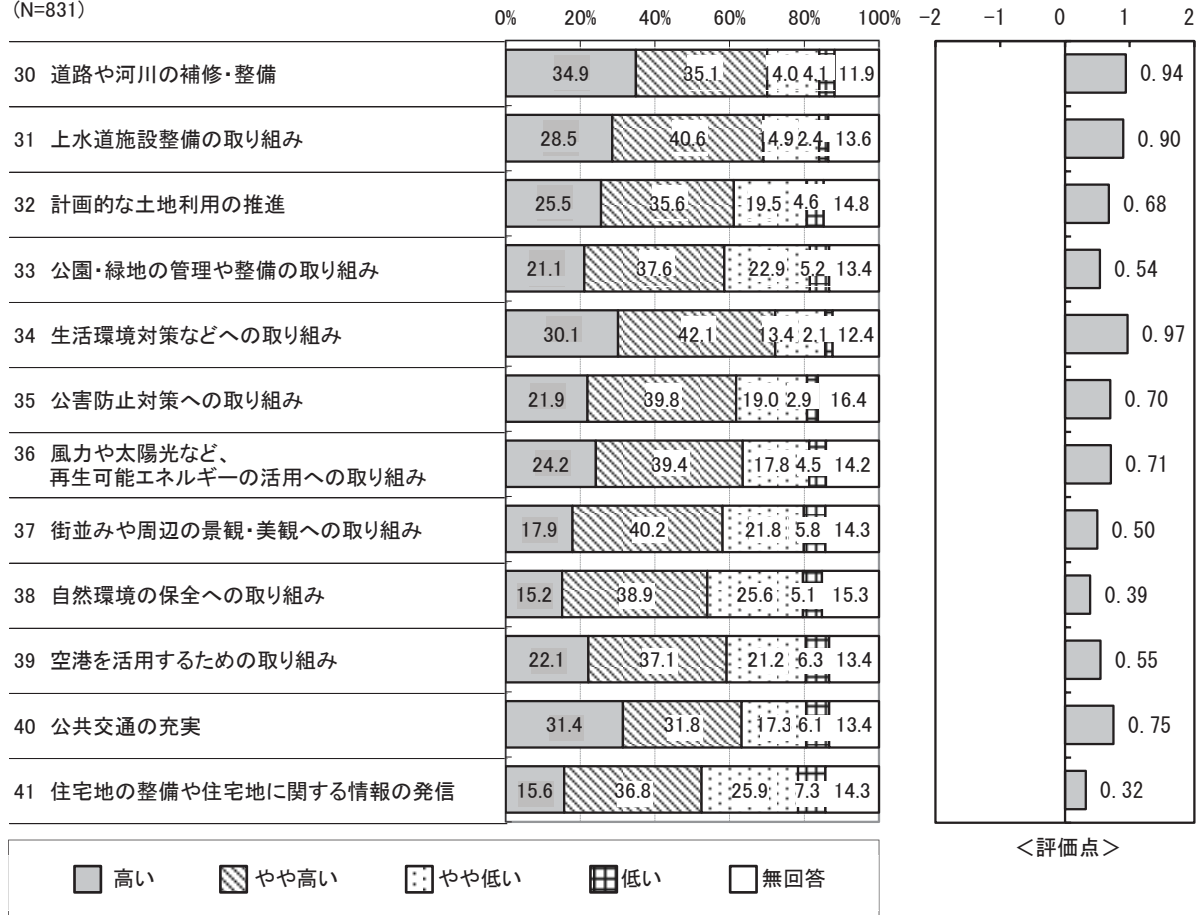
《 【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり 》で満足度が高いのは、『34 生活環境対策などへの取り組み』で、「満足」が10.2%と唯一1割を超えている。また、評価点は0.20点となっている。次いで満足度が高いのは、『35 公害防止対策への取り組み』(0.08点)、『31 上水道施設整備の取り組み』(0.07点)などとなっている。

一方、満足度が低いのは、『40 公共交通の充実』で、評価点が-0.82点となっている。次いで満足度が低いのは、『32 計画的な土地利用の推進』(-0.54点)、『30 道路や河川の補修・整備』(-0.49点)などとなっている。

《 【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり 》

重要度

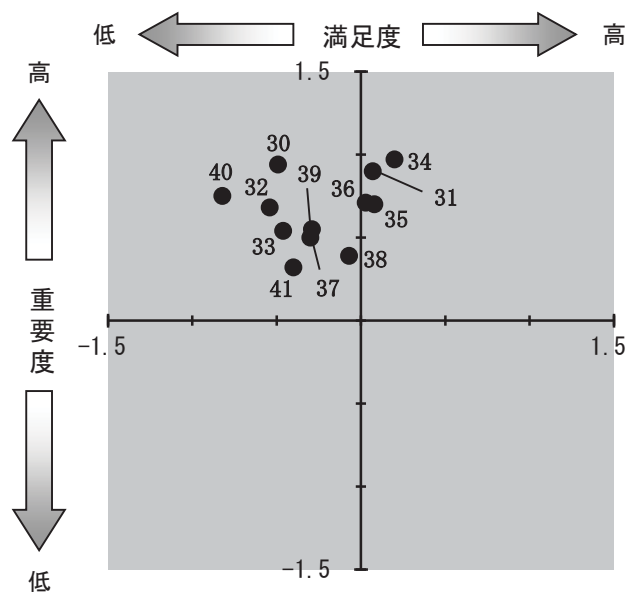
(N=831)



《 【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり 》で重要度が高いのは、『34 生活環境対策などへの取り組み』で、評価点が 0.97 点となっている。次いで重要度が高いのは、『30 道路や河川の補修・整備』(0.94 点)、『31 上水道施設整備の取り組み』(0.90 点) などとなっている。

一方、重要度が低いのは、『41 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信』で、評価点が 0.32 点となっており、全ての項目においてプラスの評価点となっている。次いで重要度が低いのは、『38 自然環境の保全への取り組み』(0.39 点)、『37 街並みや周辺の景観・美観への取り組み』(0.50 点) などとなっている。

【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり	満足度	重要度
30 道路や河川の補修・整備	-0.49	0.94
31 上水道施設整備の取り組み	0.07	0.90
32 計画的な土地利用の推進	-0.54	0.68
33 公園・緑地の管理や整備の取り組み	-0.46	0.54
34 生活環境対策などへの取り組み	0.20	0.97
35 公害防止対策への取り組み	0.08	0.70
36 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	0.03	0.71
37 街並みや周辺の景観・美観への取り組み	-0.30	0.50
38 自然環境の保全への取り組み	-0.07	0.39
39 空港を活用するための取り組み	-0.29	0.55
40 公共交通の充実	-0.82	0.75
41 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	-0.40	0.32
平均	-0.25	0.66



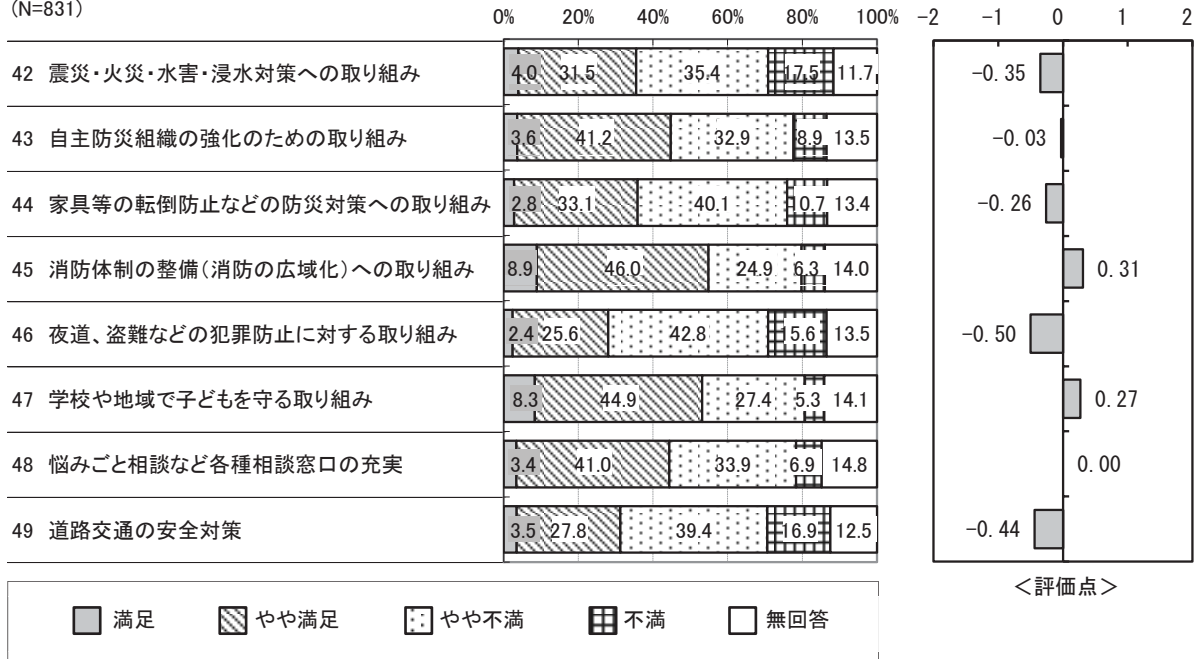
散布図でみると、『31 上水道施設整備の取り組み』、『34 生活環境対策などへの取り組み』、『35 公害防止対策への取り組み』、『36 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み』が、満足度も重要度も高い第1象限に位置している。

一方、『30 道路や河川の補修・整備』、『32 計画的な土地利用の推進』、『33 公園・緑地の管理や整備の取り組み』、『37 街並みや周辺の景観・美観への取り組み』、『38 自然環境の保全への取り組み』、『39 空港を活用するための取り組み』、『40 公共交通の充実』、『41 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信』は第3象限に位置しており、満足度は低いものの、重要度は高くなっている。

《 【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり 》

満足度

(N=831)



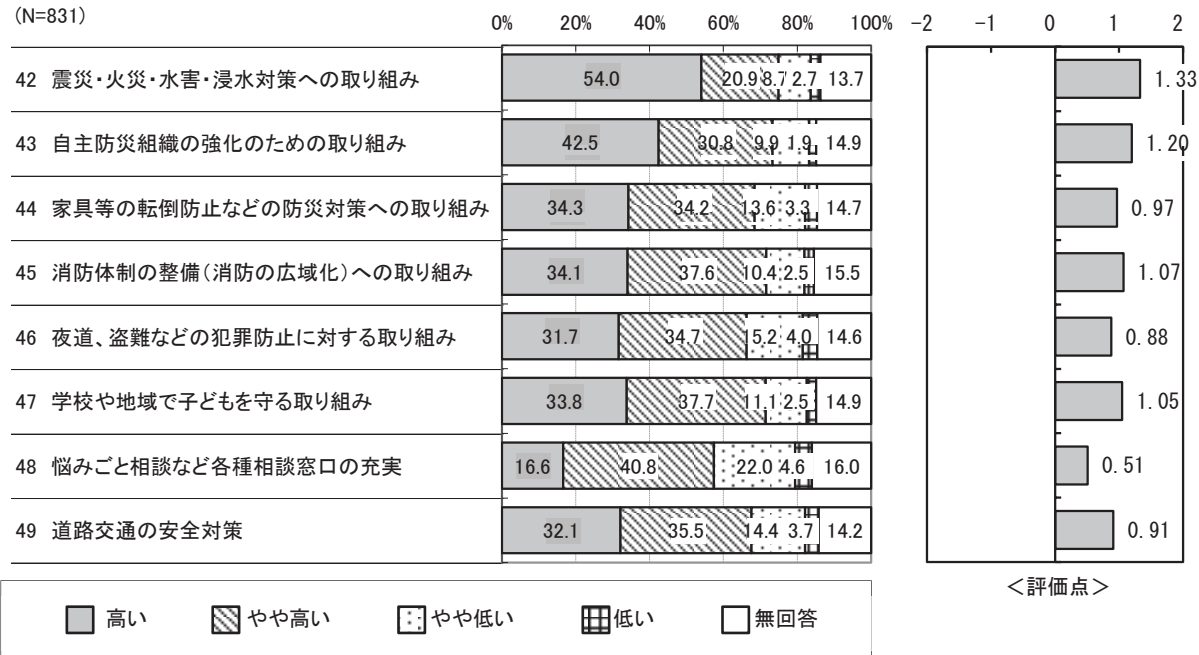
《 【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり 》で満足度が高いのは、『45 消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み』で、評価点が 0.31 点となっている。次いで満足度が高いのは、『47 学校や地域で子どもを守る取り組み』（0.27 点）、『48 悩みごと相談など各種相談窓口の充実』（0.00 点）などとなっている。

一方、満足度が低いのは、『46 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み』で、評価点が-0.50 点となっている。次いで満足度が低いのは、『49 道路交通の安全対策』（-0.44 点）、『42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』（-0.35 点）などとなっている。

《 【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり 》

重要度

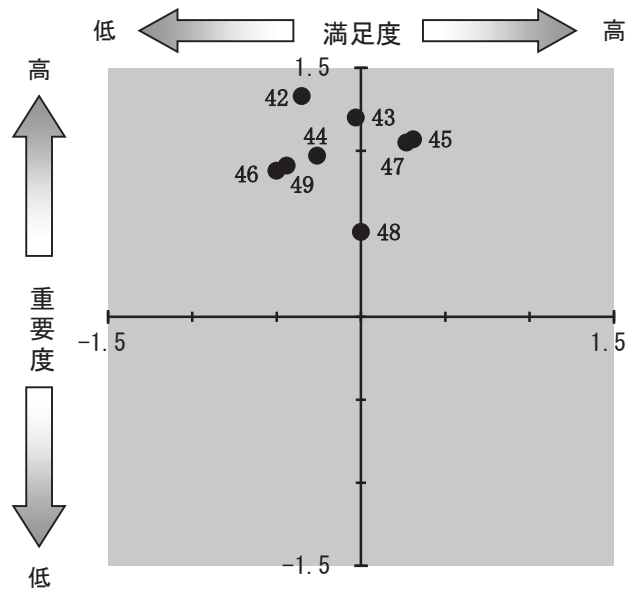
(N=831)



《 【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり 》で重要度が高いのは、『42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』で、「高い」が54.0%と唯一半数を超えている。また、評価点は1.33点となっている。次いで重要度が高いのは、『43 自主防災組織の強化のための取り組み』(1.20点)、『45 消防体制の整備(消防の広域化)への取り組み』(1.07点)などとなっている。

一方、重要度が低いのは、『48 悩みごと相談など各種相談窓口の充実』で、評価点が0.51点となっており、全ての項目においてプラスの評価点となっている。次いで重要度が低いのは、『46 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み』(0.88点)、『49 道路交通の安全対策』(0.91点)などとなっている。

【防災】 安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり	満足度	重要度
42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	-0.35	1.33
43 自主防災組織の強化のための取り組み	-0.03	1.20
44 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	-0.26	0.97
45 消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み	0.31	1.07
46 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	-0.50	0.88
47 学校や地域で子どもを守る取り組み	0.27	1.05
48 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	0.00	0.51
49 道路交通の安全対策	-0.44	0.91
平均	-0.13	0.99



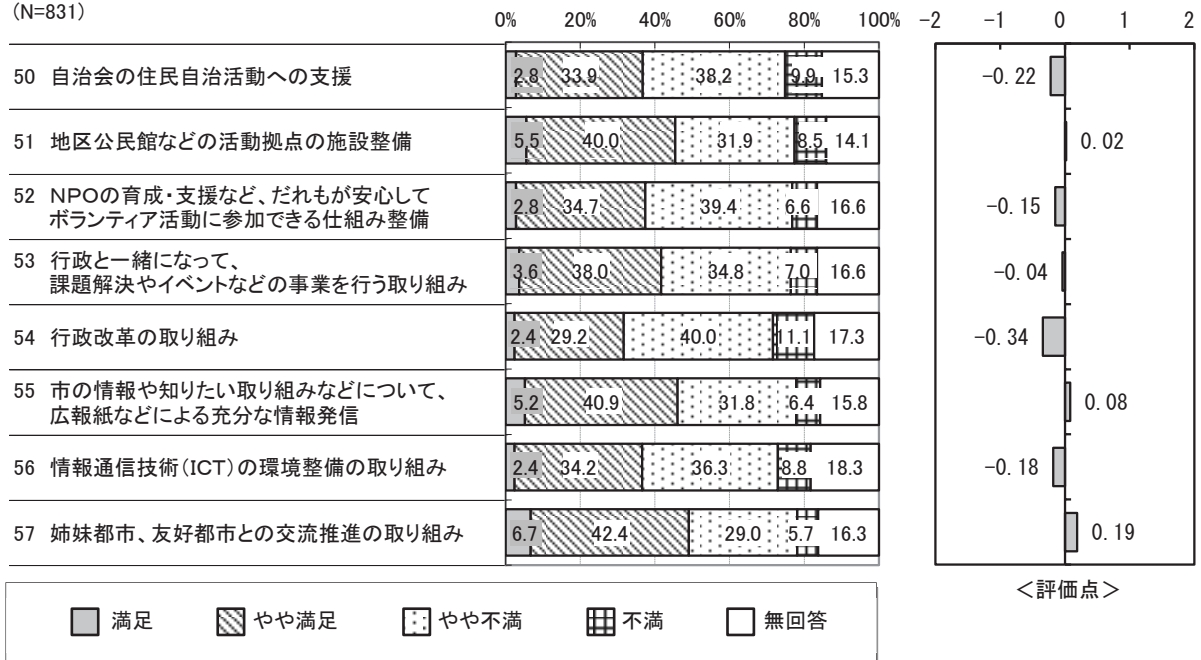
散布図でみると、『45 消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み』、『47 学校や地域で子どもを守る取り組み』、『48 悩みごと相談など各種相談窓口の充実』が、満足度も重要度も高い第1象限に位置している。

一方、『42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』、『43 自主防災組織の強化のための取り組み』、『44 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み』、『46 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み』、『49 道路交通の安全対策』は第3象限に位置しており、満足度は低いものの、重要度は高くなっている。

《 【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり 》

満足度

(N=831)



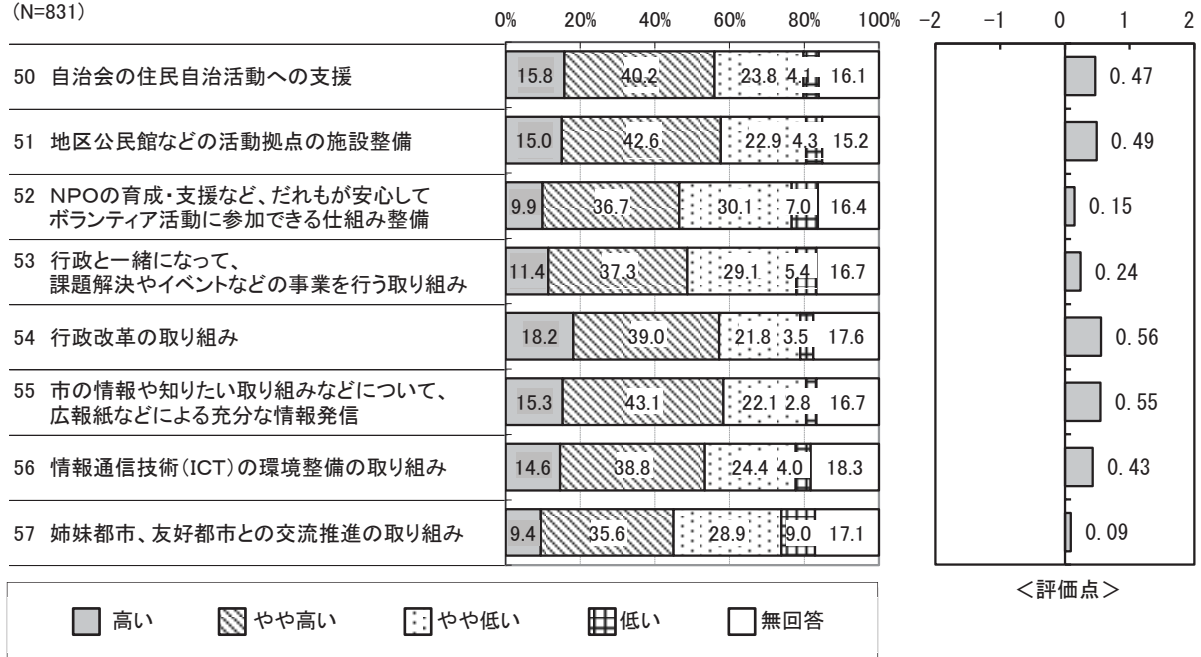
《 【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり 》で満足度が高いのは、『57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み』で、評価点が0.19点となっている。次いで満足度が高いのは、『55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』(0.08点)、『51 地区公民館などの活動拠点の施設整備』(0.02点)などとなっている。

一方、満足度が低いのは、『54 行政改革の取り組み』で、「不満」が11.1%と唯一1割を超えている。また、評価点は-0.34点となっている。次いで満足度が低いのは、『50 自治会の住民自治活動への支援』(-0.22点)、『56 情報通信技術(ICT)の環境整備の取り組み』(-0.18点)などとなっている。

《 【市政経営】 実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり 》

重要度

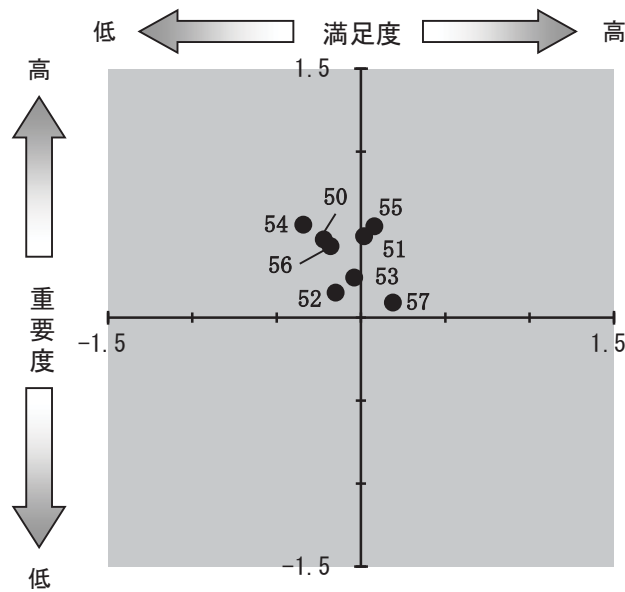
(N=831)



《 【市政経営】 実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり 》で重要度が高いのは、『54 行政改革の取り組み』で、評価点が 0.56 点となっている。次いで重要度が高いのは、『55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』(0.55 点)、『51 地区公民館などの活動拠点の施設整備』(0.49 点) などとなっている。

一方、重要度が低いのは、『57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み』で、評価点が 0.09 点となっており、全ての項目においてプラスの評価点となっている。次いで重要度が低いのは、『52 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組み整備』(0.15 点)、『53 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取り組み』(0.24 点) などとなっている。

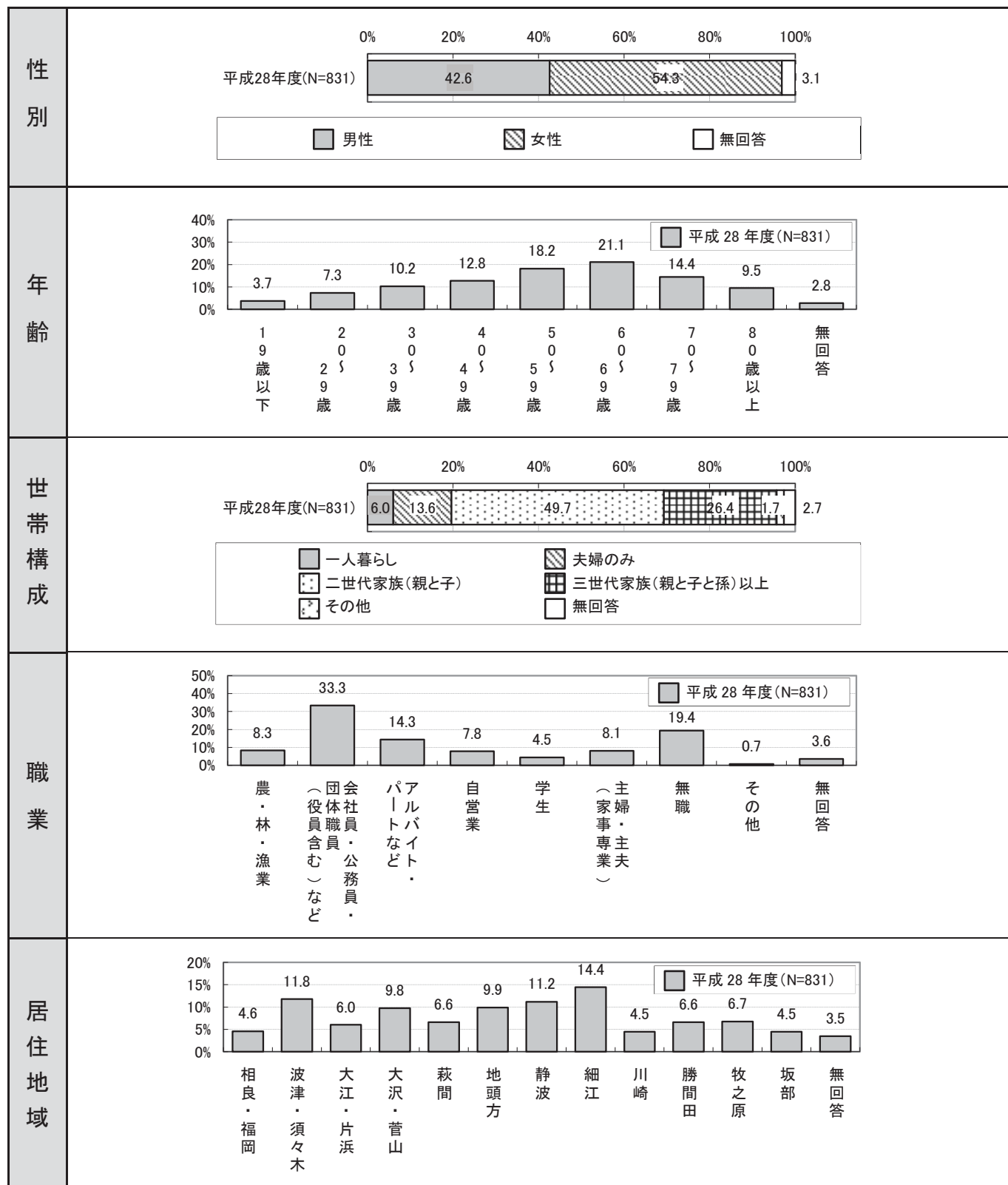
【市政経営】 実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり	満足度	重要度
50 自治会の住民自治活動への支援	-0.22	0.47
51 地区公民館などの活動拠点の施設整備	0.02	0.49
52 NPOの育成・支援など、 だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組み整備	-0.15	0.15
53 行政と一緒に、 課題解決やイベントなどの事業を行う取り組み	-0.04	0.24
54 行政改革の取り組み	-0.34	0.56
55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、 広報紙などによる十分な情報発信	0.08	0.55
56 情報通信技術（ICT）の環境整備の取り組み	-0.18	0.43
57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み	0.19	0.09
平均	-0.08	0.37



散布図でみると、『51 地区公民館などの活動拠点の施設整備』、『55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』、『57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み』が、満足度も重要度も高い第1象限に位置している。

一方、『50 自治会の住民自治活動への支援』、『52 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組み整備』、『53 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取り組み』、『54 行政改革の取り組み』、『56 情報通信技術（ICT）の環境整備の取り組み』は第3象限に位置しており、満足度は低いものの、重要度は高くなっている。

<回答者の属性>



性別は、「女性」が54.3%、「男性」が42.6%と、「女性」が11.7ポイント高くなっている。

年齢は、「60～69歳」が21.1%と最も多く、次いで「50～59歳」が18.2%、「70～79歳」が14.4%などとなっている。

居住地は、「細江」が14.4%と最も多く、次いで「波津・須々木」が11.8%、「静波」が11.2%などとなっている。

3 調査票

牧之原市の取り組みに「あなたの声」を聞かせてください!

牧之原市 市民意識調査

～ 調査ご協力 の お 願 い ～

日ごろより市政推進のためにご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、牧之原市では、「対話による協働のまちづくり」のもと、1,500人を超える市民が関わり策定した「第2次総合計画」が、平成27年度にスタートしました。

新しい総合計画では、将来都市像「絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う NEXTまきのほら」を実現するため、28の施策すべてに設定した数値目標を毎年検証し、改善するPDCAサイクルを導入しています。

この調査は、市民の皆様の声をお聞きすると共に、総合計画に設定した数値目標の進捗をチェックするために実施するものです。

調査の対象は、市内にお住まいの16歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた1,400人の方々としており、この度、あなたに回答をお願いすることとなりました。

調査結果は、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。また、回答した個人は特定されませんのでご安心ください。

設問数が多く、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、皆様の声を必ず市政に反映しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、調査結果については、本年7月に公表を予定しています。

平成28年4月

牧之原市長 西原茂樹



■記入にあたってのお願い

1. この調査はあて名のご本人がご記入ください。

※ご本人が高齢等で記入できない場合は、お手数ですが、ご家族が聞き取り等でご記入ください。(ご家族がご対応できない場合は職員が伺いますので、下記担当までご連絡ください。)

2. 回答は無記名でお願いします。

3. 回答は、設問ごとに(1つに○)、(3つ以内)などそれぞれ指定されています。

お間違えのないようお気を付けてください。

○は番号を囲むように濃くつけてください。例(①)

■調査票の返送と調査に関するお問い合わせ

調査票への記入が済みましたら、同封した返信用封筒により、市役所政策協働部企画課までご返送ください。(切手は不要です。)

お手数をお掛けしますが、お近くの郵便ポストへ5月13日(金)までにご投函ください。

この調査や質問内容についてのお問い合わせは下記までお願いします。

牧之原市 政策協働部 企画課 (担当: 澤入・大倉) 電話0548-23-0040

<牧之原市での暮らしについてお聞きします>

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後とも住み続けたいと思いますか？あてはまるものに1つ ○印をつけてください。

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 住み続けたい | 2. 市内の他の場所へ移りたい |
| 3. 市外へ移りたい | 4. わからない |

(問1で「2. 市内の他の場所へ移りたい」または「3. 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。)

▶問2 他の地域へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 公共施設や商店がなく生活に不便だから | 2. 通勤や通学など交通面が不便だから |
| 3. 道路などの生活基盤が整備されていないから | 4. 子育てや教育環境が良くないから |
| 5. 医療や介護の環境が良くないから | 6. 自然環境が悪化しているから |
| 7. 地震や津波などの被災のおそれがあるから | 8. 人間関係やしきたり等が煩わしいから |
| 9. 知人や親族がいないから | 10. 故郷ではないから |
| 11. 勤めたい会社が市内にないから | 12. その他(具体的に: _____) |

問3 あなたは、今現在、幸せだと思いますか？あてはまるものに1つ ○印をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う | 2. ある程度思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない |

(問3 で「1. 大いに思う」または「2. ある程度思う」と答えた方にお聞きします。)

▶問4 幸せだと思う理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 健康であるから | 2. 生きがいがあるから |
| 3. 生活環境が良好であるから | 4. 家族や友人との関係が良好だから |
| 5. 治安が保たれているから | 6. 住まいがあるから |
| 7. 生活に余裕があるから | 8. 災害がないから |
| 9. 食生活が良好であるから | 10. 良い職場に勤めているから |
| 11. 活躍できる場があるから | 12. 社会貢献する場があるから |
| 13. スポーツ活動が充実しているから | 14. その他(具体的に: _____) |

<原子力発電についてお聞きします>

問5 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい
2. 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい
3. どちらともいえない
4. わからない
5. その他（具体的に： _____）

<子育て環境についてお聞きします>

問6 あなたは、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う | 2. ある程度思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない |

問7 あなたは、子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことはどれだと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 小児科や産婦人科などの医療機関の充実
2. 親子で遊べる施設や公園の整備
3. 子育てに関する経済的支援の充実
4. 悩みごとを話せる相談窓口の充実
5. 教育・文化水準の向上
6. 一時的に子どもを預かる施設
7. 地震・津波などの災害対策
8. 地域で子どもを育てる意識の向上
9. 子育てについての積極的な情報提供
10. その他（具体的に： _____）

<“公共施設の更新問題”についてお聞きします>

日本では、昭和 40 年代から 50 年代にかけて、高度経済成長や都市化の進展に伴い、道路や橋を含めた公共施設を一斉に整備しました。現在、これらの公共施設は、一斉に老朽化しつつあり、また、近い将来、一斉に作り直さなければいけない時期を迎えますが、高齢化と人口減少が進む中で財政状況は悪化し、すべての公共施設を維持することが難しくなります。

このことは、「公共施設の更新問題（老朽化問題）」と呼ばれています。

問 8 あなたは、この「公共施設の更新問題（老朽化問題）」を知っていましたか？あてはまるものに 1 つ ○印をつけてください。

- | | | |
|----------|-------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことがある | 3. 知らない |
|----------|-------------|---------|

問 9 牧之原市では、この「公共施設の更新問題（老朽化問題）」に対応するための取り組みを行っています。あなたは、この取り組みを知っていましたか？あてはまるものに 1 つ ○印をつけてください。

- | | | |
|----------|-------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことがある | 3. 知らない |
|----------|-------------|---------|

(問 9 で「1. 知っている」または「2. 聞いたことがある」と答えられた方にお聞きします。)

▶ 問 10 その情報を何で見聞きしましたか？あてはまるもの 全てに ○印をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| 1. 広報まきのほら | 2. ホームページ | 3. 市の会合 |
| 4. 市民グループの会合 | 5. 職員の話 | 6. 議員の話 |
| 7. 家族や知人 | 8. その他（具体的に： | ） |

問 11 「公共施設の更新問題（老朽化問題）」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。このことに対して、あなたはどう思いますか？あてはまるものに 1 つ ○印をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------------|-----------|
| 1. 容認できる | 2. ある程度までは容認できる | 3. 容認できない |
|----------|-----------------|-----------|

<“産業・雇用”についてお聞きします>

問 12 あなたは、市の産業に、活力（元気）があると思いますか。あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う | 2. ある程度思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない |

(問 12 で「1. 大いに思う」または「2. ある程度思う」と答えた方にお聞きします。)

▶問 13 あなたは、どの産業に活力（元気）があると思いますか。あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- | | | |
|----------------------|--------|-------|
| 1. 農業 | 2. 水産業 | 3. 商業 |
| 4. 工業 | 5. 観光業 | |
| 6. その他（具体的に： _____) | | |

問 14 あなたは、市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取り組みは何だと思いませんか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | |
|------------------------|
| 1. 企業誘致の促進 |
| 2. 既存産業の設備投資などへの支援 |
| 3. 特産品・製品の市外へのPR |
| 4. 販路開拓や市場調査への支援 |
| 5. 新たな特産品、新製品、新技術の開発支援 |
| 6. 後継者の育成への支援 |
| 7. 起業・新規就農に対する支援 |
| 8. イベントの開催 |
| 9. 異なる業種との交流の促進 |
| 10. 事業者の意識改革 |
| 11. 地域資源の活用 |
| 12. その他（具体的に： _____) |

<“地域活動”についてお聞きします>

問 15 あなたは、週に何日くらい外出しますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. 毎日 | 2. 週に4～5日 | 3. 週に2～3日 |
| 4. 週に1日 | 5. ほとんどない | |

問 16 あなたは何のために外出しますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- | | | |
|--------------------|--------------|----------------|
| 1. 買い物 | 2. 仕事（農作業含む） | 3. 通学 |
| 4. 塾 | 5. スポーツや部活動 | 6. 外食 |
| 7. 旅行 | 8. 散歩 | 9. 趣味や娯楽 |
| 10. 医療機関への通院 | 11. 学習活動 | 12. 地域活動 |
| 13. 友人や子どもの家などへの訪問 | | |
| 14. その他（具体的に： | ） | 15. 外出はほとんどしない |

問 17 あなたが現在参加している地域活動は何ですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. 地域の計画づくり（地域の絆づくり等） | |
| 2. 防犯や防災（防犯活動、防災訓練、交通安全運動等） | |
| 3. 子育て支援（子育てサークル・託児ボランティアを含む） | |
| 4. 高齢者や障がい者の支援 | |
| 5. 健康づくり | |
| 6. スポーツ（地区のスポーツ大会、スポーツ少年団等） | |
| 7. 環境美化や保全 | |
| 8. 公園や施設の維持管理 | |
| 9. イベントの開催 | |
| 10. 文化芸術（伝統行事、まつり等） | |
| 11. 学校行事（子ども会、PTA活動等） | |
| 12. 自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等） | |
| 13. 生涯学習 | |
| 14. その他（具体的に： | ） |
| 15. 参加していない | |

問 18 あなたは、地域活動の活発・活性化に必要なだと思うことは何ですか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 住民の自治意識の向上 | 2. 行政と住民との地域情報の共有 |
| 3. 人材育成 | 4. 活動拠点の整備 |
| 5. 行政からの人的支援 | 6. 地域のことは地域に任せる |
| 7. 各種組織団体の連携 | 8. 活動団体の自己財源の確保 |
| 9. 行政からの財政支援 | 10. その他（具体的に： _____） |

<市からの情報発信についてお聞きします>

問 19 あなたは、市からの情報の中で、どんな情報を得たいと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------------------|----------|
| 1. 子育て | 2. 健康・医療・福祉 | 3. 防災・防犯 |
| 4. 道路整備 | 5. 観光・イベント | 6. 環境 |
| 7. 教育 | 8. 産業 | 9. 生活 |
| 10. スポーツ・文化・歴史 | 11. その他（具体的に： _____） | |

問 20 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- | | | |
|----------------------|---------------|-------------|
| 1. 広報まきのはら | 2. ホームページ | 3. フェイスブック |
| 4. 教育委員会だより | 5. 新聞、テレビ、ラジオ | 6. 区、町内会の会合 |
| 7. 市民グループの会合 | 8. 議員の話 | 9. 職員の話 |
| 10. 家族や知人 | 11. 公共施設の資料等 | 12. 議会だより |
| 13. その他（具体的に： _____） | | |

（問 20 で「1. 広報まきのはら」と答えた方にお聞きします。）

▶ 問 21 広報まきのはらのどこを読みますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- | | | |
|----------------|-------------|------------------|
| 1. 全て | 2. 表紙 | 3. 特集・お知らせ |
| 4. 市政情報 | 5. まちのわだい | 6. 健康ひろば（各検診日程等） |
| 7. 困りごと・悩みごと相談 | 8. 図書館へ行くよう | 9. 集まれ！まきのはらKIDS |
| 10. 生活情報 | 11. 巻末特集 | 12. 輝け！未来（裏表紙） |

問 22 あなたは、広報まきのはらの構成や内容などについてどう思いますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに1つ○印をつけてください。

① 文字の大きさ

1. 大きい

2. ちょうど良い

3. 小さい

② 文字の量

1. 多い

2. ちょうど良い

3. 少ない

③ ページ数

1. 多い

2. ちょうど良い

3. 少ない

④ 見やすさ

1. 見やすい

2. どちらかといえば見やすい

3. どちらともいえない

4. どちらかといえば見にくい

5. 見にくい

⑤ 内容

1. 良い

2. どちらかといえば良い

3. どちらともいえない

4. どちらかといえば悪い

5. 悪い

＜牧之原市の行政サービスについてお聞きします＞

問 23 あなたは、市の取り組みについて満足していますか？また、その取り組みが重要であると考えますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに○印をつけてください。

※取り組みによっては、あなたに直接関係のない取り組みも含まれるかもしれませんが、ご家族や知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○印をつけてください。

（満足度・重要度について、○はそれぞれ1つずつ）

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←		→ 不満		高い ←		→ 低い	
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
〔記入例〕 行政改革の取り組み	1	2	③	4	1	②	3	4
【健康福祉】 支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり								
1 子育て支援の取り組み （放課後児童クラブや学習支援教室などの取り組み、子育て支援センターや児童館の施設整備など）	1	2	3	4	1	2	3	4
2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
3 こども医療費制度 （平成 27 年 10 月から、医療費の助成により中学生まで個人負担がなくなりました。）	1	2	3	4	1	2	3	4
4 高齢者への福祉サービスの取り組み （介護予防や高齢者の自主的な活動への支援など）	1	2	3	4	1	2	3	4
5 障がい者への福祉サービスの取り組み （生活支援の取り組みなど）	1	2	3	4	1	2	3	4
6 福祉施設などの整備 （介護の必要な方や障がいのある方が利用する施設などの整備）	1	2	3	4	1	2	3	4
7 健康づくりサービスの推進 （介護予防、健診、スポーツ支援）	1	2	3	4	1	2	3	4
8 健康相談などの日常的な保健活動	1	2	3	4	1	2	3	4
9 公共スポーツ施設の整備 （グラウンド、体育館、プール、テニスコートなど）	1	2	3	4	1	2	3	4
10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制 （平成 22 年 3 月から指定管理者制度が導入されています。）	1	2	3	4	1	2	3	4
11 地域福祉活動を行うボランティア等への支援	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←		→ 不満		高い ←		→ 低い	
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり								
12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
13 小・中学校施設の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
14 生涯学習など教養を高める機会の提供 趣味などのサークル活動への参加機会の提供 (はりはら塾や田沼塾などの取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
15 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力 向上の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
16 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する 取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
17 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく 取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
18 図書館の機能充実や図書館整備に関する取 組み	1	2	3	4	1	2	3	4
【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり								
19 農漁業の担い手への支援の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
20 特産品の消費推進の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
21 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対 策や利活用の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
22 茶業安定のための取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
23 サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場 の復元への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
24 企業誘致の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
25 起業者支援、産業雇用支援の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
26 商工業の振興の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
27 商店街の魅力向上の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
28 観光誘客促進のための取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
29 各種イベントの開催	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←		→ 不満		高い ←		→ 低い	
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり								
30 道路や河川の補修・整備	1	2	3	4	1	2	3	4
31 上水道施設整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
32 計画的な土地利用の推進 (住宅地、商業地、工場、農地など土地利用の特性に基づいた機能分担)	1	2	3	4	1	2	3	4
33 公園・緑地の管理や整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
34 生活環境対策などへの取り組み (ゴミの収集や処理、ゴミ減量化の啓発、資源回収への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
35 公害防止対策への取り組み (工場や事業所に対する取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
36 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
37 街並みや周辺の景観・美観への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
38 自然環境の保全への取り組み (活動団体への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
39 空港を活用するための取り組み (情報発信や交流の推進)	1	2	3	4	1	2	3	4
40 公共交通の充実(バス交通など) (通勤・通学など生活交通の利便性向上、日常の買い物の利便性の向上の取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
41 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←		→ 不満		高い ←		→ 低い	
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり								
42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
43 自主防災組織の強化のための取り組み (防災訓練や防災資機材整備の補助など防災体制整備への取り組みなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
44 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
45 消防体制の整備(消防の広域化)への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
46 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
47 学校や地域で子どもを守る取り組み (軒先運動や青色パトロールなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
48 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
49 道路交通の安全対策(歩道などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4
【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり								
50 自治会の住民自治活動への支援 (お金と人の支援)	1	2	3	4	1	2	3	4
51 地区公民館などの活動拠点の施設整備	1	2	3	4	1	2	3	4
52 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組み整備	1	2	3	4	1	2	3	4
53 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取り組み (市では協働を進めています。)	1	2	3	4	1	2	3	4
54 行政改革の取り組み (効果的、効率的な取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信	1	2	3	4	1	2	3	4
56 情報通信技術(ICT)の環境整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み (市では三戸町、松川町など、交流推進に取り組んでいます。)	1	2	3	4	1	2	3	4

<あなたご自身のことについてお聞きします>

問 24 それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

1 あなたの性別は？

1. 男性

2. 女性

2 あなたの年齢は？

1. 19 歳以下

2. 20～29 歳

3. 30～39 歳

4. 40～49 歳

5. 50～59 歳

6. 60～69 歳

7. 70～79 歳

8. 80 歳以上

3 あなたを含む同居世帯の構成は？

1. 一人暮らし

2. 夫婦のみ

3. 二世世代家族（親と子）

4. 三世世代家族（親と子と孫）以上

5. その他（具体的に：)

4 あなたの職業は？

1. 農・林・漁業

2. 会社員・公務員・団体職員（役員含む）など

3. アルバイト・パートなど

4. 自営業

5. 学生

6. 主婦・主夫（家事専業）

7. 無職

8. その他（具体的に：)

5 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？

1. 相良・福岡

2. 波津・須々木

3. 大江・片浜

4. 大沢・菅山

5. 萩間

6. 地頭方

7. 静波

8. 細江

9. 川崎

10. 勝間田

11. 牧之原

12. 坂部

次ページの質問へのご回答もお願いします。

<日ごろ思うことを、なんでもお書きください>

問 25 日ごろ暮らしの中で、感じていることや考えていること、市の取り組みやまちづくりに対するアイデアなど、ご自由にお書きください。



チャーフィン

ご協力ありがとうございました。



マキティー

お手数ですが、この調査票を同封の返信用封筒にお入れいただき、お近くの郵便ポストに5月13日（金）までにご投函ください。

平成 28 年度
牧之原市 市民意識調査
報 告 書

発 行 平成 28 年 6 月
発 行 者 牧 之 原 市
企画・編集 政策協働部 企画課
〒421-0495
静岡県牧之原市静波 447 番地 1
TEL : 0548-23-0040 FAX : 0548-23-0059
E-Mail kikaku@city.makinohara.shizuoka.jp
<http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/>